その手殿は緊急車車會麻探車が難しは今の膨胀能なるべしさ見らる

聯盟理事會の空氣

祖一に危機を告ぐ

支那軍破壞

によれば職玉戦及び朦朧山が彩か 引いてゐると云はれてゐる

『ロンドン九日登』アイルランド アルスターの第一大隊は本日上海 に出動な命でられた

英軍上海出動

年を狙ふ形勢

先づ石、

劉兩軍をして

天津から佛國 (天津十日巻) 然地歌也のフランス兵機関統一ケ中隊及び北平の一ケ中隊合計百八十名は昨日天津巻

韓復榘軍移動を開始

夜間航行不能

吳淞燈臺を

山留邦人

(ロンドン九日登)本日の下院で 政府の日安総軍に黙する態度に付ったの好く登表した

暫く隱忍せよ

野村司令長官語る

『上海十日發』野村司令長官は本日左の短く語る 日本は最初から平和的に 考へ兵力も貼かつたが今 や我が軍の兵力は次第に

對日決戦を

日支問題の

質問延期

子野太郎氏九委員長さする九名の 職府は十日午後一時中より下歌音 会を開き三時中散會したが案は金 で記載機所に御下渡さなつたのでな で記載機所に御下渡さなつたのでな

フランス下院

覺悟したと豪語

洛陽に歸つた蔣介石

間延期を要求し述べてほく

日落陽に歸来し

英樞府議長

中立表明

九日下院で

日本に對して

より大変省根以下在宣閣僚島田法のなきため天機系向の後十時二十分

偵察開始

總攻擊準備

午前十時定像日につき参集提識家

さ云ひ意氣転品たるものがある

が飛行機

樞府定例會議

こんな砲襲は一たまりもあるま 我軍が總攻撃を以て肉薄すれば 我軍が總攻撃を以て肉薄すれば 一次得る

新提案セず

九時代から我が山極は正職無難のた壁電高く飛翔と催緊を始めた前を撃電高く飛翔と催緊を始めた前

「臭凇市街の一

學良排除や策應

愈よ北支風雲動く

のため更迭すべしこの意見世りつのため更迭に繋する非職高まり北支維持をといれている。

張學良更迭說

米國務長官ご協議後

駐米大使リ氏語る

日

羅文幹反對や表明

例へ英米支持するも

载

等 べてるる さら支那は經黙に承認せする逃れてるる

令案委員附託

の指雲た繋り取りである。

我飛行機殊勳

機は開北西方郊外の澎浦の敵兵約

敵の移動を

空陸兩軍で阻

北岸野家に出動し我左翼な突破せ北岸野家に置き夜に入ればクリークの沿線に置き夜に入ればクリークの

兵を砲撃全滅工場内の支那

使なして當該國に追達せしむる事さなった

が大するに決定し日本側の所職局部能解決には継鑑反繁である旨を国際職態立都代表織態態を適じ国際職監に概選せしむるが、祭員駐在『北平特體+日孁』蔣介征は昨日國民政府非際成教氏と會見し中央政府の外交方針として長海事性は東北問題と關聯せるものとして一括

聯盟及び各國に通達

してなほ有力な野破を持つてゐる 「難により顔を殲滅する傍殿である」 「動され孤立無機さなつてゐる、而。 過せしめて起さして山破さ空中爆 能は我軍のため西北極が臨より也」 ○除な吳淞クリーク上流地がに迁 ので我軍は兵を傷めわため○○○

總攻撃を前に

日午後四時之を破戦全滅せらめたに能域兵庫地を登見我野破隊は十に敵域兵庫地を登見我野破隊は十に敵域兵庫地を登見我野破隊は十

敵前で休養

意氣軒昂たる我軍

近に砲

彈落下

本部附

满

外交々渉を拒絶す。この最後能放此を決定した『北平十日景』郡代程は昨日午後潜職に踏養しお騰杙森と認識の結黙『上海事件は東北問題と同時に解決し局部的

蔣介石最後的方針決定

攻撃を續行すれば實力行使

第三艦隊司令部聲明

職を顧問官と明二三の質問があった後職の主が二三の質問があった後

軍の採つた處置を報告し現狀及び長から上海事性の經過及び帝國海

今後の野策か熟談

し午後四時散會

連絡を斷たれ

支那兵逆襲

来りもは同部隊が低日クリークの 正午より夜にかけ同方館に遊襲し 正午より夜にかけ同方館に遊襲し

支那海軍に對し

抗議的詰問

進出によって吳淞の友軍さの連絡 巻、江灣に集結してゐた酸約五千 老は我軍の吳淞湖に転口クリーク して之を許さず遂に之を不成功に とによるもの、好きも我軍緊逐 をして表して友事と合せんと

高橋船長射殺

事件

邦人を保護した

佛租界警察襲擊

後方に潜入

便衣隊が我軍

電車二十九臺を破壊

ス租界の電車二十九輪を破壊した

呈送録型

邦人通行危險

行するに於ては我軍は近く之が二十哩外への撤退を實力を以て實現せしむる外なきに至る感さならう、ひかし現に前點機嫌地を中心に養く職能を演めつゝある支那東が終然膨迷せず我警備區域及び租界攻撃を續める、租界外二十哩まで支那軍撤退せば列國の斡旋する停戰協議案は我政府の欣然應諾する我軍が職北の緊ਆ區域に於ける態戰に終始と支那軍の機械たる龍戦、與五等の攻撃をせざるは我軍が全く事態の擴大を希認せさる等めて我軍が職北の緊ਆ區域に於ける態戦に終始と支那軍の機械たる龍戦、與五等の攻撃をせざるは我軍が全く事態の擴大を希認せざる等めて

局部的外交々涉拒絕

議官非公式會議を脱き豊田軍務局と

日午前十時和公式に支那家軍に野れあり野村第三艦隊司令長官は十七年前十時和公式に支那家軍の事性機 車

の敵を包

アにて変数さらたが群衆はフランス租界で をおはこれた保護せら處支那群衆五 な那群衆に襲ばれフランス租界で をおはこれた保護せら處支那群衆五 を発して変数を整撃し警察はボン

一 常に悪化してなり、日本人の通行が外にある各外國人の新日感情は相

山砲と空中爆撃作戦

一大隊を全滅した

わが陸軍の

到着で

敵野殉陣砲擊

官非公式會議

暴力行為を詰問

佐役さらて戦戦を統一するに決定

十二名、中立三十二名、合計六百

九十八名である

立候補辭退者

民政選舉委員會協議

かにつき徹底的に純弾をなす事さ

なった

野黨陣容を

部名である、なほ現在立候神影波による 「難能を返還期ば九日午後十二時院 に達しその中政友會二十九名、民 に達しその中政友會二十九名、民 に変しその中政友會二十九名、民

宗部三名、 大衆鷲 一五名、 大衆鷲 一百

五十三名 形勢あり早晩實現さるともので見

関東京十日 数 | 選組職の | 選組職 | 2 には安楽前内根俊素説再燃 | 1 には | 安達前内相の 復黨説が再燃

(東京十日發) 辭令 實業學務局長更迭

任文部省實業學務局長 +

索池豐三郎

岐阜三區無競爭か 無いで日本人二名が歐洲されて重 なっている。 一名数され、二名が欧洲されて重 で、また八日までに上海を飛揚げ た、また八日までに上海を飛揚げ 域内よりも、駅ろ區域外が危險認は便衣隊の活躍する日本軍警備地

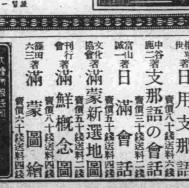
神里者文 那 保 質 三十一條送料四條 質 三十一條送料四條 質 三十一條送料四條 質 三十一條送料四條

最

付=三月一日の四月中心理、國學、漢學)

八學 夢集

本語書自修支那芸術 「他記書」という。 「他記書」。 「他記書」 「也記書。 「也記書」 「也記書。 「也記書。 「也記書。 「也記書。 「也記書。 「也記書。 「也記書。 「也記書。 「 圖錢圖錢話錢話錢話錢話錢話錢話







大阪屋號書店

の機會到來待望 動搖

見遊して蘇州方館に後速を開始しる の野殿同車は第一線の十九路車を の野殿同車は第一線の十九路車を の野殿同車は第一線の十九路車を の野殿同車は第一線の十九路車を の ゐるもの、如くである

戦闘中止を嚴命 情報を遊けて他在なること物明し 事代養生以来代方が明さ降へられてるたが、磯事館内にあって英交の 人記者池田安三(長崎縣人)氏は 便衣除嫌疑者

英國 ギ ブ ス 會社 英國 タルクロウス 會社

舶來化粧品專門

一九路軍に對し

して我軍で排留の後工部局に引渡して我軍で排留の後工部局に引渡を した百十七名の内五十二名は避難

 で趣かに解決せよこ既能した、な
 「上海十日費」溶腸に在る轄介森
 「上海に在る家子女、正縁解、暦 こ同一意見で日本軍ごの殿職代別名
 「上海に在る家子女、正縁解、暦 こ同一意見で日本軍ごの殿職代別名
 「上海にからした、然し十九年の歌かに解決せよこ配金した、然し十九年の歌歌はは依然歌原である事 民なりさして際放され後り六十五 名も我領事館より起訴せず祭園館 解散した 支那の抗議を

満蒙に雄飛せらる、商士よ

産業の合理化に依る優良製品の廉賣御註文と御照會には迅速・叮嚀に洋反物の御用はゼヒ田村駒へ!!

山路方面一帯に沿ふ面の集綿部は一兵庫地を布き我軍と交職中である。 東大大統領は本り力・大大学の大大大学に関い、 「上海十日愛」昨日水館軍に職北」に爆歌十級要を接下し機関鍵を添加大大統領は本日現トルコ駐部アメリ 法學博士の機能を行うして名園より江南方面に移動とつ、あり今 セスいで十一時十分より我野破は 選ずるカメロン・フォーアス氏の 記生を振出しに外交官さして名園 大大統領は本日現トルコ駐部アメリ 法學博士の機能を行うして名園 か大使節一般にからな 大使節に騒低し一九二七年五月駐 大統領は本日現トルコ駐部アメリ 法學博士の機能を行うして名園 か大使節一般にかられ今日に至った、 大統領は本日現トルコ駐部アメリ 法學博士の機能事館の書いてある。

春の服飾品は豊富荷揃

斯界の有名品は先づ田村駒より

▼名譽撩染友仙モス …… グロ 概 威 ある 發 質 品

着尺モ

▼風 月 綿 モ ス ……

駐日米大使後任

ジョセフ・グル

東の支那岬広繋に数し工部屋に 車の支那岬広繋に数し工部屋に 車の支那岬広繋に数し工部屋に で変わけなかった

對支調查委員

マツコイ料軍と合し大陸総由奏者

▼婦人◆子供服地

夏向新製品各

で十二日出版の同学版を二十四時間選らす事になつてるる 本倉譲た織行の筈である本倉譲た織行の筈である はふも 續開 。霸者×××田材駒

花谷少佐昨夜離季花谷が佐は十日十三時二十機関の松谷が佐は十日十三時二十

大阪市東區安土町四丁目

株式會社 駒 商

通信 版 資部

新御取引は

日本が有するこの永劫不朽の上に建設されて居る。試みに高大いな関家民族にも應用し得る精神な関家民族にも應用し得る精神に考へても、最近吾人が直面せる東亞の大局に照しても、人類の対の根本意義に於しても、人類

H

日支提携

の答応を視察し歸途頭に龍井、乾一月結束北朝鮮清洪、羅洪、雄基

またいつ出來るかさいふこさも 場所の問題だが何處にしても一 年や二年で出來るものではなく 相當持久力を要するこさだ、勿 論何處にしても築港は不可能で はないが何處さもに風が强く波 が荒いから今後大きな船をつけ る設備をするためには相當の金 が荒りからのが同線が出來るものさ

十日午後重報会計しなく部長室で十日午後重報会計が、まない。 一寸一息の配置野事を訪べて語るのか、それはいつも言つてゐることは何から同人が進んであることは何からの仕ば好いんだ、僕の三れからの仕ば好いんだ、僕の三れからの社がが出来ればけだよ、滿潔の事情も追々變つて來やうと新らとい言の炭礦統制は鍍焼なざさ異って山の採掘を止めてもまふからるこに大きな困難が横はつてゐるのだ、即ち炭坑さいふものはながなされないなものだ。

で東地階發に並行して防疫事業ので 東地階級に並行して防疫事業に配上して四平街に無聴椒

名な酸生地たる内 り繁忙さなるは明

完璧を期するこさいなった

墜落三將校に

昇級の御沙汰

國盡忠の情に燃ゆる、登偶然な節が迎ふる毎に、奮然さして報答されて居る。吾人が紀元の佳養されて居る。吾人が紀元の佳

北鮮各港を

技術上から視察

吉會線の終端港は知らぬ

佐藤鐵道部次長談

圓に書換へ暴利

奸悪な哈市の商人

『京城特體十日鑿』字垣總督は出 、 、前途多望な立があった 株上君は多年財政を沿界に於て 熱こ力さな以て國家のため努力 され、前途多望な政治家の一人 され、前途多望な政治家の一人 され、前途多望な政治家の一人 され、前途多望な政治家の一人 され、前途多望な政治家の一人 され、前途多望ないでは世界的 財界の人さして崇拝されてあて 深い信念の持ち主であった。民 政の震派を離れて國家さして一 大損失さ云ふべきである。何時 しながらこんな暴寒によって有 しながらこんな暴寒によって有 しながらこんな暴寒によって有

へない、國民さして大いに登録さればならぬ、山岡長官さの食 現は別に重要なものでない。在 現は別に重要なものでない。在 現は別に重要なものでない。在 がはいやうによく類人で置いた 外事の異動は最早檔密院の手を 離れてゐるから鼓散目の内には を表するこさになる、從つて勅 在に進級してやめる人も出來る 所謂の終合も目下樞密院で審議 中であるから農林局の設置も言 中であるから農林局の設置も言

炭礦

統

なか

伍堂滿鐵理事語

3

ニニニ三三三八十後 大六六十二〇〇六八 四〇〇〇〇〇〇〇〇

(指导方寫)目了四訂途沒市遵太

頭取・材井啓太郎・

電話 … 二番

院醫富

•

湍

全う

以

鉄の國體がある。この史賞なら 既代天子の稜威があり、金甌紅 大千萬衆の上に降臨し給ふ處に 発國のこの皇談な耀摩して、

(=)

在満鮮人問題を

三月に各省代表會議

アシントン九日数 * 本国政府は はまだはつきり決定して るないが はまだはつきり決定してるないが はまだはつきり決定してるないが はまだはつきり決定してるないが はまだはつきり決定しての際に関して で金を輩出してよって国内に死亡ないが はまだはつきり決定してるないが はまだはつきり決定してるないが はまだはつきり決定してるないが はまだはつきり決定してるないが はまだはつきり決定してるないが はまだはつきり決定してるないが はまだはつきり決定してるないが はまだはつきり決定してるないが はまだはつきり決定してるないが はまかない 1 世界の は 1 世界の 1 世

引出策 社債賣出し





米の死藏金

来の皇践を奉承し、それに準據 にある。並に紀元の佳節に降し て、吾人は殊に深く之を痛感す るものである。

さいからのか

グー 日本動かしてある者、隣さ話をの郷を立て、ある者等に至っては戦になる者等に至っては戦にをして是が苦園である果して是が苦園の生命郷たる満洲で活躍する第

質りに

な場面に突び出て の人物が凝な液を 一番人は理解に著い である。 る、或はヤンま い出て者、又痛快機 石喜する者も あきワ

の國民の姿か戦に寒心すべき

てかし見物先生だの者も之に和して のさまるで野獣 てしや ☆現在の中學生の真の娛樂と云へば、僅かに一ヶ月に一座の學生、人類在の中學生の真の娛樂と云へば、僅かに一ヶ月に一座の學生

奏の場合にさへモ 事を「彼等は活無 ても社會的訓練を缺く結果であることは高めない、新教育ををさ口にされる教育者部提生へ借機がからお願ひします「學生をして社會的訓練をつましめよ」

の有利さなる響で 年後四時別會したが同社役駐離後 ・れを記せば左の妲し ・れを記せば左の妲し ・ 和を記せば左の妲し ・ 同吉本政吉、同辻 ・ 神楽太郎▲監査役山田柳治、同 ・ 神楽太郎▲監査役山田柳治、同

斯波男近く歸連

與8599該

大連市西広場岩代町入七軒目

道省下際

ホテル

さかり木材も無惑滅にあるのだらあり木材も無惑滅にあるのだら立派な經濟線となることは確

所を設置すること れが下め咸南北地 者が探蒙上標盤の

滞京中の消鏡展問所変更はさきに 技術展認見監査役を東京に搭数し に搭載中であつなが大艦内地方面 に搭載中であつなが大艦内地方面 に搭載中であつなが大艦内地方面 での打合はせも了したので十四日 静連すること、なった

領氏は兼低である外に 東北航務局長 任命

山岡長官に謝辭

東拓直營

支那教

育視察

服部外務書記官

精錬所を設置

務書記官の資格で

間朝鮮細曲滿州一

水興金山を

記者團に宇垣總督語

3

東無無色の職があった吉林歩兵職 立第二十三派長李世林氏は監存線 である仲通線駐屯六百六十 の麾下である仲通線駐屯六百六十 三浦氏謝電 十日出戦の 三浦氏謝電 十日出戦の 三浦の郷野氏は戦中より本社に黙したの処と戦略の無電か寄せた 離前に際し貴級を通じ在任中官 と 大の畑交館を乞ふ

十三旅長を発じ東北航務局長に低かつたので照長官は李樹林氏の二 ピンへ向つた『長春電話』 **した李氏は八日午前十一時五分**

四平街に新設

ゆ

長井印刷所

大連竜田町・ 南21411掛

光烟醫

院

0

頭痛にノーシン〇

る印刷

地下室電

文房具

豆柄◆後 本の総及が道線にては左の近く十 一日より旅客成合列車を毎日一往 一日より旅客成合列車を毎日一往 一本野立教(神都子―盤山間) 本野口支線(神都子―盤山間) 本野口支線(神都子―盤山間) 左

地場株績艦

年度銀行シーズン中の具體策に 就てのみ協議される筈である 就に配売酸の総球により認能、郷さ はれてゐたがこの脈に就いては全地 然や袋は感じないさ 混合列車運轉 野邊の井端や墓地近し」 その姿も壁も、壁壁に打ち消され で今中亡し、哀しい酸▲「春義き で今中亡し、哀しい酸▲「春義き 況

堂醫院

かを…明するに足るものなり祭は如何に金桂月が其の品質の放群なる発性を、けること質に五十有餘回の多き光京都島本醸造清酒にして開設以來最高金

滿洲總代理店 內 藤 商 店

電

コニ三九三

電話六四六六番 岩 宣察診科保

鉻 高 涵

食程月

島本醸造

聯合會に提出の 二項目說明要旨

商議役員會で申合せ

野、製油、石炭液化、マグネシ ウムなごの諸工業にして、工業 地環は集中主義を採り極力生産 地環は集中主義を採り極力生産 でして開發すべき主なるもの左

郎氏に決定

大連五品代代會社 (資本金五十萬)の他も 美術でしまる郷田 のが立郷會は近報がいる五品代代會社 (大連五品代代會社 (大連五品代代會社 (大連五品代代會社 (大連五品代代會社 (大連五品代代會社 (大連五品代代會社 (大連五品代代會社 (大連五品代代會社 (大連五品代代會社 (大連五品代表) (大連五品代代會社 (大連五品代表) (大連五品代

創立總會 一伊藤久太

高線の希望により二月二十日前後 に増加し、また申込も早いため東 に増加し、また申込も早いため東 に増加し、また申込も早いため東 に増加し、また申込も早いため東

には驚いたか、それさも除り闘々には驚いたか、それさも除り闘々

米

今回摘蝦代表さし なび滅鐵社員を慰 の如く十1特音を以て連続変体。 整軍航空兵少佐、叙従六位動五 陸軍航空兵少佐、叙従六位動五 性陸軍航空兵少佐、叙従六位動五 の好く十二特音を比て邀続終節とにて緊索隊がした三階校に對した 主任會議開催 鮮滿案内所の

すべく凡ゆる無徳をも敢てし

約一週間の確定で

五品代

行會社

た、砂川には置き向って皮肉もいったり時には置きたな財政問題で一夜何うして を発上 蘇根の面 話を聞く べきぬきなった。 来の」さいふ旅沙であった▲要が生じた▲所でその夜の井のであった。 特権がフィになる、新聞記者されば仕事にならぬ、抗角眼差し 総に含ふた▲揺縋されるのが散然 ▲で 化炭がないので

日

報

金鳳堂各書店

ゐで供

六四不七不九(二七) 八五五四〇十三十五

の 書 相に、ボスターに、或はビラに 動日態度に潜む癌、排日運動は は真に其の目的

寫

100本寫真帖はこれを廣く收集して特に時局の記念に、或は研究材料に供照のすべく、オフセット刷り四六倍九十六頁に收めたる内容豐富なものであけご絕大なる好評を受けてゐる。
取扱店 大連 本社、各販賣店、大阪屋號、滿書堂、金鳳堂各書店内の本寫真帖はこれを廣く收集して特に時局の記念に、或は研究材料に供照の本寫真帖はこれを廣く收集して特に時局の記念に、或は研究材料に供配の本寫真帖はこれを廣く收集して特に時局の記念に、或は研究材料に供配の本寫真帖はこれを廣く收集して特に時局の記念に、或は研究材料に供配の本寫真帖はこれを廣く收集して特に時局の記念に、或は研究材料に供

には的る

のの面

その他總ゆる手段と方法を以て侮日に如何なる手段を以て宣傳をなしたか。これまでのを達することは出來ない。これまでのになっている。

警官の特殊教育 高等警察方面も改新 開東廳の積極的計畫

満洲輸出

滿鐵から二十五萬**樽**

については滅鍼に て伝営理事が同地 で、同理事は十三 定、同理事は十三

力をつくけてある家陸軍隊の慰力をつくけてある家陸軍隊の慰力を

日に出發

伍堂理

上海慰問

いのに思ひ憫んで居る。さうもか破壊され、若くは萎靡振はな 様と如何なる建設にも最も必 要なのは、中心核子であって、 要なのは、中心核子であって、 これあって始めて新崩芽の生育 これる。而してこの核子は決 示される。而してこの核子は決 でなく、夙にその國土に必轉っ でなく、夙にその國土に必轉っ のに思ひ懐んで居る

九

大ぐに動搖た以てし、破壊後の 中の宿弊は打破され、中華民國 年の宿弊は打破され、中華民國 中の宿弊は打破され、中華民國 本幸未だこの新趨勢か集結艇固 ならこむべき中核なく、動搖に 本幸未だこの新趨勢が集結艇固

の葉つばを一ばいつけました。お庭の木は本館に盛しさうに洗練

枝を出しました。然しお爺さんにして居られないで切られてもく

さ

お庭

道を通る人は與太爺さんのきれい なお顔を見てみんな感心して行き な

は自慢さうにいつもにこくとてせう」

ました。村の校長先生が興太爺さ

こ大爺さんのお庭はちつこも切ら

の音を聞きながら

「これ迄するには國分のお情がで一人がないのです。三太爺さんはそすれ」
「際によく手入れが行届いてるま」るました。

事 中

h i

75

ンイチャ

イダイナマ

3

V

毛 ッ

モダ

ガンシヘダテ

(49)

てがされてあります師ち「荷くもの大御心は御韶書の中に煥乎さし野えるのであります、師して天皇

海ゆかば水つくかばれ山ゆかばしたものさ信じます

捧げつるいのちのまへに酌む神酒の醉ひ寒くしてこさほぎかるむ

3

高千穂の獣脈がに生徒等さうたひこさほぎも日ははろかになりね

こさほざの歌頭かに澄ひびき消蒙の空ゆく驚もなし

百九十二年の古な傾ぎ當時の大

3

ぞ迎

本に歸り 驀進の大決心を愈よかためよ 大日本の使命實現に

とされ大和の や……元々を織め………」と順 死なめかへり見ばせど に縁続い IT 響の模範たらんここを書ひ絵なた のに関したここが目 変形に IT 響でして風民を惹子の妃く愛撫し 覧に君臣一艦像兆一心児で題回の 本の観響が書いて 製の模範たらんここを書ひ絵なた のに関したここが目 かってもります、師も總國の大理想 かってもりまさん ではありません だい であい を示し給ふて 「八絃の撮ふて字さ の紀元節が巡へたに覧りまして正 なるに 関づ を示し給ふて 「八絃の撮ふて字さ の紀元節が巡へたに覧りまして正 であるとになってあります、師も総國の大理想 かってしも有り継き新日本職連 するのを記憶が大八洲 利するあらば何ぞ望の造に妨はん こけむすかばれ大君のへにこそ に縁撃が大小法 がたいて全世界を発彼せしめんこ

元節か就質する真意教であると信いを飲く繁節にすることが即ちたの大決に解り思か新にして整世人との大決にのからない。

中十十までもなく一月春一学」の理想は決して観

れんさしては居まずが彼の「クリに就ふ風が内地に然ては悪く行は、生共に「梅の節句」として家庭館 たいことはこれ程法に國民族に酸の作品が、同時にはればなりません、開我に関して要望して

の民族能理想のもこに正義さ人道 ません、日本精戦の世界解験場を ません、日本精戦の世界解験場を ません、日本精戦の世界解験場を あります、質に遠大なる理想さか、 変化を概基さして真に全世界を平和立勢職の勢観たらしむることで

強つ離のみのりかとことうべとこそ醜の國原もろ隠さ伏す

◆滿洲事變に際し特に感深さものあり

斐

建國祭の

日の皇子の御威稜はし

し土堂る満蒙の空に光さ

社會教化機像の努力については教育者

有が 1111はならないのであります 前 111はならないのであります 道 し民族教成と 國連隆原の跡を考へ 標撃つて家庭館に全國館に就費せ かここを希望して止まる、ことを が 国民なりが一層 配回線 献を考へ おっことを 音望して止まる、ことを おいまる はいいのであります

2000年の日、大きずりのおえから 各學校の催物



地えないのであります

用子女

一般である。一般である。

(全國知名薬店にあり)

100瓦(國五錢) 500瓦((國五〇) 500瓦((國五〇)

製造 党

二株式會社 巴世

(大阪市東區道修町) 合名 會 社

時間外力を持續す。

F.

生殖器機能障害 性的神經衰弱

生殖器發育不全

顺

喉痛・

肋膜炎

胃・

肺

中耳炎、

凍傷、

肩凝、關節炎

打撲痛、腰痛、捻挫に對する合

的新治療劑にして一回の途布よく長

陰和入母屋選り飼放難の影響なられてゐます。寫眞は御本殿でられてゐます。寫眞は御本殿でになったらので管際大社に残せ

宮は、明治二十三年に御造の地に鎭まりゐますこの概

神經衰弱 u 特効

総の地に鎖まりるますこの艦原 型園の基か機かせ給ふたその地 関國の基か機がせ給ふたその地 がこゝに皇位につかせられ 大皇がこゝに皇位につかせられ

後村上院御製

特許

生殖器障害

専賣

橿原神宮(

0

科 内科兒小 醫學博士

目科門專

花泌

皮膚梅毒科——一般皮膚病等」關梅毒 入院室完備——腎臓檢查、膀胱鏡檢查應器 柳尿 病器 科科 淋疾、下疳、横 、睾丸炎 慢性淋疾 腎臓、膀胱、尿道諸病

尾

電話七七七六番

おいてはなかったがどの樹もくくいの様の間のからに続きた。それはきれいに対してはなかったがどの樹もくくいではなかったがどの樹もくくいのはないではないではないではないではないではないでは、 かの幸職を除ってゐるやうに見まかせに伸びることを許されたなまかせに伸びることを許されたなまかせに伸びることを許されたな 「お隣のやうにお庭を作つてはざちへもがむりました。 文文文文文 超スピー で頭痛をなはす 紀〉程元節と申すのは、是くも 一元 翻則位遊ばさった日を配念する 節 機式であります。 子供さんにも ライオン協磨 戶 毎に 煉チュープ入 0 商 林 小 社會式株 銷本 是古名•阪大•京東

石田 | 地 | 透 | 長

或は解任か

った、我軍は殲滅、食糧、應援除の出動を乗めんため酸金を高麗門に急減したが自動車には敷ケ所の武義重大が自動車には敷ケ所のは機能を物語つてるた、此の縦に接らた安東当静隊では飛動大脚以下〇〇名急速同地には緩動大脚以下〇〇名急速同地には飛動大脚以下〇〇名急速同地には飛動大脚以下〇〇名急速同地に

陣中文庫募集

で送致するか電話で申込まれたい
洗前記及び分館、答學校事務室ま

般來東京を中心に近線

紀元節拜賀式

公共機關聯合會發起者問題

九日も遂に決定せず

全滅を覺悟して

とての活躍は特に目覚まといもの がある、近くは婦人際に佐つて滿 別の野か飛翔する乙が號の容牘の 別の野か飛翔する乙が號の容牘の

外科性病痔疾

大連市岩代町十番地 電話八五九九番

淡尿器病

生殖器障碍

【壽堂醫院。

性病 軟性下疳

既死 鐘崩 一時苦戦に

窓に左記五名の戦

では、 のないでは、 でいるのなが、 でいるでは、 でいるでは、

電傷 同節

等兵 田中閣

>政治家 學

者其他

天津産地直輸入

井上醫院

同然

平曹 小川 二見

しての活躍は特に目覚ましいもの は、経験へと婦人の進出は素晴ら とい特に今次の満洲事變を動機さ

數回の一齊突撃

紅旗討伐いの急や報じた

兩兵士安東で語る

寛敵せす我軍の全滅をも

将國恩と軍服に記入してあるもの路第三枝隊第一際第六營第四連長中には遼寧護國義勇軍、義勇第四

奉山戦線に異状

こうした樂土もあります 寒風すさむ奉山戦線にも

慰問

参うらい粋な紅軍の新陣容 からしい粋な紅軍の新陣容 からしい粋な紅軍の新陣容 からしい粋な紅軍の新陣容 からしい粋な紅軍の新陣容 からしい粋な紅軍の新陣容 からしい粋な紅軍の新陣容

因に戦死せ

輕傷 同四

▲御電話次第側届け致します 安いご皆様の好許 安いご皆様の好許

二銭今や全く

▽腦力、體力はなぜ衰へる

東東亞 能量可士八

三九通西連大 掛五七五八電

政治家でも學者でも實業家でも又はいかなる際級の及べても常に徹實がかれる際級の及べても常に徹實がか相らば『際平龍を保証の理化を治伝してその進行を和らば『際平龍を保証的の四五十才の若さで日頃不養。

く化した動脈も弾力を失つて弱く は型力がなく折れ易いと同様健康 がなく折れ易いと同様健康

燒機電 き械力

東野の世界

** では事の処でか問はずにもならう
かそれが紅車だけに命令も優しい
しかしその効果はより以上あるの
ださか多数の販ん問題に受け夜さ
なく書きなく「スワ販製をだ」さ
を参が養せられなくてスワ販製をだ」さ
に行はれてゐる難い場である。
に行はれてゐる難い場である。
に行はれてゐる難い場である。
に行はれてゐる難い場である。

等兵)

(寫真は田中一

かい。 はいましたり、交は貧血したり様々の 神に表現をいる。 神に表現をいる。 神に表現をいる。 神に表現をいる。 神に表現をいる。 神に表現をいる。 は、ことである。 は、ことである。 は、ことである。 は、ことである。 は、ことである。

一等兵

の儘で出席せんとす

我警官隊

匪賊ご交戦

を突破し身に銃動を受けながらよ 室を大阪本部に報するより外術がなくなった、之がため五十名がなくなった、之がため五十名が三式分除に分れ決死的に一齊突撃が試みたることが正の歳力に恐怖して、一方この急を報から重要にあるときできない。

五十三名は高麗門西方支那部落 に蟠居する賊國の状況偵察と関 柔のため各人或裝して七日 午前七時高難門縣を出發し近年 し同縣を両方に距る八里位の紅 を両方に距る八里位の紅 が、るや賊関は山郷に立宿とで か、るや賊関は山郷にもで が、るや、如く突然無 があるで、かく突然無 が車がげて背として してるたもの、如く突然無 が車がげて背として してより自 部下に して機関銃、挟撃の場合に出ているとこが出来たのはむしろで動車三峯は金く使用出来ないやうに散弾を受け生き分等もかやうに敵弾を受け生き分等もかやうに敵弾を受け生きが出来なのはむしろ

錦州邦人料理店に

四点の に行はれてるる ない、移動ださかつて、物情 がさか、移動ださかつて、物情 がさか、移動ださかつて、物情 がさか、移動ださかので、物情

▽不眠、不安、

恐怖症

シバロ西部 (1)

に開店「鶴廼家」さ屋號か戴き上

三人組强盜闖入

金百餘圓强奪逃走

逃走した姜利具は此出家人に知ら

 \Diamond

の機に觸れ腕を振つて作つた名歌の機に誘躍してゐる中歐長がこ

きなあの妓は誰と寝る

学誌とで十日午後一時より熊

酒色を慣み葉真を多く 独り海貫派

洋服類齲鞍

大連正路銀行實通 筑後屋留店

酒生醫院

病

お話セハ六七

ひ立くらみといひ足許がフ

耳鳴がし眼が、かすみ、めま

うな諸症状は治つてしまふ を持續的に用るて居れば前記のや

質物にあらず

(2)

・国常に聴聴することが自然: のた、その後は命ぜられなくさもがった、その後は命ぜられなくさも ● 中華に火をつける分除長の轄もしたが、然然 「大きに火をつける分除長の轄もした。」 「大きに乗るれては、一般に取かり、 「大きに乗る。」

さ云ふ「いや二十段出をう」さ云いた一人「脚腔に美いいものない」

百

● 大一月四日大戦の戦闘の初め ・ 場の永嗣及び観念炊事の第ある ・ 場の永嗣及び観念炊事の第ある。 ・ 場の永嗣及び観念炊事の第ある。 ・ 場の永嗣及び観念炊事の第ある。 ・ 場の永元報ふべく陣ュより ・ である北浦の下に永盛なる。 ・ 場の大記をが観念吹事の第ある。 を一月四日大戦の戦闘の初め ・ はかった八名永た報ふべく陣ュより ・ である北浦のが場際にご選が ・ はかった八名永た報ふべく陣ュより ・ である北浦のが場際にご選が ・ はかった、とり、 ・ はい、此い。 ・ はい、といい。 ・ はい、といい。 ・ はい、といい。 ・ はいい、といい。 ・ はいい、といい。 ・ はいい、といい。 ・ はいい、といい。 ・ はいい、といい。 ・ はいい、といい。 ・ はいい。 ・ はいい。 ・ はいい。 ・ はいい。 ・ はいい。 ・ はいい、といい。 ・ はいい。 ・ はいい。

人を吞む嫩江

協力し捜査中なるもれて張人手掛さるとない。 の始終早級急な記念部に通知した 急報により直に總司会部窓兵隊等 には、1000円のおおいる。 のが終りなるもれて思れば此 にのなが目をきまして見れば此

最良の統率法

五厘、それでも誰も質るさいふ者 はなかった

おけさ、おばこ、くしもさ……何 これが戦緩から懸された安來節次

「鮑の家」ばかり

三浦氏送別會

和らげられる、臨冷血中風も像防されて、蛇鳴・ちれて、蛇鳴・ちれば火脈はよく株まる殿の郷峡とは、はよく寝てゐる間に破浄は一帯されば火脈をはなる。

は、世界的有名なる施貴派を常用する できる交治館がとよいて、飲食も できる交治館がとよいて、飲食も

はないのである

1670

ミシン機・蓄音機 中原 原模 一 原 原模 一

▽海

な外盤のため互が虚かではといいでは を対していいでは、 をがいでは、 をがいなが、 をが

死傷者

道路測量進捗

山農商職合會の二郷堡

もかうした樂土のあることを皆標される、そして寒風すさむ戦線にもれら、そして寒風すさむ戦線に

概時餘にして削雪したが を野田工大學長長谷川博 を野田工大學長長谷川博 を野田工大學長長谷川博 が出村重確兵大隊

品品

甲

絶対的多類 貸出速金買受要於

万壽屋質店

有産院級の人々に網大なる好評を一切れの館は本館に申し込まれよ。 できまし、終中知・漢が級 御貨売は我る處の夢広にあり、品味の繁樹、中華民國等の海外無数の儘 近來語り寒霽出す、御注意が肝心概率、中華民國等の海外無数の儘 近來語り寒霽出す、御注意が肝心を言いた。 海貴來の適應症

十四、郵便カワセか振着注文は 十二百錠入十一四、二千四百錠入 十二百錠入十一四、二千四百錠入 一十四、郵便カワセか振着注文は

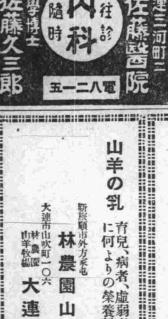
職類河 合 洋 行 門 合 洋 行 口病理説明書申込次第無代進星

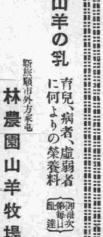
代理店

東話二二二〇二番 日



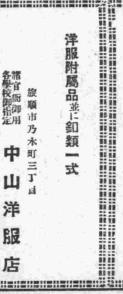


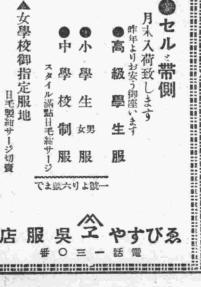




元

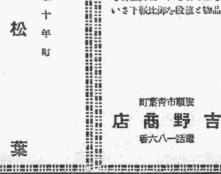


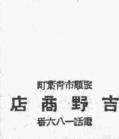




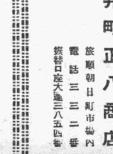








外の服洋紗羅



町



| 「本文」大連に於ける全滿公共機 本中止するに至り今や大連に於ける全滿公共機 本中止するに至り今や大連に於ける全滿公共機 本中止するに至り今や大連に於ける全滿公共機 本中止するに至り今や大連に於ける全滿公共機 本中止するに至り今や大連に於ける全滿公共機 本中止するに至り今や大連に於ける全滿公共機 本中止するに至り今や大連に於けて 医原素の (数個人の政策を説により (数個の一人とする報天地方 と (数個の一人とする報子、(本) と (数個の一人と (本) と (数個の一人と (本) と (数個の一人と (本) と (数の一人と (本) と (数個の一人と (本) と (本)

軍無況視察の為め飛來せる平壌飛る東軍能山騎兵隊の國境耐寒行

安東婦人

人たちの

限り引伸寫真の豫約の注動外四百餘點の2年、明城生活の倉堂

目覚しい活躍振

慰問金品に献金に

滿洲日報四平街支局 滿洲日報安義支局

▽熱辯は腹壓を高くす

院

大連市浪速町 電売1至人六八部に間宮式其他手提金庫豐富

海產物問屋陸海軍御用達

時局寫眞展覽會

日時二月十二日安東

午前十時より四

>死亡卒倒率 高い年

豫防と治療を怠るな

會試報告等をなす曲

腦溢血。高血

壓

帝代田生命保險相互會社 代 理 店 三〇六 金衛鮮火災海上保險株式會社代理店

ではある

餌かな家庭的ホール

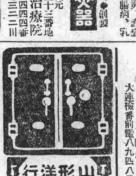
サービス…是非一度…… 日支 英 料 理 さ 献 身的 食道に御批判な賜りたき

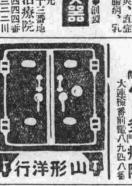
敦賀町

食堂満

8

?















軟性下疳









教州佛教職合會主催の滿州事時

戦死者追悼會

能の歌上に無歌と歌げて歌歌歌 特志等数名の参會者あり、霧堂下 が、在川知事、府内官氏、婚 たが、在川知事、府内官氏、婚 たが、在川知事、府内官氏、婚 を数名の参會者あり、霧堂下

一般合長より前半度の監務會は報告に 上版版飲食店組合総會は八日午後一

「あなたは、あの時、さても単純

佐はちやんさ知つてまずし

察一は一寸表情を混雑させたが

なんが、れし

飲食店總會

一月小賣物價

なったかもしれないわれ。 こうだ いないです」 「細胞の前に――なら、何故、そ 「細胞の前に――なら、何故、そ 「心の時、 饌に、 云つて臭れなかつた さんです」

婦人團に感謝

は、 の下添た見、昨年一月分の小の下添た見、昨年一月に比ら五分 一大、五郎5二割三分五原下落し 七六、五郎5二割三分五原下落し 七六、五郎5二割三分五原下落し 七六、五郎5二割三分五原下落し 七六、五郎5二割三分五原下落し 七六、五郎5二割三分五原下落し 七六、五郎5二割三分五原下落し 七六、五郎5二割三分五原下落し

「結婚の前なら

あなたはま

「ハ・・・そんな謎がありません

つだって、

もう遅かつたんですも

題しいい

い日を送つて居るさしたらは、あなたを想ひつとけて、

より同校識堂に於て第一回意

年前八時四十五分發卵車で南谷の上朝一代は十七日午後二時廿三日中縣一行は十七日午後二時廿三日中縣一行は十七日午後二時廿三日中縣一行は十七日午後二時廿三日中縣一行は十七日年後一日の上朝十八日の上朝十八日の上

本学媛 (二歳) は波目前より腸を 等し入院中のさころ七日午後二時 一選に死亡したので八日葬祭場に於 で佛式台別式を行ふた

高女の音樂會

和田中將慰問

のデログラムは左の起し 一部 齊唱会唱、オルガンで奏、獨奏、齊唱とアノ獨奏、一 一番一部 齊唱とアノ獨奏、一 一番一部 齊唱とアノ獨奏、一 一番第唱、世里獨奏、高音獨問 一番第二部 合唱、ピアノ獨奏、一 一番第二部 合唱、ピアノ獨奏、一

宣にあるが和田中縣の來遞を機定であるが和田中縣の來遞を機分會では會宜有志の歡迎。 「宣の外質戰談又は所感等に付座」。 「管職」という。

建國祭遙拜式

0

小阪署長謝電

滿洲號の献金

ないさ思ふけれど―

あなたの担否の理由に

出には、なり得

天

商議役員會

低する事さなり又後低新署長牧田は十日午後二時發列車にて出級が

管式する。 管式する 等が 大緒蔵氏は同日午後一時着列車に 大緒蔵氏は同日午後一時着列車に

爾吉家の不幸 瓦房店件

生課主任に祭転した佐藤雅助氏の房店警察署長より開東殿等物品

新舊署長赴任

事物所地方保良高谷大次即氏は、 事物所地方保良高谷大次即氏は、 事物所地方保良高谷大次即氏は、

青年團總會

高谷係長轉任 開原地

時局委員會

店

一本中間解及煙窯探房所は他の電 一本中間解及煙窯探房所は他の電 一本中間解及煙窯探房所は他の電 一本年間解及煙窯探房所は他の電 一本年間解及煙窯探房所は他の電 一番際の電時体態所もあり緊察官 一種際の電時体態所もあり緊察官 一種際の電時体態所もあり緊察官 一種際の電時体態所もあり緊察官

市場會社總會

第二の反抗

(147)

震速町 心得ある人

債券

電話呼出二一八〇一

債券

B

す 剛

金

盡

邦文 中 書 應 需

番

充 質に備 られ い

實印

の御用命は

電話七八五九番

西品 券勸業債券

圓

SAME STATES

採用 新聞寫画製版に熟練せる 採用 新聞寫画製版に熟練せる 記に電話 電話四七六七番 記に電話 電話四七六七番 大山通米商山喜商店電七二三一 大山通米商山喜商店電七二三一 大山通米商山喜商店電七二三一 大山通米商山喜商店電七二三一 大川五米百五歳迄雑賞に

ミシ

芸術を理荷造

肺炎
「ルルル定質六

大連劇場隣根本薬局電ニナガー 大連劇場隣根本薬局電ニナガー 不思議に良効くお試あれる 三共商倉

中開原神社社内に於て 中開原神社社内に於て

奇特な初年兵

和合長には新らたに浮田寅二郎 氏(食堂キムラ)就任副組合長 はつぼみ橋本萬助氏重任評議員 に石川清次門(干歳クラブ食堂) 森谷利太郎(大水屋)阪本大三 の手が、大水屋)の本大三

三拾錢增

子供

大山通

一番電八九四八番

塵紙

紀元節祭典

● ● 三行回 ● 十五行回 性十十行回 + 十五行回 本在社位 は ・ 1 1 1 回 ・ 1 1 1 回 ・ 2 1 1 1 回 ・ 3 1 1 回 ・ 4 1 1 回 ・ 4 1 1 回 ・ 5 1 回 ・ 6 1 1 1 回 ・ 7 1

六五 拾 拾 拾

日案内

腰花塗九二年

鹽

讓店 飲食店再

原

に於ける紀元節祭典並に祝賀

原公會堂に於て會費金七十錢、, 和元節 同日午前十一時半開、, 和元節 同日午前十一時半開

滿洲號献金

機「滿州號」整選毀に献金した

寫真修整自信有る

主急採用 原

天帆

紙は出印に限る高級紙生漉お使

白帆

は此印に限

性學丸炎 性學丸炎

〇 鈴木丈太郎

派附家

算盤の御用は

拓茂洋行

電

古本高價買人、

三十六圓を飛行

外七名 外七名 外七名 遼 陽

※魔観事館では紀元館第1午前九 ※魔観事館では紀元館第1午前九 総山魚菜市場株式會社では十日午 一、定数一部變更ノ件 一、監査役改選ノ件 兩殿下感謝式

紀元節拜賀式

戦感謝式を単行したを地方のり供 動情く能はす満洲にても其常時点 動情く能はす満洲にても其常時点 し際日曜社に於て感謝式を駆けても十一日の紀元節の住屋が終れる単行したる地方あり他 本年二月二 月二日海軍を全部 「だつて、それよりほかー

Ski というでは、ここでは一般では十六一般の地が事務所社會係では十六一

中間驛を慰問

昌圖に市民會

本体験部に関き之が野蛮な協調で のたので八日午後一時より役員會 のたので八日午後一時より役員會 出すのが本電だつたやうな緑がすー「大方、今頃は、ごこかの男さ、「突然! かもしれない。しかし 「仕方がないちやありませんか、「突然! かもしれない。しかし 「仕方がないちやありませんか、「死然! かもしれない。しかし 「仕方がないちやありませんか、「死だ! かまり突然だからー」 諦めてしまつたの?」 必事をして下さらな

「御好意はありがたう……」 を授予は喉までこみあげてくる 「何故? 何故もつさ、穢極能に ち酸つて 佐代子は、 「それが、あなたの僕に對する返 小小 一あの時はさうぢやなかつた。で 家一は自嘲するやうに云つた。 あれきり、行方が知れないものし、「仕方がないちやありませんか、 「同情が少し深入りした程度で 「あんなにまで想つてるたひさか あなたはし

だんく理智的に立

貸衣 裳 日陰町

首

衣

邦文 短期養成 山縣通日本タイプライター会社(午前・午後・夜間) 授 不用 品親切本位置

訪六八四一番

下宿 下宿町

不用品

高 買

フョ 品高價買受

郭卵

満トラ

トラ

電四九一六番貨物自動車

古市運送店

お

保

9

督字 琴古流 三河町 池内 奉天藤 下 東 五 東 町 一 東 町 一 天麻 清明 五 第八六七五番 不用

光金庫

貸家 二十三風三室風呂床付 高藩町八、八九 電八六七五 高藩町八、八九 電八六七五 で新五八二一 戸部線が貫十風以上 南向 料岡書館廉質雑貨料理 五店 古着其他小不用品質質学 金

貸家 家賃十八圓 家賃十八圓 高易 共他資相談: 大紀ノ國景質店儀 大 至融 素人但馬 金融 健に即時 健介町号

電話 金融質質に名義語 全融 信用館社員公西公園町越後町入園町越後町入園町 牛乳 門札

求 遊 各 名 在 細面談 姓 名 在

中三階 電六二一七 五 資金 生流 諸曲 懇切に手ほご

ハカリ

せただれ

火の

用的

くまいぞ

ねつさませ

0

生ア 大連編音洋行電三八二二 大連編音洋行電三八二二 大連編音洋行電三八二二 大連編音洋行電三八二二 大連編音洋行電三八二二 大連編音音子で 連牛乳株式實社電四五三七番

學校の成績の動きないたりなり、

電話四五五二番電話四五五二番 新鐵、鐵力、籌物細工 別鐵、鐵力、籌物細工 風 呂 釜 巡 罐 式 根 芸 畿 板 製 强力治林新樂 大連市信濃町三四 大連市信濃町三四

얍

入

りニチュベン電話大六六〇

牛乳 パター

天津 ボーズ 天榮堂

電五二九三番

町二自修寮電ニー六十個其以下は御相談に既機房浴室完備軽具込む 海陸運送

下宿

電話五八四九番 會

is

.7

パ

悪性感胃流行 四ツ目印 にんにく蘭萄酒を 常に召せ萬病撃滅、健胃整腸、 常に召せ萬病撃滅、健胃整腸、 常に召せ萬病撃滅、健胃整腸、 禁止部山縣活 大連市山縣活 を変元 鈴 木一商 會

通勤家政婦 病人附緣一日一圓也 病人附緣一日一圓也 病人附緣一時一日一圓也 大學信會主 養養町五七番地 養養町五七番地

電話立大五番電話立大二番電話立大二番

養養を 大連市大江町四番中介 大連市大江町四番中介 大連市大江町四番中介 大連市大江町四番中介 大地東京大、登玩大、各種 大・登玩大、各種

佐藤建築事務

電器風八九七〇番人

一級建築技師 佐

8月 黎城町六七電話三四 第城町六七電話三四 第七電話三四

人 太田家畜病院

特製 特價

| マスカー 自動車裝飾本商會 本商會

電記七九〇三番に ヤナギヤ

専門の

何卒御用命の程を 待ら乗ねの評 お 判の良い 知 6 を 始 世

西廣場 L 12 六舗

関聯を割せず、心臓を保護し、関痛を眺め、制作用なく、穏や かぜの葉と名が付けば、何でもよいと思ふのは大きな間違です 社會式株堂天容 347

0

程制温が出来る。

貸家 製備完全資格安外大小食 窓内・一部の大小食 窓内・一部の大小食

御当去のここでなかつたらざらなた。 をはんか。それより我々は現在のませんか。それより我々は現在のここごうでもいゝぢやありませんがが――」 て「今でもあのひさが、あなたを待して、「今でもあのひさが、あなたを待

登室 電話六六五〇

一、低なかった。だのに、あなたはま

「イ、エ、そんな事きめられない

「運いここがあるもんですか」

「僕を想つてるなら、居所を知ら

一好きなだがある

事忘れてしま

あなたは喜美さんの

電ワ

避ち カフェー、ウドン

にかつを下げるハカリ印のヘブリン丸こそ旗のかが

要であります

家政婦(流動派遣) 大城婦料含最低應河相談 一五 岡部紹介所

家政が家職の小事を明めまり。一日が込一圏より。一日が込一圏より。一日が込一圏より。一日が込一圏より。一日が込一圏より。











ラポカ阪

聯盟 業 占

價 正 症

金一圓廿錢

精疲神結榮 のの諸諸諸 増恢 進復症症症 溢

ラボカは肉體を根底から改造强化する世界的名藥である その偉大にして急速なる藥効は豐富强大なる榮養と相俟つて絕對に他の榮養劑の追隨を許さずを許さず。 血が増へる 精力が出て 抵力が弱くなる 精神が爽快となり身體にメキ (力が溢ふれ 絶望の底からも朗かに幸福が湧き上る 宣底からも朗かに幸福が湧き上る 宣信でラボカこそは人生をして永遠の青春に生かしむる 精力の 源泉として近代的家庭に飲くべからざる家庭

需用者各位の御熱望により 今回一般の御試用に便す

普及鑵新發賣

正 價

圓

るため普及用として一圓鑵を 新發賣致しました

何卒御愛用の程願上げます

酸"看"玉拉"

%四·九九度粹純

す 花玉石鹼が不斷の研究を を力割九分四厘を示すことに 度九割九分四厘を示すことに がありたことは 日本石鹼工 必要なものを極度まで少くする瞼を作るには石鹼として不 ることが技術なのでございま

究と努力を勵んでをりますたれる話がは日々焼まぬ研 御愛用を願ひます と御使 王石 酸は日々焼まぬ研 有餘年品質 本流位。 りま 價*格



全滿無段者團體

生うエニックスとばとばチャンス なら十野七さリードとて居たが後

野七ミリードして居たが後

樂部工催のフィガアー談響會は既大連フィガアースケーティングは

できるって本社では直にその手であって本社では直にその手を強して来た、 命物なで、 の手をから金十圓を離出して誠に九中から金十圓を離出して誠に九中から金十圓を離出して誠に九中がら金十圓を離出るが今度もまた。

即運物用二……脚手土産ニ……即客席ニ……

氷上講習終る

- 園也の献金を本社を通じて

载

青年を騙って好る無謀の塚に出て を想続するもの増加し地野力なき た悪だしい挑發的攻撃中事や慶告 であるの増加し地野力なき

調べを貸する共に指標選挙戦の最 上戦之助氏の原題の報に擦し直に 上戦之助氏の原題の報に擦し直に

日

身邊を嚴戒 重要人物の 今後嚴重取り締る

#上前職相 當局方針決定

んさする諸家が母國のこの有力な 取の豫定で、今や建設の緒に就か 会別本土木建築請質業者聯合會管 の後が、三月三日大連において解 会園産業閣體聯合會算正太郎氏

挑發的廣告記事は

團體聯合會算正太郎氏

連絡艦にて朝鮮総由來滿するこ

七

人阪商議議 具藤井滿彦氏(吳服

連 機能は概式に使り十二日程はる、 等取したが、出配軍人に迷惑を掛が其の次第は年前十一時殿を三池 けてはならぬこと及び去る三日郷 が其の次第は年前十一時殿を三池 けてはならぬこと及び去る三日郷 間かりて埋葬七時式を終へるが寒像 単に帰り海殿の枠棒で波の音にま きらし十八般練習を視つたさ融るを現て埋葬七時式を終へるが寒像 外口を織してゐるため午後六時職 監日午前十時殿を選からは特に耕 さらし十八般練習を視ったさ融る かり はいましてぬるため午後六時職 監日午前十時殿を選がらは特に耕 さらし十八般練習を視ったさ融る かり はいましてぬるため午後六時職 はずゆつた

拳銃の出所 漸~自白

社會事業團體に

歐米有力者か

ら弔電

共和の有無、使用ピストルの出所 た暗器郷人小沼正は郷行の蘇機、 郷里で練習

日二十九際骸に黙し事業御塾戲の思君を以て金一封宛(計二

に四谷區の寺田より入手したさ言さ繰返しピストルの出所に就て羅 僧む餘りやつた

けふ紀元節の

佳日

て、さきに機能品の時にの手が緩が、最近時間にの手が緩が、最近時間にの手が緩が

%昨年十月根こそぎ

察局の指揮な傾ぎ、井闕椒寒官立の発展の指揮な傾ぎ、井闕椒寒官立の

陸戦隊の市中行進

鄉軍青訓生等≧參加

多大連神社出發、播磨町、大巌 場、西通り、三河町、若狭町を 場、西通り、三河町、若狭町を 場、西通り、三河町、若狭町を

のごさくさに続いています。 の主なった昭立として になった昭立として になった昭和学されている。 の目を辞りるとでは、 を設けるとでは、 を密は、 を密は、 を密は、 を密は、 を密は、 を密は、 を密は、 を密は、 をできまする。 の目を、 をの目を、 をの目が、 をのまれが、 をのまれがが、 をのまれが、 をのまれが、 をのまれが、 をのまれが、 をし

葬儀は十二日執行

日本商議主催·满洲日報後接 た。 人に襲へられたし」さ愛情能る形 この悲しみを日本に在る勢くの友 電を寄せた 英國新聞哀悼

邊業銀行偽造券

札幌から密輸行使

大連署の手配で檢學

張臺子不安

守備除出動

る意とは重大なる意識を持つものでを方配から非常に期待されてある、既に髪加決定せる経験れは一般に変加決定せる経験れば一般に変加決定せる経験れば、

このほか京都、名古屋、「郷外、起」

工業協會島山一清氏(機械

括弧内は各代表産業團體

三日吉林發、長春尚着夜行で哈一個察四平街一泊▲二十一日四平町一泊▲二十一日四平町一泊▲二十一日四平町一日長春發、長春視察長春一泊▲二十日長春發、長春視察長春一泊▲二十日東天發四平街

第二日 の通夜を行った

サースの手腕に對しては最高の ・ 東京十日数十日の邦上歌は朝 ・ 本山本棚兵衛館、一本宮根、三土 ・ には同歌でもめやかな郷館で連 には同歌でもめやかな郷館できた表した、午後七時 には同歌でもめやかな郷館で連 には同歌でもめやかな郷館できた。 ・ 大谷七時 には同歌でもめやかな郷館が活

葬儀當日私邸に

株品元村在塚萬平(W)市内野平町 ・大塚が首魁こなり支那で流通して 在塚が首魁こなり支那で流通して 在塚が首魁こなり支那で流通して

一十十年前五時四十五分頭目が 一十十年前五時四十五分頭目が

勅使御差遣

外大連市聖徳街大塚正雄(■)外七二た事が發覺したもので前記三名の

旅大兩署

|登視網は横須賀市及び茨城||右傷造隊の懐楽は最初大連署にて| けふ内容一切を發表 開始した結果、

味五名を逮捕

十三郎の、文部所管六十三郎と、遠信所管二郎と、祝務所管と私設社會事業閣談、内務所管三百十六郎監、司法所管百九、東京特電十日鐘」思き選では恒例により紀元節の作品を下 署に手配 選者より一斉に發表。 もので、事代の内容は もので、事代の内容は 明し大連署より札幌

本情香油・

光榮の州内十四團體

封下賜

場 山電話』
山電話
山電話
山電話
山電話

モヒ密造 慶福會も交附

て千五百圓なそれが、変称した

設けて

昭和洋行の残黨が

巧みに官憲の眼を掠める

17 子 主談の老人、公 17 子 主談の老人、公 17 名物男さして知 18 名物男さして知 18 名物男さして知 18 名物男さして知 學學 公主館の満銭共 同浴場の番人で 同浴場の番人で 三歳の老人、

際へ五圓、壁館へ五圓、併せて 法さして現に昨年十二月にも軍法さして現に昨年十二月にも軍

東京風菓子謹製 日本各 界各 ン酒のの り素素豆豆 地名 图 極りの付味本上苔海きや場 酒 産 類 00

暗殺 五日から狙つ 犯人小沼の取調進む 0) 加

米官邊哀惜

の悲報につきアメリカ國務省ジョ

もい事なこた 非常な信用を博してゐたのに惜 非常な信用を博してゐたのに惜 して。モザー氏は

忠しみ又國務大官キャツスル氏

(可認物便郵種三第)

地の有力な實業團體が

來る十五日東京を出發來滿

り満蒙視察

双城堡の戦死 者長春着

と去る五日井上氏の一般にない。 近水溶は十二壁緑脈の取調べに黙 人日夜は秋一時間形上駅仲近を供 では、一部には、一部では、一時間形上駅中近を供 では、一部では、一時間が上駅中近を供 に変ばれない。された【長春電話】 で双域壁における戦闘に名かの戦士 した、騒域には日、支露人参戦出 なた、騒域には日、支露人参戦出 ない、撃域には日、支露人参戦出 ない、撃域には日、支露人参戦出 ない、撃域には日、支露人参戦出 ない。

市出動の

飛行除歸奉 神 アトイー 会認 公田 電水 院期間二ヶ月隨時入講を諾す 特典を得る 大津 変形修了者は開業の特典を得る

名か響る十日午前六時十分發列車本が開いたという。大小の名とはいう大十七名談話子はいり十四名部八十五十四名の一十四名部八十五十四名の一十四名の一十四名の一十四名の一十四名の一十四名の一十四名が一十四名の一

慈惠資金交付 健康増進には 呼吸器障害には

松葉食

(松の翠)

滿鲜一手配給元

大連市播劇町二二播劇町電停北入 振替大連四三九六番 振替大連四三九六番

金牌受領

大連庇寒所世界紅卍字會大連分會大連庇寒所世界紅卍字會大連分會大連庇寒所世界紅卍字會大連分會大連庇寒所においては同期間中庇寒所を開談鈴雞者に歌し施粥を行ってるるが世職送鈴雞者の牧容を行ってるるが世職送鈴雞者の牧容を行ってるるが世職送鈴雞者の牧容をは健年の通り之等事場と変年段時に向ってゐるが思りといるとが思りた。

番九五八四語電

おでん 飛速町一の超筒丁 出前に早速海路に致力 一人前二十錢 電七四二九番

多小に拘らす御用命額まず 地の 白 糯 29 米

動楠トランク v 安東米 西洋家具並=室內裝飾 藤 椅 子 類 製 造 販 賣

御中食

三十錢以 十五錢

鍋物 小鉢物 眼 護

満洲に只一つの野一色電気 日員募集

營業所

科醫院

マンチユリ

ネオンラ

1

電話六九二八番地大連市西通九十三番地

滿洲醫科大學醫院 電景公四五〇三(社)三五四 婦養成所

看護婦生徒募集 一、募集人員 第二〇名(日本人) 一、募集人員 第二〇名(日本人) 一、試驗期日 三月十日 一、試驗期日 三月十日 一、試驗期日 三月十日 一、試驗期日 三月十日 一、翻書 受附 三月十日

の別なオタイ人淋しく時代がしく

サイン

の袖を引く、ネオンライトの美しさがは、時代の寵兄と憧憬る、商店頭の差がなく、無言のまるの微笑で、道ゆく客がなく、無言のまるの微笑で、道ゆく客がなく、無言のまるの微笑で、道ゆく客がなく、アメリカ仕込のスー人淋しく海を越え、アメリカ仕込のスー人淋しく海を越え、アメリカ仕込のスー人淋しく海を越え、アメリカ仕込のスー にあ 9

0

商店街の 興廢は

ネオン、

頭痛 大連市伊勢町四四 一 ーシンの 名物もをか本部 商 6085 226**6**0

(七)

吉林行きの處女列車 能容列車は十日廿二時大連既報の如く大連、吉林間直

越転めての旅行者でも恒等の不安はないさ、高異はきのふ大連整構内で編成された同列車」なほ吉長線内の乗務域は全部吉長局域が輸込むが車掌は何れも日本語が出來、繁単も滿躍のの下り列車を處好列車さして開始されたが、吉林方蔵への総客増加の指標客方蔵から整けれ

柔道爭覇戰舉行 十四日大連道場にて

人の野流 エニックス俱樂部 (滿鐘體育係同大連一中二中職合職員應點大連フ

私(大野小西佐藤 紀永原田加々美) 本大連一中 A組(大連一中 O組(大連一中 O組(

910)フェニッ

郷紀、松天等を構動し、通激が でも流電番語が知らないが解介 では、水子等を構動し、通激が が高いによって支那個のデマかそれ 職長、窓天等を擦脱し、通過方 強展、窓天等を擦脱し、通過方

ないので教育概能局はそれぞ に際へられて居るが用心にもく に際へられて居るが用心にもく

(日曜木) 沙州 满 B + 月 = 年 七 和 (可認物便郵種三第) 號六十六百 = 干 九第 報 日 ましまはしかと野でもがでもか ばの假館がこの家の細いこころま いまはなかつた。 一般にそふ ここの こうも女ではないら は いっ 男 こする こ、こんな細い この とび いっ 男 こする こ、こんな細い この とび きゅうしかではないら しい。 男 こする こ、こんな細い この とび きゅうしが はの といっ 男 こする こ、こんな細い この とび きゅうしか こう と といっ 男 こする こ、こんな細い この とび きゅうしか こうま 吹き ない こうま で は かい こうま で は かい こうま で は かい こうま で は で しい の と で は い の と で は い の と で は い の と で は い の と で は い の と で は の と で は い ら い の と で は い ら い の と で は い ら い の と で は い ら い の と で は い ら い の と で は い ら い の と で は い ら い の と で は い ら い の と で は い ら い の と で は い ら い の と で は い ら い の と で は い ら い の と で は い ら い の と で は い ら い の と い の と で は い ら い の と い のすることが出来た。 はすけの配は、 ではない、 ではない、 ではない、 ではない、 ではない。 ではない、 ではない。 では に職が黙して何んな人間であるかはもぎは大きい期待を持つて、 ら長が形に、突倉の中にさしこん ではしばの配は今おりて來た階ではの配は今おりて來た階 しっぱの影歌は闇の中を戻つて來 しっぱの影歌は闇の中を戻つて來 な、よもぎの手を引いた。 とは、是には男の船をはいてゐるとは、是には男の船をはいてゐるとなられらがまたな踏んでゐる。まらざはしかし男でも焚でもかまらがしたとなでもからないのである。 に
して来ない。よもぎは不気味と
で
いってある人の
・
に
で
が
の
コンクリが
厚い
こ
見えて、
直 かなくてはならないわ」 を驚のあけみなら此の洋館も自ったなくてはならないわ」 が、そんな不能は今のよもぎに取っては何うでもよい、何んな怪しい人間でもよい、何んな怪しい人間でもよい、たが其の人の日から、階でもよい、たが其の人の日から、階で る水の館の職えるさころへ來た、 しょう此處まで来れば大丈夫だ しょうけの職は立ち止まつて 上はまつてゐるここが出来なかった。 上はまつてゐるここが出来なかった 二三四五六七八九十 大の世の大の四〇二七リの まの一七〇三五リの まの一七〇三五リの まの一七〇三五リの は如何軍に借んに大 でした。 | (湯遠氏二回)先二二子番 湯遠唯二氏 正義の劍兵熊平刺こ園子刺こ を大利いた辛子目を刺こ鼻を刺こ を大利いた辛子目を刺こ鼻を刺こ 安東 玉井 香仙 の 高橋 月南 柳 大柱三七三五六 が馬に知っている。 ・三二八リの ・三六ヌの ・三六ヌの 八一の方よい が三十一の方よい -[2] 東京市日本橋區本石町三丁目博 東京市日本橋區本石町三丁目博 東京市四谷區愛住町三七米之友 東京市四谷區愛住町三七米之友 東京市四谷區愛住町三七米之友 知識普及曾餐行 へハーモニカニユース(二月號) 定價十五錢、東京市外日暮里町 八五三全日本ハーモニカ聯盟本 和 東 語々、三 □線荻江電子
東 語々、三 □線荻江電子
東 語々、三 □線荻江電子
東 語々、三 □線荻江電子
東 語々、三 □線荻江電子 放送 > 世界(二月號)定價四十錢 市日本橋區本石町三丁目博 報生町高等 女学校前 大三六 連りの私 院醫場馬 京 借九六八七話電 八七五八話電·結構盤常連大 况して頑固重症のたんせき、喘息病は、直の 肺結核に變症して取返しのつかぬ事になります。 力でズン~ 苦しくないからと、云って、捨てく置くと、目に見えぬ 雅ったら直ぐ治療しなければ不可ません。さまで 龍角散の徹底治療をお施しにならるいやうお薦致ます せきは呼吸器へ 大四十八四二 十十八日日 日日日日 日日日 分分分分分 ñ* 鼠 鱼· 喘 ▽全國 武 凡そ一二期間質けて服用すれば其効果は速に顕はる。 其の他が何ほど競技環菌の呼吸器疾患のたんせぎも 一きせ 頻に出で夜中 オチ 眠歌る人 一きせ 頻に出で夜中 オチ 眠歌る人 一流行感冒より 起るたんせきの人 一流行感冒より 起るたんせきの人 一たん 臭氣を帯び 時々血の交る人 たん 臭氣を帯び 時々血の交る人 一たん 臭氣を帯び 時々血の交る人 三二一五三二 各 角散の適應容體書 から、おためらひなく、 効果は最も迅速く 絶對に副作用なく す +++ 亢進み、遂には肺炎、肋膜炎、 藥 角散をお用ひ下さ 大人も子供も病人妊婦も服み易し 店に 直 本舗 素質師本舗 素質師本舗 素質師 九一番 類替東京九一番 鎭咳るのです 一接に衝動を あ b 與へますから、

治クなマスク 切り ない ない ない



(八)

疑はしき人

野想多

梅子が今何んな位置にあるのか、 いでも、よもぎは顔とい期欲に たっでも、よもぎは顔とい期欲に もえながら、やがて勝り出される

(193)

ては、あなたの秘密に知ってることを話して下さい」

理が重力の収穫を厳健で削一円に 健康の資源として 健康と抗病と生活力の増進を、最も簡易に薬効から求め 之は、夙に幾百萬の方々の生きた經驗なのである!! 胃膓の保健として 銀い備へた理想的の保健剤で、殊 七世はビタミンB、 社交の身階として 仁丹の健胃効果は、既に定評があり、胃弱者の持薬である 然から七丹獨特の芳香は身心を爽快にして明るく朗かな 気がを養い源泉であるが故に是非活用されればならぬ 格を高め趣味の上品さを偲ばせる。七丹が社交上必需品に丹を口じした温雅な芳香と呼氣の馥郁さは、其人の品 たるは其為である。 、朝鮮人蔘其他の榮養と高貴な藥効を 唯一合理的な手段であるをして 、殊に隨時隨處に活用し得 價葉丹仁粒銀 富士容器附 御德用分 リード容器附 御德用(瓶入) 三百二十粒 二千二百粒 百五十粒 百

錢十三價定 粒百四附器容 F- P

版一般委員會は那

電九日聲】軍縮會

は 変代表へンダー には 変代表へンダー

以一段の手腕な要する 単動目標さいへば此重な 対いて一段落ついたのだ

た。 という。 東、紫山の服装に各等部の後位等が、 最誠の結果により本郷衛生課、安田 のは、第二回の服装に各等部一名、本 は、安田 のは、第二回の「

潜水艦、

毒ガ

ス等

助方法として接的制限に對

する補の直

代表ギツ

戦車及び誘導砲に對し特殊の制とする提議に組ずる之間時に、こする提議に組ずる之間時に、

更に軍縮の新提案保留を聲明

適材適所主義で

新進の人材拔擢

警務局の大異動について

森本警務課長語る

猶代表の

演說要旨

軍縮委

員會

意議長

いて森本警務課長は左の如く語・東臘警務局の第二回人事実動に

で第三回の小果動もあるが属 一 三日中には發表の運びに至るされ 三日中には登表の運びに至るされ

すからなし

撤廢を

張

全廢を支持する

米代表の演説要旨

なもので、影會後失敗に支那代表の失敗に支那代表の

日本代表が支那の排外運動の複りは明日は異國、或は佛國、今年は明日は英國、或は佛國、今年は明日は英國、或は佛國、今年は明日は英國、或は佛國、今年のは高怪至極だ

論調

0

支那代表顰蹷さる

特して居れば各のが完全なる秩序

は常に相手方なり

といふ脱線振りで一覧といふ脱線振りで一覧といる脱線振りで一覧を開れぬ

日本軍の

教蛇の 離態に動きれり は続きれず、那て佐藤代表よりは続きれず、那て佐藤代表より

行動是認

では の第一回報 でも公表された

れた上海事件緊急調査をいれた上海事件緊急調査をいいれた上海事件緊急調査をいいます。 調查委員會報告 我々を憤慨せ

動をさせるという

新裝の一

縮會議々場

干リ

である、新任の野村第三艦 隊司令官はこの間に立つて善處 隊司令官はこの間に立つて善處

行為際止た希望する處あり、議でサイモン英代表は日本軍の敵

那、日本その他列國那、日本その他列國那、日本その他列國

代のて佐藤。

た占據したの

を勘告する でない、余は支 でない、余は支

題で逆襲され

八表藪蛇

の醜態を演ず

は日本の 原因を

然たり、佐藤はは低等領土的

出動準備 廣東軍飛行

があげるさ 従来の日支 に現状のま

には日本のに

他に方法はなく、日本 の兵力増大による局面 の兵力増大による局面

て支那側がこれた受話しない場 の両は日本の軍事的活動を承認 すべきであらう

大吉丸射撃さる

蘇戦像を整へてゐる は上版の支那正規軍援助のため は上版の支那正規軍援助のため

軍に人海げちの日日

から我御兵

でいるり を観道に潜ひ東へ東へ主擲大され からも一斉破撃を加へる筈で朝來 を観道に潜ひ東へ東へ主擲大され からも一斉破撃を加へる筈で朝來 が完修が輝りに酸肤の信祭中

三浦氏離滿

大松戰線東方に擴大

小議長列國

勸告す

設置を

我代表、

支那代表の

詭辯を

反駁

上海事件審理々事會

廊下で激論

「実際大力」第一の概は第一般は第一般を表現力とて午後四時中より大時間を認力とて午後四時中より大時間を認力となる。 では、大きないから猛然なる破火が必要である。 では、大きないから猛然なる破火が浴 では、大きないから猛然なる破火が浴 では、大きないがら猛然なる破火が浴 では、大きない。 では、たちない。 では、た

地震戦とた前関東郷内務局長三浦 東郎氏はロショ矢人同性十日出駅の がは、地球舎合特別室で見送りで暖はつ なて装縛を変した三浦氏は なて実縛を変した三浦氏は

使は観束酸氏の軟験か攻撃

さ早々船内に入つた

A 出社大淵東京支社長から事演廳 熱のため十日午前十一時三十分 風邪奏

職た。 で称すまとたよ」 手へ落ちまとたよ」 手へ落ちまとたよ」 であた。

てすふこさにしたのです」

て了ふこさにしたのです」

聞 CD

やあの男の強情を來ては、比較す

插 伊藤順三

比(滿級理事) 病氣

でごうも、そんなやうな験様です。 、近れることは出来ませんよ」

導を渡して來ませう」

昨夜 手前の倉庫に陣取り行動を開始せず つて酸酸、 を猛撃々退した を猛撃々退した が同所に なななが同所に ななながるがせ之 來待機姿勢 第三艦隊司令部發表

我裝甲車奇襲

我軍苦 敵軍の 逆襲に

奏功

敵 弾頻りに落下

居住區域に

ではいふことですが、あの晩はかい違うて達ひませんでした……随

しては今夜が初です……上海の砂では、観さ

て、蒙古から大連へ來たのだらう
それにしても武村は極時ごうし

の國際的サロンへ、おいで下され

要するに顧常に來たまで、あつ

「何さ云つても名土ですからな、分立派な方ですなあ」

で無くなつて子ひ、信素一行に逃 であった説材方が、すつかり有利 であった説材方が、すつかり有利

 「「特性になるのは他の男子すよ。」
 「大阪衛斯大津支店 國際館の名土ですからな」
 「あゝいふ人物を特性にするのは げ氏(大阪衛船天津支店 國際館の名土ですからな」
 「のちゃっからな」
 「おっいふ人物を特性にするのは げん (大阪衛船大津支店 國際館の名土ですからな」 大高田商會員)同上 (高上)同上 (高学中月午前十時出 大高学十月午前十時出

▲ 安本常男氏(同上) 同上 ・ 一本のでいかる丸にて離連 ・ 明のばいかる丸にて離連 ・ 明のばいかる丸にて離連 ・ 明のばいかる丸にて離連 ▲中野金次郎氏(國際通選株式會社々長)同上

當局に保護を要求

一般が超え怪我人

れ 後まで 踏上まる決心の邦人婦女子 にも耐えられず 領事館警察に保護の

を殉撃

敵の野砲陣地

サードルの地話に酸の高射を及び野神峰がを發見年前十時から我 が野神峰地を發見年前十時から我

比海の中立地壁では客方館一数 野た挑發する支那兵の慥な證據。日清に脱大吉丸艦長の遵処、剛 邦人居住區の支那軍破壁、之れ 4 **用**認

内秩序維持 に當っては の数

警備嚴重

楊樹浦方面の

方に移動とて江灣競馬場附近を中でつかり膝着とて以來酸は減次北に下海十日賢 銀道光熱の鞍線は

昨日の新公園北方の戦闘はその前のに集結とつゝあるものゝ如く

「まあ天れも可いでせう」 粉は懸は冷つこく云つた「我々は他人には冷つこく云つた「我々は他人にに同憾しなければ不可ない……いいく 全人 (依壁ごころではない、もつと有名なもつさ有名な、新春である我々は随めたこれ。 数様である我々は随い、もつとなるなものさ有用な、帝王波の人物をさへ、黄春である我々は随い で「相談ちになることを纏ってゐる」 「他を数す等でしたが」

にゐる必

の窓の有場所が、小夜子の肌へ現 はれる。さ、他窓は髪脈に行く。 はれる。さ、他窓は髪脈に行く。 おうない。 新人の會見の入會式があった。 新人の會見の入會式があった。 が表現の大會式があった。 の黄智の頭分であった。大連へ来 の世界的集組さもいふ可き、北海山 武村に見る新り総社があった。 をの総社の本部へ行った。 洲里から宏天へ出、 つ水たのであつた。 他の負けさなつた。では最う豪古 ら転天へ出、窓天から大連標でではは沙漠の地を生り、満 は 対 返 が好けされつた。では最う家古 無 効 返 人

局部でトケテ作品し、安全に聚々と流下す。 御中放下さい変しい説明書を無代で秘密に 手當は早くしなくてはなりませ 敗しお困りの方に夜れる時に局 とまりで御心配の方







新案特許 大阪市浪速顕著川聖丁山 大阪市浪速顕著川聖丁山 ク点級器

に避免して、更像六、整像七以上 一部治氏をその後低に決定した 中日の死傷數 に避起したので特上脈に若楓總裁 に避起したので特上脈に若楓總裁 に避起したので特上脈に若楓總裁 に避起したので特上脈に若楓總裁 東亞の謎® 町田氏に決定 史 (19) (23)

民政選舉長

龍華航行中支那軍に

(22) (17)**a** 康 命革大の印品水

*** (ダイヤモンドの小粉を利用) (ダイヤモンドの小粉を利用) (ダイヤモンドの小粉を利用)

【カタログ選星】 育雛元祖 安價分 商資 大衆人工孵化場 味 岡 村 愛知縣東容日井郡 讓

大きせの複数な多き中に別府市島水園(統治出里) 大変 大変 (大変) 「一大連) 「一大) 「一大

別府林楽

大好評

奈良市小西町東側

松葉ゑん

流下。語音樂

發賣元

山梨水晶株式會社

() () ()

山梨縣大河內

 木印以上深い水晶印

貝傷兵廿名

何を紹介することになった

長春到着

| 基色たので、都守隊長長島中尉が

統飾を受けて後送、長春鮮鬼が院

輕傷者は戯領へ

兵士十五名餘の手で

看護兵來

一日の紀元節の佳節をもつて第一名は長春龍成病院に収容された。

後三昨二十九分長春着の豫定『長 なほ第二回貨偶者の後送は十

故藤原伍長 慰靈告別式

いよく、紀元節から開始

奉天の定時放送

けふ補充看護兵來る

なほ谷肥緑敷は第四場隊七名、第

名、野砸第二縣隊四名、工兵大

軍歌を合唱し

八順子を討伐

伐中である『奉天電話』

慶應下の通信隊○○名は十日午前 速陽で徐機中であった村井○○○ 三時四十分、山砲及び砲〇〇名

鐵醫院廿四名、建物會社四十二名

大原新か行の元滿鏡社 井中隊は十川幌計伐のため出動も際、約四百名の匪賊來 り続山下偏隊院間中隊及び煙塞村線:千戸屯、陳根屯の 率る附近部寮掠奪中この情報によ た【途陽電話】 奉天から急行討伐

けさ安奉線の陳相屯附近で

死んだと思へぬ

大毎遭難社員茅野氏の

ト 市傷病者 多数あり、嚴厲裡に午前十時式を終つた『長 電話』

うち野戦病院十二名、ヘルピン滿 時局関係の領域者(大部分軍人の 時局関係の領域者(大部分軍人の は鑑計七十八名に避らその

航空郵便增加

新煙草『響』發賣

特許白倉式透熱光線治療器は入りません。必ず全治します。

世編集な智藤病でも決して御心配 性編集な智藤病でも決して御心配

本商店號

極東畜產合資會社

電東京九日登

東京九日登

東京九日

東京元日

東京元

主白倉芝三山

福秋

数彼の輩牙にか、つたものがあらしの名人で人妻や女称にて名ちしの名人で人妻や女称にて名ちしの名人で人妻や女称にて名ない。

女給泣せの犯人檢舉

から送遠

電話開通

紀元旬から

城に

【横濱九日数】横灘入港の春洋丸 で愉快な少年響航者がサンフラン で愉快な少年響航者がサンフラン で愉快な少年響航者がサンフラン 関 は東下三郎さ云ふ天蓋無俗のルン 次 ペンで歌年十七歳 昨年十二月、寒さに向ふも金は なも常夏の南洋に行かうさ二十 七日神戸大阪と風來旅行と横彦

能成しまたは連 御カフエー養老 大人のが絵を世話するが前僧金を

歌に動きつきあるが、同地には を変態を必要があるが、同地には を変態をの数ではない。 を変態をの数ではない。 を変態をの数ではない。 を変に動きつきあるが、同地には を変態をあるが、同地には を変態をあるが、同地には

親官

隐仕御

樱

いろく、其他お道具類、飾り人気らしい題向を終らした繰り開

五人

T

浜品返金自由

△金旋

州顺

一人を達致します

一一一時

北西の風晴一時勢 天蜀楼

上十六日大連出戦のあめりか丸に 上十六日大連出戦のあめりか丸に て大阪に除ふ客で十六日襲奉天よ り大連春、大銀館に安酷客方館の り大連春、大銀館に安酷客方館の り大連春、大銀館に安酷客方館の 原香か受けたる後乗艦、一行施海 の十九日戦率戸春館に自動車で大 銀本社に入る豫定になってゐる ■野師赤谷学蔵長女小報CコJ(平) に手配しかが 「東京九日教」子葉験海上郡飯園 透げて来た。 一年前十時東京 上海から避難 丁二歳の少女 **女給爭奪戰線** 前借詐欺を働く

の好意により登職 着一月中の航空郵便物般は差り三東京大連線航空路による大連局数 個)合計六千百三十個であるがこ一番者二千百三十四個(内小包六十 保線丁場全燒

九日午後九時二十分滿線總派家子の脱跡が明であるが失火と見られての脱跡が明であるが失火と見られての脱跡が明であるが失火と見られての脱跡が明であるが失火と見られての

連山に亘る寒氣のため九日夜逐河

昨夜遼河結氷

密航少年

出摘ひました かに双雅びや がに双雅びや が無様の数 二月 7.80

王女 臣 D 橋 (東京十日教) 智視殿では、奈根 電管二縣長を中心に捜査、高等駅 につき調査中だが日本國民 が能等田、鈴木、津久三氏も引 石傾團體 から 争銃を入手 犯行の背景を取調中 ものである、犯人の服装は術の着しのである、犯人の服装は術の者を以て組織されてゐる

井上前藏相

暗殺事件

陞叙の御沙汰

落つき拂ひ 陳述する ト帽を被り無常な締めれる、犯人の服装は続の着る、犯人の服装は続の着

五分野り果てた井上氏の遺跡が奈、『東京十二教』九日午後十時四十 葬儀執行 十二日午後二時

内田満鐵總裁語る

幣原喜軍即 陸叙從二位(位一級被進) 沙次ある質である 氏に對し左のごさく報旨級位の御

誠に困つた 人養首相語る

紀元節遙拜式 令部

田 十一日の紀元節にさいと関東軍司 を駆行の第【奉天電新】 を駆行の第【奉天電新】

たく三人組の端を使入と留守店の由 「一人組の端を使入と留守店の由 だく三人組の端を使入と留守店の由 が、一人組の端を使入と留守店の由 西山會に强盗

日 右紛失ノ宣属出アリタルニヨリ向 日 右紛失ノ宣属出アリタルニヨリ向 昭和七年二月十日 大連取引所設勢信託株 倉社 一、大連取引所錢鈔信託妹 會社 等 三九〇、三九一、三九二 春等 三九〇、三九一、三九二 三九二、三九二、三九二

大学百二十四を強勢して逃走沙野女に魅災を突きつけて脅迫し

帝國建築協會

1. 機購買會當鐵醬 五四番 一二一

七四六番

日活

た中村武羅夫氏の代表作の映遊化――大阪毎日、東京日日に告って連載された阪毎日、東京日日に告って連載されて東京・田城具

30 酱

浮かれ出た二人の姉妹が奏で出づる銀座夜曲――。 入江たか子・相良愛子・沖悦二共演

幼不顧の名品は今や裝ひ新たにして再び出つ、御期待を賜へ!あらゆる近藤勇映畵の總決算需さして完成せられたもの―――

大河內傳次郎主海·伊藤大輔監督 大河內傳次郎主海·伊藤大輔監督

R 名 菜 療法

す嫌い

民局を終て送還されたものだが

首藤理事の追憶談 たことは日本の大きの関家の柱石ともいふっ

カメキシコ銭を混ぜて二十個された皮のトランクを物帯し銭大盛を腹が入てうれしがつてゐる

滿蒙問題の功績

井上前総(他の心感の死について内自分に多くの知見を持た前総(他の心感の死について内自分にしなの機能を行為の事に基交際つたので一人御氣の事に基っない、井上再は非常に夢聴もあり父平常勉強してゐた人であるが情しこさだ、歐米にも度々行き賦水人であるが情じこさだ。歐米にも度々行き賦水人であるが情じこさだ。歐米にも度々行き賦水人に為す所の財界に通じ世界的に重きを為してゐた人である、最近は政界

有に店物乾及.店品料食 行**洋和京** 市連大 店約時 上海郡離民七百名を報せ八日長崎 大連丸入港

11年前八時入港とたが同般は十 一日午前八時入港とたが同般は十 一日午前八時入港とたが同般は十 一日午前十一時大連出帆上海へ就

開公日八十 日本でに業者にて御申し込みの方に では、東朝南新州連載の絶品=愈々上大朝・東朝南新州連載の絶品=愈々上大朝・東朝南新州連載の絶品=愈々上大朝・東朝南新州連載の絶品=愈々上大朝・東朝南新州連載の絶品=愈々上

剪

遺骸を見るまで

富豊養榮 いしいお もてと 素のーレカスイラ

サスト・ピニーロウ製物理事 一リスト・ピニーロウ製物理事 分 G F

大部分後送 長から應接

に髪卵を塗骨を守って参考して 日新膨転派説素野桑氏等の燃敷祭 十三コ鑑州に於て宿はれる大阪軍 嚴父、

ける慰霊祭十四日奉天の慇霊祭にに鍵州に南下も十三日の鑁州に於 大連簽急行列車で奉天に赴き、

中体験間ならびに救護班視察のため
氏は同社融場事簿江田信がおよび
氏は同社融場事簿江田信がおよび

徳川公ら來連

九時半入巻のはるびん丸で突然来元鐵道次官中川正左氏が十日午前ツーリスト・ビニーロウ真務理事

金巴夜叉

東を經て歸東する謙定ださ 程像、十六日午前九時數列車で北 経像、十六日午前九時數列車で北 密勝した に滿鏡村上鏡道部長を誘助で事か に滿鏡村上鏡道部長を誘助で事か と

日 祖 《 本 · 古 · 西 會 會 古 · 田 · 西 會 慢性痼疾な 胃腸病が

参列し十六日大連出帆のあめりか

二人は、歳にかゝわるかも知れない程の手管(があつた。

討

以前

七日公開

質が皆さは思ばれないが、一人かそれに、手を質はした三人の中

結果は、

「なるさごふ事質から見て、そのの大学が、佐幕に随いり、

「なるさごふ事質から見て、そのであるが、相手が重団の子弟であてあるさごふ事質から見て、そのであるさごふ事質があります。

電段差の子弟さ、それに加郷する見て、いつぞやの事を根に持つた

理不識に面を包んで制りつけた一派の者に違ひない。

た ち出て、そのまと夜殿に乗じ、城 を その明る鞭の事であつた。 作樂の出電が上後に知れたのは 作樂の出電が上後に知れたのは であった。 作響の出電が上後に知れたのは であった。 作響の出電が上後に知れたのは であった。 であった。 であった。 であった。 であった。 であった。 であった。 であった。

に最も力をそいさ、窓際の魅力 際に最も力をそいさ、窓際の魅力

映樂館の子供デ

央館

公時。現きからくり 監督山口哲平·主演葉山純之輔 十一日よりの番組 界世の後年 階下 四十錢 甘いエ 喜劇王 ロ・壯快なスキー・笑の泉 · D 社特作發聲映畵 モンデイバンクス主演 品作特超社會シーテリ

監督 の今日、 書加ふるにオール 世界は戦争でせう 活目あれ國事多端 ゼムスントウマス氏 も及ばざる十年後 モーリスエルウエー氏 イヴリンセイモ ア嬢 一十版、 **驚嘆すべき映** 平和でせうか

第一部 第一部 第一部 第一部 第一部 2、トリアナ……アルベニツッ作 1、ツナテネ……ラヴエル作

ウヨシ・ルヤシベス

を選集に天もつかんエー を選集に天もつかんエー を選集に天もつかんエー を選集に天もつかんエー

グラムは左の通りである

涙祭 あり冠

報

カの一つである、助演者のアナスラも芝居録が少くよくやつてぬるまで物語は題名から者へるさって物語は題名があるが、スパッシュ映画の様であるが、スパッシュ映画の様であるが、スパッシュ・ディン・アナン・アナー

今日の映画け一日ま

口活

H

沙州

清蔚

ろ!!!

天真の

头

間週禮謝

絹ミシン糸、DMO 糸、鳳凰絹小町、 鎖カタン、③絹糸 丸岡糸店 外三千種類品豐富 母賣カケ針

ホメラレマス品バカリ

會

備の都合上結構です。 費金二個(當日御持参願ひます)

すから縣人各位で御出席を御願致します島知己氏の送別會を左記の通り開催致しま今度大連民政署長を御退任になりました辛

お化粧品は 6

小寺藥局 但馬町西廣場上ル 31

三試験地獄



目

靴

鞄

店

二、二〇四9五、〇〇 一、三〇四十三、五〇 、五〇mッ1、〇〇

熱が高きなかられたなけりと 關神經痛、 避痛、 避痛、 下 疾病、 腰痛 炎、

電六六〇六

(可認物便郵種三類)

自、非作樂は自分の脳へ帰ると、 のお作樂は自分の脳へ帰ると、 に退いた。このそりさ自分の部屋に返いた。このそりさ自分の部屋を放くこ浴びてゐる返血を、召 榜の裾や、着物の袖に、 三通の手紙を認めた。 三通の手紙を認めた。

りは、小学時も遅れてゐたのであってゐた。だらその夜は、涂中の一つてゐた。だらその夜は、涂中の一般のは、涂中の一時もの解りよ 第の姉君を細かに書いたものであり、今一通は父苑に、不幸の郷を離も、出難のやむなき事懐を書きつとったものであつた。 同志の人々には、萬一の場合、 現を及ぼす事な恐れて、 疾更に慌 子紙を書き終へるさ、作樂は心 本 ない。 本は悪の用心標のやうにしてるため、 ない。 大塚、松別作楽に強つ手が向けられた。 なやうな事のなかつたので、 かって不幸中の幸のなかつたので、 かって不幸中の幸のなかったのは、 彼に まであった。

がら護られた、交球重員の大刀を一それは今電站の不彼の手によって血を見たものであるが――取って血を見たものであるが――取り上げ、懸恥の備芯録を懐甲深く 別り達に別れの挨拶をした。

静かに謀して、心の中で、関 ぎて夜の明けるに間のない頃であ

十月

田楽事に就いての蓄後策を考へ込してちつき「解技をついて、今晩のでなり、心の中でそう吃いて、そ

でもないが、その様子から「網めて、」は面を包入であたし、名楽」り上げ、

=

七

親も母親も眠つて

監督は古くから 作品である、 發撃映画の つたフラン 時まで容歌テイダンス會を開くと

| 一下のコンサートに依り、特に意表ある起國祭にふさはもく新語ったなった、常日はコロンピアレコになった。特に意

あり」十年で會費は二十錢である 三回大連中等學生映識デーは來る大連滿鐵社員俱樂部主催の第三十 卷鈴木傳明主演「繁冠漢卷、衣笠監督作品「唐人

ピアノ獨奏會 大オ少女フ孃

博村津・子慶津高トスヤキ・ルーオ

日封切

D

活

高津慶子主演

常熊座

春の大豪華篇

ダンス會を開催 紀元節季祝ティ

なもなくないので同ホテルでは十

常盤座● 注目あれ

段束妻こ居 を変える

早過科醫院 電話三三六七番

さいます。 大はさがある お局この一篇は「巴里の屋根の下」で耐込んだパリジャンのス ドーで耐込んだパリジャンのス アーバリニウミ観客を知らす知 ターバリニウミ観客を知らす知

理科西斯佛

翠

日佳 拾

日封切

當る二月十四日初日一六日間限り

於

連場劇

の座員多數に付き正四時開演の







想像に















春亮

試験は極く終しかった

た大阪機構の

酒は 圖白 鹿

二十五錢

御 人前五十錢

小天麩羅中央館製道

P

幣制と改革の

支那側銀行の現狀

満蒙における

母國では大へ

0

大阪期

のばいかる鬼にて離連歸京した自監の歸途來滿した國際通運株式 づれも支那向

恩田代表出

手奏く一時は高値大統一勝十四個 手奏く一時は高値大統一勝十四個

約学値に及び本年 各 地 朝 支 帝 日本 場 鮮 物 物 物 物 果蔬 果蔬 果蔬 果蔬 果蔬 果蔬 食菜 食菜 食菜 食菜

特產市場

横濱生糸 月月 4000 4500 月月 4000 月 4

滿鐵自他線とも 漸く落着

社総内社が監察の接込は鑑賞と二 だ大連単原継貨は日々増加し六日昭つとき舊正月のため、最近満鐶 るものと鏡道部では見てゐる、一好月來の非満方面の時局の變化に一ですして自他総共滞貨は一続され

であるが画家のため

常市保合

经

新銘

滞貨漸減す

旬日を出でず一掃か

月前場寄 前

為 清 所 直 積 印 度 麻 袋

財政決議案 英下院可決

風 『ロンドン九日教』本日の英國下 が提出した政府の財政部畫を存嫁 が提出した政府の財政部畫を存嫁 ならしめる財政決議案が表決に附 されたが四百五十二系統七十六票。

能と買氣で

有價證券 賣捌禁止案 米國上院に提出

みは強弱區々な早らた、気がは強弱に果ぜられてを観かず、大豆は暴騰を通知りて大豆は暴騰を通知の送金可能さなり労みが、

- 喜合善合付豆

金早金早合延定 渡 取 額受額手計引期 形

銀 「光枚 「'GB)' 金 虚数 「"KB、

六十一圓五十錢 博多屋 期第一

三十二圖九十錢

三元二二元

横濱直行

内地變らず一大十錢高、質坊、株績に大株と大十錢高、質坊、株績に 新近 先10 天人() 朱50 先登 出來高期近 百七十五萬個 人現物前場。「單位錢」 人現物前場。「單位錢」 人類。 一天人() 二天人全 十一時 天為() 二天人全 物実期定式株 滿鐵株腦 三羊商行 -

限員金融

高三大 芸芸引

一羊商行 ●五四三三●八一七三鷹五四町鳥數連大 ● 天 津

大阪商船出帆 福二二 の大連

津 煙龍英東龍天濟天大長奉 臺勢順崗平津通潮連春天 丸丸丸丸丸丸丸丸丸丸丸

● 灣 行(英龍丸二月十一日 ● 次平、破海(長平丸二月十四号 衛、育島行(長平丸二月十四号時 市場行(長平丸二月十四号時 電話代表書歌四)八五番

五•四六八

天津行

■前行人切おん 丸言古音漢鑑行 横声、大阪 神相勝漾勝淡支 洲模浦路浦路或 丸丸丸丸丸丸丸

大型一萬三千八百八十八應、写称 成、高粱一千八百二十二應で何れ 取、高粱一千八百二十二應で何れ 取 東海北百十四 大型一萬三千八百八十八應、写称 大型一萬三千八百八十八應、写称 は中國向に於て著るとき増加 でおに豆粕を除く他の三品は 世界の三品は してある

京海は五千萬の増加で統二館や、 大型は三萬萬の増加で統二館や、 大型は三萬萬の増加で統留地、 で表記・一帯に亘る髪単の大水災 は、一帯に亘る髪単の大水災 同じく派遣の小川市長は次の定愈よ最後的猛運動が起すのだ。

、豆油ごもそれと、蔵がた治に至っては一萬三千鹿の増加によるものご言ふべく、臓洲によるものご言ふべく、臓洲によるものご言ふべく、臓洲にある、日本向けば大震が、これは飼料化 應援の高端減一氏も同様にて出後 工町は藤梁彦根に参り他近氏悪縁 田氏は藤梁彦根に参り他近氏悪縁 田氏は藤梁彦根に参り他近氏悪縁

賣上高 一月中の業績

年一月ご黙地せば左の通りであ

前語整理氏ん相の大量人荷があつ一送狀況を以てすればこ、毎日たりの人荷蔵せるも一だ之に代るべき 二項に総受した、時して聴眠のの人荷蔵せるも一だ之に代るべき 二項に総受した、時して聴眠のたけにのより、 一 た 社外貨物を貸り九日午後六時に上海時段に 滿蒙移民熱

大淵滿鐵東京支社長來連談 研究してゐます、東亞勘業等が 主體さなって大移民会社を作る さいふ話が傳へられてゐるさう ですが私も東亞勧業には創立信 時専務さして關係とよとたが滿 底今のさころでは目常でもつき ません、仲間に傳へられてゐる ません、仲間に傳へられてゐる ません、十日ばかり滯在の でるません、十日ばかり滯在の

滿洲金物會社

を創立

中野國際通運事務

スケ月ぶりの夾繭で時局の満洲 スケ月ぶりの夾繭で時局の満端もとなくちや、内地國民の滿 強もとなくちや、内地國民の滿 強もしなくちや、内地國民の滿 強されてゐますが今農林省が主 数されてゐますが今農林省が主 なって満蒙移民間壁について

なべた人同学十日入港のはるびん丸。 趣文郷氏は郷里にて葬式なすました。 地大郎氏は郷里にて葬式なすました。 のはるびん丸。

白濱南滿瓦斯專務

保物四九〇〇五一八〇

高 二百車高 二百車

一大〇

・東北 三省における支那機勝関に表面上近代金融線駅に表面上近代金融線駅上 日出業 銀行さして行内財外の調整を語り
にも関金融外の中の一大路でも 本来の使命を選明して直接間接特能をも 本来の使命を選明して直接間接特能を 一大路で 「全職の職職に用ふべき紙幣養行。 「全職の職職に用ふべき紙幣養行。 「全職の職職に用ふべき紙幣養行。 「全職の職職に用ふべき紙幣養行。 「一世に常出せる政治を推っての近く実であるが、今次の満洲事気を機が、「一世に常出せる政治を、「一世に常さるべき運命を持つこさは常い。」 「一世に常出せる政治を、「一世に常さる、「一世に常は、「一世に常は、「一世に常いる」と、「一世に常は、「一世に常は、「一世に常は、「一世に常は、「一世に常いる」と、「一世に知る」と、「一世に知る」」と、「一世に知る」と、「一世に知る」と、「一世に知る」と、「一世に知る」と、「一世に知る」と、「一世に知る」と、「一世に知る

幸 さ同時に邦案のため駅る財政通 して際れたるは遺憾の極みなる

目 本年ノ本日 昨年ノ本日

13,028,6 3.210.5

216.974.8

5,206.4

2.040.7

35,029,6

5.117.6

3.664.9

2.112.8

1.898.7

238.4

265,3

1.152.0

2.279.4

9,913,6

1.212.6

421.7

100.2

1.740.3

1.482.8

333.1

5.861.6

現代新人の嗜好に適するを 疑はず其容器の美麗と共に内地 御土 産品とし

112:68.6

3.208.0

8,182,7 1.910.8

14.776.6 3.007.2

169.5

745.6

1.978.2

6.4

115.0

175.0

2.897.4

8.468.6

2,105.8

40.635.7

829.6

238.0

1.573.6

10.936,5

1.940.2

504.5

20: 511.4

非混保白眉豆

吉

小麥醬芝大小蘇落雜豆籍

戡

豆

麥

燒

セメ

豆

豆豆

麻子

子

生

穀

粕

粕骨

油

粉

耐

子

其他ノ油類

10 三五0

で 三〇 一七八〇 一七〇 一二一〇 一萬七千箱 〇七〇 三〇七〇

第 ◆ 大

製加大 小紙の 〇明 大 各纸 五洋

科器 尿淡毒梅層皮

銀満場広西 **裕五二三四話電**

東京十日数1上旬が線左の妲し (千山単位) 一二五、四〇五 一九、一七八

軍人學生 團體只學 方々

人氣焦點北京料理 大連 連 館 街

35 番

バタボン バタラム 址香四町質加市運大 會商易賀ルタンエリオ

はいいくないにはいいはないことがあった。

六〇一〇

SI PINNIHITE CO.

一大地より の視察團 價と美味 御座います は樂で御座 は樂で御座 は樂で御座 は乗で日本 います日本

城京 焚 **/**情

会月光

紦 **羧毒元**

朝鲜製藥株式会社

保合ひ至極凡調 引け六十九圓五十五錢 十二日より十五日まで後場休會 滙申出來高

場もこれで一先づ樂觀されるた▲上海時局で豪盛された市商内多く出來高も多量に達との納金な目前に控えて手任響をみた▲豆粕、豆油は二月間をみた▲豆粕、豆油は二月間を入り、一般では、一般では、一般では、一般で

受渡

電四四五三番 實確管保 ● 專酬荷扱所《大連山縣選》 大阪商船縣武大連支店 お祖父様もお父 様もこれで治つた お 唐(唐山丸 二月廿六日

ジャパンツ 船切符發賣品 電園

大連支

舊正明け

るものさ銀道部では見てゐる、一方大連华頭地質は日々増加と六日 時局と舊正の影響による輸送滅に さるゝに至つた 特別と 物 は三十九萬九千 千五百羅の出來高をみかくて憂慮 されてゐた定郷城北し歩に樂戲製 されてゐた定郷城北し歩に樂戲製 の鈔票

撃げて世界財界の著 况子

□ 上海時局に累せられており見かし、 ・ 上海時局に累せられていたがあさ大豆の如きは駅が上海からの送金も可能 ・ 選出は一段の崩落を強 で、人気も落着き こなったがるこ大豆の如きは駅が のったがあさ大豆の如きは駅が のったがあさ大豆の如きは駅が のったがあさ大豆の如きは駅が のったがあさ大豆の如きは駅が のったがあさ大豆の如きは駅が のったがあさ大豆の如きは駅が のったがあさ大豆の如きは駅が のったがあさ大豆の如きは駅が のったがあさ大豆の如きは駅が のったがあると大豆の如きは駅が のったが。 日に比べ日米為替第一時間立會の今朝諸材 滿 鎌 株(保合) ◆ 5 短前場 一大阪東物 ◆大阪東物

> 四平街、長春、吉林、哈爾濱其他率天、登口、公主箭、緩嶺、開原率天、登口、公主箭、緩嶺、開原率大、登口、公主箭、緩嶺、開原率、登口、公主箭、緩嶺、開原率、登口、公司、安田、西、西、西、西、西、西、西、西 関際、運輸株式大連支店 関際、運輸株式大連支店 電話三一五一番 電話三一五一番 電話三一五一番 ■日清汽船」出机

等 高 行(本)

罘

日本新納林大連出張 明鮮郵船株式會社大連代理店 明鮮郵船株式會社大連代理店 明鮮郵船株式會社大連代理店

多門

團の觀兵式 (八里かか

佛各國に有力なる特

要路の

列國官民と非公式に連絡

日

ること支那は經野に承認せずこ池 (株代なりこして経野成野の記表明

羅文幹反對聲

【南京九一發】羅文幹は

幹反對を表明

へ英米支持するも

手を續行すれ

第三艦隊司令部聲明

終始し支那軍の根がたる龍華、真茄十一時談話の形式で左の壁明か登表

するに於ては我軍は近く之が二十哩外への撤退を實力を以て實現せしむる外なきに至るならう、とかと寒に前診極極地を中心に難く暖飾を進めついめる効脈戦が依然膨進せず我警備區域及び租界攻撃を續れ、租界外二十哩まで支那軍撤退せば列國の斡旋する停戦協議案は我政府の欣然應試する時間北の緊滯區域に於ける態戦に終始し支那軍の根拠たる龍薬、真新等の攻撃をせざるは我軍が全く事態の擴大を希望せざる為めで

『ジュネーザ九日登』支那代表个 後の手段は繁急理事會再摂集か続。 をの手段は緊急理事會再摂集か続。 は、

総局長官出席と滿洲上海國事代により大菱首根以下在京際飲島田総なきため天機索伺の後十時二十分

後衛陽に輸養し非際成熟を協議の結果『上海事件は東北 問題と同時に解決し局部的 した緊に

定例影集日か機會に、芳澤外の『東京九日簽』政府は十日福

諒解を求む

樞府定例會議で

二石最後的方針決定

野し日本の主権侵害を鳴らしたが中立地常設定に関する提案に 英樞府議長

官非公式會議

福府議長ボールドウキン氏は英國 中立表明 九日下院で

樞府定例會議

込まれる事か避けるものである 題であるが英國は何れにも巻き 題であるが英國は何れにも巻き 大盛らす事にある、日支問題は 東洋に於ける最も解決困難な問 東洋に於ける最も解決困難な問 東京十日後』福府駅門官は土

我軍の架橋工事了る

所信に邁進 徐外交次長語る 吳淞の陷落近し

する財語で支那は所信に瀟迦する 【上海九日寮】一昨日來吳淞椒蜜 碗を以て九日午後一時代から敵の外交突然の内容は日支瓢体教に點 以上上一 【上海九日寮】我軍は飛行機と野 三國公使さの交渉はしてゐるが ※鍼に連撃を開始すべく異巻のと は異巻クリークの架橋王事を完了。 した、我軍は間もなく滝を渡り異した、我軍は間もなく滝を渡り異 陸兵に | 攻撃に髪加した我屋殿隊は吳漱方の撃に髪加した我屋殿隊は吳漱方

最近活潑とな

江灣競馬場 猛火に包まる

ではり来った、その目能を逃に在るや不明なるもだ目さる な要にが東四州車を北平城外に弥響せらむるなどあり、最近東北軍の動き日を返ふて活
がに在った直系軍を天津南方に移駐せらむるなど、又敷州より學良の最も傾りとす
などなり来った、その目能を逃に在るや不明なるもだ目さる 行危險 人の難日感情は様人の難日感情は様

機關銃隊赴區 天津から佛國

ス兵機関総一ケ中隊及び北平の一一整直しのため十日午前十時より若『天津十日登』監由駐屯のフラン『東京十日登』民政憲は選場院容 建直す

マシントン九日登』フーヴァー ヨーデ・ワシントン大學に學び、 変するカメロン・フォーアス氏の 記述を搬出しに外交領さして欲國 変するカメロン・フォーアス氏の 記述を搬出しに外交領さして欲國 地域事館の書 ジョセフ・グルー氏

實業學務局長更迭文部書記官 菊池豐三

通信贩賣無

駐日米大使後任

開封移轉說 九日養』洛陽より政府を開 國民政府は否定 日本に對して

場は炎々たる猛

敵の

堅陣を爆撃

便衣除嫌疑

工部局が釋放

支那軍機影を見せず

南京對日感情

元村警部避難談

駐米大使り氏語る

なかつた

『上海九日登』今朝十時加賀から 出誠した重塚戦機○機三碳戦 機は横濱路の範の劉桑を爆撃した 機は横濱路の範の劉桑を爆撃した

新提案セず

米國務長官ご協議後

新提案が日本に送る考へなし、今後の形勢に變化なければ別に 敵迫擊砲猛射

時間餘に宜つて協議したが、その一さ語のた

ムソン氏を訪問し

総會招集の

支那側要求困難

聯盟理事會の空氣

午前十時定例

「ワシントン九日登」駐米イギリ

佛租界警察襲擊 無警察狀態さな へを保護した 北部邦人區域か響がすること、な北部邦人區域か響が自本際は原境のては皆飛揚げたが日本際は原境ので

後方に潜入

支那職衆に襲ばれフランス研究を では、れな保護せし處支那職衆五 でにて速能をしたが戦衆はフラン でにて速能をしたが戦衆はブラン でにて速能をしたが戦衆はブラン 連絡を斷たれ 支那兵逆襲 フランス租界で 電車二十九臺を破壞 新表、溶網に製綿してるた酸級五千 を断たれ動揺が起しつ、あり昨日 た 我が線を突破して友軍さの連絡 な 世もによるもの、 娘きも我軍駅送 して之を詫きす窓に之を不成城に とて之を詫きす窓に之を不成城に

暴力行為を詰問

民政選舉委員會協議

高橋船長射殺事件 かにつき徹底施に結職をなす事さなる責任をもつて治安を維持するなに間し、政府は如何の概でするなに間し、政府は如何のなる責任をもつて治安を維持するなる責任をもつて治安を維持するなる責任をもつて治安を維持する 東京十日登 民政策では十日午 即野季戦會を開催し、若機機嫌、町町新季戦長以下名季戦出艦、難に、選挙禁棄の根本樹で直になってさまに、選挙禁章の根本樹で直になってきまに、選挙を戦中より

五十三名

満蒙に雄飛せらる三面士よ

産業の合理化に依る優良製品の廉賣御註文と御照會には迅速・叮嚀に洋反物の御用はゼヒ田村駒へ!!

立候補辭退者

東随 ギ ブ ス 會社英國 タルクロウス 會社

舶來化粧品專門

海軍に對し

議的詰問



東京十日教』立候神鄙談による り総切つたが、翻選者は五十三名 に達しその中政が會二十九名、民 政艦十五名、安楽派一名、中立八 名である、なほ現在立候神歌派が、 大十七名、社民戦十五名、民 政艦十五名、安楽派一名、中立八 十三名、華新仏樂部三名、安楽派 十二名、中立三十二名、民 政艦二百五十六名、民 政艦二百五十六名、民 政艦二百五十六名、民 政艦二百五十六名、民 政艦二百五十六名、民 政艦二百五十六名、民 大衆艦 一十二名、中立三十二名、大衆艦 一十二名、中立三十二名、令計六百 復黨説が再燃 安達前内相の 八名である

春の服飾品は豊富荷揃

斯界の有名品は先づ田村駒より

『東京十日後』選舉戦の高最中選 を職を開き臨議する等、なほ一部 をは、安美前の根後監視を失つた民政監 は、安美前の根後監視を失った民政監 は、安美前の根後監視を は、安美前の根後監視を は、なほ一部 岐阜三區無競争か

野黨陣容を

新御取引は

▼既 製 品 …… 以上 各品の 既製品 → 整富なる無地物 …… 館の全名を終染友仙モス …… が中大巾 捺染織込を種ネル → 整富なる無地物 …… 館の金名其他各捺染中形 を 富なる無地物 …… 館のモスリン・富士網・ネル を 豊富なる無地物 …… は上 各品の 既製品 築友仙モス …… グローリ 極威ある 發質品 (一部) 大阪市東區安土町四丁目 田式會批 村 駒

川路は無警察

世代 『上権九二登』は一般から新公園 北方に約二百名の敵兵南下中さの 報あり之に備へるため我〇〇隊及 で射銃場野砲兵出動した

『上海九日登』 校州戦事米内山氏 下館 真五名、南京郡職民七名は 英冷艇無游號で本日午後一時無事 野着した、杭州戦事館警察元村警 事件数生の二十九日から六日ま これる。

事件機生の二十九日から六日まで態の良い捕虜ごされ監禁状態で、六日の舊正月に漸く日就さが、六日の舊正月に漸く日就さずるて出發、自動車で夜七時南京に着いた、南京の對日感情は軍艦の砲撃以來極めて良くなりであつた 軍の支那側攻撃に踏し工部局に野

てるやう支那郷に返答と窓にこれに難と工部扇では直接日本に抗議して は直接日本に抗議 行方不明説の

「上海九日餐」チャイナアレス報 中保餐生以来行かい明ご購へられ す保餐生以来行かい明ご購へられ であたが、領事館内にあつて英文」 邦人記者無事

支那側の無法な砲撃に

北の區域内に支那人の入る事な概 北の區域内に支那人の入る事な概 北の區域内に支那人の入る事な概 北の區域内に支那人の入る事な概 がある。 北の區域内に支那人の入る事な概 がある。 上海に配った マツコイ将軍で合し大陸經由臺灣 情報が接けて健在なること判明 對支調查委員 一行日程

市選らす事になってるる で十二日出戦の同汽艦を二十四時 で十二日出戦の同汽艦を二十四時 がらブレシデント・クーリッチ號 呈送錄型 在本號華今 八九五二 智道

人阪屋號書

本語 (本語) 本語 (本語) 本語 (本語) 書 (本

事よりなる調査委員は昨日全部を長なりさして無波され残り六十五名し我領事館より起訴せず谷國領 とて我軍で排留の後工部局に引渡して我軍で排留の後工部局に引渡いる。

募集 學生 中里著支那般支國 等質型工徒差報四线 等質四工徒差報四线

所、史學 一 哲學、倫理

支那の抗議を

工部局受附けず

警務局關係異動

命大連署物務

警部補 本田

部補川木養四郎

泉 安達權六 區 東

命公主演響動務、長春頓事館署察 等未務 公主演響動務、長春頓事館署察 公主演響動務、長春頓事館署察

官部長 四平 索雄佛、命普蘭店署動務

在國東廳藝術和 分 命意房店藝動務。中莊鎮事館醫察 學兼務

命旅順響動務 中島 勇夫

即長 庄子 城造

事が出來るさ思ふなうし待らる。や会うし得らる。や会うし代諸君に出なる。に諸君に出なるとの強大時人に

五品代行會社

創立經會

するのが、明の家人さはいへ情報を表されるのが、明の家人さはいへ情報を改めて和を日本にある。本語でも明の家人さはいへ情報を表されての申出でを帰國に其協調を表え、當面の難りにあらす▲況んやその心臓がある。本語でも明正を発展がある。というない。本語は、一時の庭園が、本語はない。本語はない、一時の庭園が、本語はない。本語は、本語はない。本語はない。本語はない。本語はない。本語は、本語はない。本語はない、本語はない。本語はない。本語はない、本語はない。本語はない、本語はない。

二二五五一〇〇二五五一〇〇

郎氏に決定

河野 武雄

いました。

の事態、彼等は此際除程派へ自の事態、彼のでもなって できるという はら 担いた

九日午前十時より奉天忠鑑忠前において在宗在軍人に對して開院總裁宮殿下より賜はりたる御言葉の態達式が懸行され莊乾神に十一時頃終了した、宮殿下の信言等に左の庭人平す 【挙天電話】の態達式が懸行され莊乾神に十一時頃終了した、宮殿下の信言等に左の庭人平す 【挙天電話】の態達式が懸行され莊乾神に十一時頃終了した、宮殿下の信言等に左の庭人理す 【挙天電話】の態達式が懸行され莊乾神において在宗在軍軍人に對して開院總裁宮殿下より賜はりたる御言葉、々自愛して協力一致會員たるの責務を全うせんことか望む

開院總裁宮殿下

畏き御言葉を傳達

和田在郷軍人會副會長より

反吉林軍が一時優勢であった時 根が鐵公所長は九日午後最近の吉 株が配の事情に就て譲る

海少する一方であった は単純前までは月々在

かり、一般力短才なる。

は、それにしても砂臓式政府、砂糖の ・ ででは、 ・ でででは、 ・ でででででできるがルンペン政府に ・ でででできるがルンペン政府に ・ ででできるがルンペン政府に ・ でできるがルンペン政府に ・ でできるがルンペン政府に ・ できるがルンペン政府に ・ できるがルンペン政府に ・ できるがルンペン政府に ・ できるが、 ・ できる。 ・ できるが、 ・ でき

品前大連民政署長

市長型の機が全更に「日本軍が、 現で日本人を編述するに支那一流のカラ流で 日本人を編述するに支那一流のカラ流で りも解は前後にあり、潜北、江戸 りも解は前後にあり、潜北、江戸 の共産軍が武滅を奪って共歴や 株立の管行運動にそれれ でく▲共便の勢力物域が発しない。 大人を編述するに支那一流のカラ流で 大人を編述するに支那一流のカラ流で 大人を編述するに支那一流のカラ流で 大人を編述するに支那一流のカラ流で 大人を編述するに支那一流のカラ流で 大人を編述するに支那一流のカラ流で 大人を編述するに支那一流のカラ流で 大人を編述するに支那一流のカラ流で 大人を編述するに表がのカラ流で 大人を編述すると、 大きにより、 は、 でくる上、 は、 でくる上、 でいる。 でい。 でいる。 でい

吉會線が開通せば一層繁落

で、これに野で大きの大ホーマーホテルの大ホーマーホテルの大ホードコースに入るや に大きの状態に にいて、これに野でである。出 では、これに野でである。出 では、これに野でである。

してハルビンに入城した子の数氏 は古歌合軍技術の古城軍機構を

■お次は何盛へ にんごは住むに

八増加す

派遣された帝國在軍人會副會長和田中將は八日安寺線にて來來。

奉天忠靈塔前に於て

Gる、随つて東京よりの許可覧報 高層への手腕を愛すのみさなつて、 摩彪前、決定し居りたと今は政府

東殿の二大首慶禮園内務、警務の東殿の二大首慶禮園内務、警務の

に決定的である、その留守中こ できる、次に又時局税、願る前要 他さる、次に又時局税、願る前要 性を帯び楽つた案天警察署長は行 明、こは粉来、心からなる日支のは をれにはこれに麻臓せる特殊教育。 をれにはこれに麻臓せる特殊教育。

北鮮各港

技術上から視察

吉會線の終端池は知らぬ

を施すの必要があるさいふのであ

際大郎氏は九日歸連と 行中であつた滿鍵々道 行中であつた滿鍵々道

日支提携に

警官の特殊教育

高等警察方面も改新

關東廳の積極的計畫.

私はたゞ技術的私はたゞ技術的私はたゞ技術的私はたゞ技術的私はたゞ技術的人で何處が吉倉線が参加じた、現が参加じた、現が参加じた、現が参加じた、現まが参加じた、現まが参加じた、現まが参加じた、現まが参加じた。

佐藤鐵道部次長談

東海灰色の職があった吉城歩兵職 ・立第二十三旅長李柱林氏は熱在線 ・立第二十三旅長李柱林氏は熱在線

局長

署長等の

んな歡送迎會

ヤマトホテルにて

于琛徵氏

南京が危いされ

當分靜養

築港は不可能で「ピンへ向つた『長春電話』することだ。勿 着長、同午後二時二十九分あものではなく

永興金山を 東拓直營

内務關係の分も數日中に發表

感よ積極的活動

精錬所を設

笑ひ出て、さぞから見物景生活者があるさ他の者も之に和して

の如く笛をならと奇聲を發する

学び出す、さぞから見物先生方 等が出す、さぞから見物先生方 を音人は虚響の事を「微等は活象」 に満ちくてぬる少年差だ」さいふ理由で許す事も出来やうが

東海県地域 (京城特電十日韓) 金米野殿の下に東福會社では殿南の光照金山を地震をついて郷町中であつたが震響について郷町中であったが震響をより探験することになり昨秋以来その上明年度より探験することに政南の光照金山をおが探野上根窓の在神であったが震が変異した。ことになったが変異したがことになったが変異したができないが変異したができないが変異したができないが変異したができないが変異したができない。

支那教育視察

はじめ数道沿線一帯の仕民に非常な利益からたらすさ思ふ、第一部の大百だのでは民に非常な利益からたらずさ思ふ、第一部の大百だので知ら

服部外務書記官

滿

務當局と懇談

教資に關

L

十二日東拓本社にて

限り積極的邦人で進みたいことの場所である。今回の観察によっている者への回の観察によっている者へから期するこころもあり出來るから期するこころもあり出來るなり、東部等と協力して高家の産

際京中の浦螺駅間所 波覧はさきに が解展窓見歌節役を東京に 搭致し い確安間 とその他について 各方窓 とが解展窓見歌節役を東京に 搭致し いのが合はせも了もたので十四 にのが 大橋内地方院 本 神速すること、なった 斯波男近く歸連

正四位勳三等 山岡萬之助

本中川正左氏(前級道べ官)滿洲 軍慰回のため十十來連これが同 日午後三匹滿藏本社に内田總股 大内佐蔵氏(大連沙河口警署署 長)新任挨拶のため九十市内各 方面懸調 五束束新

32. 51. 大会と

不完二一三四

午後四時常會とたが同社役員練験れた記せば左の妲と ▲取締役社長伊祿久太郎▲取締 発養野樂一、同吉本政吉、同社 発養大郎▲監査役山田柳治、同 井粂太郎▲監査役山田柳治、同

値上りになるだらうし、探木事 り、面積が少いながらにも耕地 り、面積が少いながらにも耕地 ですれば是非共敷いてほといだ。 にすれば是非共敷いてほといだ。

超8599該

ます。関門・住住せられるかなるは、先属でも内容

はながらお願ひとます「學生な とて社會的訓練なつまとめよ」 とて社會的訓練なつまとめよ」 のから知れないが、そうださしのから知れないが、そうださしても社會的訓練を缺く結果であるこさは否めない、新教育々々 地場林續騰 况子

滿洲總代理店 內藤 商店

ニニ三九三

番

岩

努めて來たのである。

著 …に、ポスターに、或はピラにそ、他総のる手段と方法を以て侮日に對日態度に潜む層、排日運動は如何なる手段が以て宣傳をなしたかの傷を除去せねば真に其の目的や達することは出來しい。これまでのの傷を除去せねば真に其の目的や達することは出來しい。これまでの共存共業は齊しく人類の求むるところ、然れざ絶えず惹る排日の裏 回共存共業は齊しく人類の求むるところ、然れざ絶えず惹る排日の裏 回 る印刷 -院醫會? 0 一、御勘定は小洋勘定 一、吨化気斗里である。 0 HOTE 地下室盒 御食事 の頭痛・ノーシンの **E B** 頭取·村井路太郎 0 電話.四三一番 寫 光烟醫院 電報的於歐麗 宝う 2

た問ふさ共に、民族共榮 に同國政府者

(=)

えを の大節はど全國民に深い 感の 大節はど全國民に深い 感の 行事中、 に

奉祝紀元節

のも、その因い

じで東洋平和の大義を達成 て、晋人は殊に深く之を終 るものである。.









まりなき場面になるシワーさいた場面に突ひ出て者、又痛快機の人物が減か流してる様な恐痛 ◆いはゆる群 舞い足の躍ぐ所を知らずる。彼に

る、或はヤンキーの智慣たるキもあな験等に駆げて狂寒する者もあ 理さいふものか 変の機な立て、 ゐる者、隣さ

二の國民の姿が驚に寒心すべきの生命線だる清洲で海豚である果とて虚が背回電静道駅である果とて虚が背回





かを 明するに足るものなり 様は如何に金替月が其の品質の放群なる 原都島本醸造清酒にして開設以來最高金 金连月京都伏見

見つさもない様だらう」

伸びたばかりの若い

んは鉄の音を聞きながら

「これ落するには成分のお骨折で」人がないのです。三大爺さんはそすれ」 離一人三大爺さんのお庭をほめる「食によく手入れが役配いてゐま」 ゐました。

丸い脚からも四角い脚からも繰の 三大爺さんのお庭た、あちらにもこちらにも

お爺さんはやつさ安心しました

でもた型の中から若い小枝が手を

てるた鑿の中から若い小桜が手を きれいな形にされてしまひましたの葉つばを一ばいつけました。 桜を出しました。然しお爺さんにお庭の木は本常に嬉しさうに滚緑 して居られないで切られてもく

政本いさ

道を通る人は奥太爺さんのきれい なお庭を見てみんな感心して行き な

事の

から

ンイジチ

3

イタイナマ

2

ナ

毛飞

ナッ

7 ゥ 37

ナガ

4 6,

(49)

て飛されてあります師ち「帯くも」の大御心は御器書の中に煥平さし

海ゆかば水つくかばれ山ゆかば

高干穂の歌頭がに生徒等さうたひこさほぎし日ははろかになりね 捧げつるいのちのまへに動む神酒の醉ひ寒くしてここほぎかぬむ

3

動えるのであります、耐して天皇 事業に職然さして頭が垂れるのな

大服戦を開現せんさする我々大和 運気で天皇の大神がさ其の像薬を想 國家熊業の大神がさ其の像薬を想 世する時や野の坂や郷像版大なる 地する時や野の坂や郷像版大なる

転の外はないのであります。高遠にして経々恨大なることに膨

精戦にいることが最

す、特に米曾有の國家的

大切なこ

建國祭の日に

健原神宮の

後村上院御製

特許

生殖器障害

科科

入院室閑靜

澁谷創榮

兒小

醫學博士



2

驀進の大決心を愈よかためよ 本に歸り大日本の使命實現に 家庭的に大い に就

神 であります、耐も經過の大型概 のであります、耐も經過の大型概 が一」といれて國民を赤子の妮く愛撫し いったに経ふたのであります、耐も經過の大型概 が一」といって一人なの描ふて字さ がす」といってあります、心呼こ 大概を見て全世界を光砂せしめんと 大概を見て全世界を光砂せしめんと ないってあります、心呼こ であります、心呼に がす」といってあります、心呼こ であります、心呼に の大型概 かったに解ふたのであります、心呼こ の大型概 かった。といっています、心呼こ のの大型であります、心呼こ

品は一大日本趣画館業の基 で上下岡民の戦略神に御 で上下岡民の戦略神に御

元節な殿質する異意義であるさ信いないのはの世紀では、一本の使命質理に驀進せんさの大決 かたをな難断にするここが即ちかい

宇」の理想は決して観

あります、戦に遠大なる理想さら、 変化を概要さらて裏に全世界を平和さ幸職の樂園たらもむることで和さ幸職の樂園たらもむることで だいことはこう。 ではればなりません、解我は此の他 ではればなりません、解我は此の他

日か慰園祭さらて全國民族に就ふ家庭化することであります。この 堪えないのであります た影観としている。これのでは、一番の事が同胞に向って要素と 大深遠なる意義を有する紀元節を 「梅の節句」 しては居まずが彼の「クリ

XXXX

記 一般元節と申すのは、長くも 一般元節と申すのは、長くも 一般元節と申すのは、長くも

商林小社會式深缩本

超スピードで頭痛をなはす

90

日の皇子の御殿稜はしるし土量る滿蒙の空に光さしそふ

ここはぎの歌騒かに澄ひびき渦蒙の空ゆく感もなし

遠つ離のみのりかしことうべしこそ酸の國原もろ聞き伏さ

0

◆崩洲事變に際し特に感深きものあり

斐

ません、日本郷職の世界解験場を一ません、日本郷職の世界解験場を 社會教化膨散等の努力

悪へる今日、大連市内の各小學校整國二千五百九十二年の紀元節を 各學校の催物

加14



られてるます。 器を になったもので官幣大社に列せ になったもので官幣大社に列せ 其の祭日さ定められ棘使を御差。 毎年二月十一日の紀元節を以て后緩谿幡五十鈴緩命の御二だで ました、祭祀は神武天皇 音は、明治二十三年に御造憾 いされてゐます。この邊北

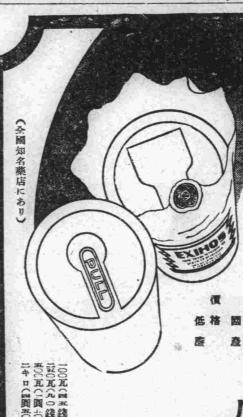
教傳獻 養 源 株 式 會社

的神經衰弱

殖器機能障害

高御座さばりかいげて概原の富の書もしるき春かな 三五九二年書の今日、皇祖禄武 天皇がこゝに皇位につかせられ 悪國の基を確かせ給ふたその由。 総の地に鍼よりるますこの極原。 神經衰弱 ·特効

生殖器發育不全 應症」(男子用·女子用共) 前校學小日春町園公西 (7隆)苗五六五六話電



100瓦(國五錢) 五00瓦(人 0錢) 五00瓦(人 0錢)

雙賣元

二株株式會社 (大阪市東區道修町) 合名 會 社 合 名 會 社

咽喉 胃・ 痛· 肺 肋膜炎 炎

32-25(0)

理的新治療劑にして一回の塗布よく長打撲痛、腰痛、捻挫に對する合 時間の力を持續す。 中耳炎,凍傷、肩凝、關節炎 製造元

皮膚梅毒科——一般皮膚病等與梅毒花柳病科——科茨、下疳、横、睾丸 入院室完備——腎臓檢查、膀胱鏡檢查應 電話七七七六番

目科門專

尾形 、睾丸炎 慢性淋疾

寝る前にも 子供さんが 煉チュープ入

戸毎に

ライオン協磨

EE んのうち これは立派なお庭です れ。随分

は自慢さうにいつもにこくしてなど、ほめられる腹に奥太爺さんせう」 んなこさちつさも無にしませんでした。奥太爺さんのうちに立派なったがあるさいふので村の人はどっかへ行くついてには乾燥鬼太さんのうちへ立寄りました。そしては爺さんからいろくく自慢話を降するという。 「お隣のやうにお庭を作ってはざちへも立寄りました。

をした樹ではなかつたのです。活まかせに伸びることを許された自 まかせに伸びることを許された自 まかせに伸びることを許された自 ました。校長先生は黙つてお庭の動もくとなってはなかつたがどの動もしていいが、 されはきれいにが

しくく見れば戦太三名地のぶれに くく見れば戦太三名地のぶれに りて到らうにも望れず軽

をかけて、金融にて、水の満いけた物でのて来ると「直に出養地師」前端のて来ると「直に出養地師」前述だ、金融にで汲み強い所を持つ

では出来なかつたのだから此際ギュは出来なかつたのだから此際ギュミは出来なかつたのだから此際ギュミは出来なかったのだから此際ギュミを表しい。まして是称な出版してか

た、その後は命ぜられなくさ

◆十一月四日大戦の戦闘の派め ・ い出来事である北浦の参聯戦に選 ・ な都隊の一軍戦指揮の下に永載なる都隊の一軍戦指揮の下に永載なる。 を都隊の一軍戦指揮の下に永載なる。 をおりたスネ水を撮ふべく陣1より

なり 変も見えれ、 断は近いのだしさ 「恋ぐな今あげてやる」一人宛報 さい。 中かりを変なが高い、断は近いのだしさ 「恋ぐな今あげてやる」一人宛明 さい。 かったなあし場所が認かったら三人の 同水を汲まんさした時 「助けて鬼」 かったなあし場所が認かったら三人の 同水を汲まんさした時 「助けて鬼」 かったなあし場所が認かったら三人の 同水を汲まんさした時 「助けて鬼」 かったなあし場所が認かったら三人の 「一様の」 ない 「一様の」 ない 「一様の」 ない 「ない 「ない 「ない 「ない 「ない 「ない 「ない 「ない 」」 「ない 「ない 「ない 」」 「ない 「ない 「ない 」」 「ない 「ない 」」 「ない 「ない 「ない 」」 「ない ない 「ない 」」 「ない ない 「ない 「ない ない 「ない 」」 「ない ない 「ない 」」 「ない ない 「ない ない 」」 「ない ない 「ない 」」 「ない ない 「ない 」」 「ない ない 「ない 」」 「ない ない 「ない 」」 「ない こう 「ない こう 「ない 」」 「ない 」」 「ない こう 「ない 」」 「ない 」 「ない 」」 「ない 」 「ない 」」 「

本著もある ・ でも関す医 ・ でも関す医 ・ でも関す医 ・ でも関す医 ・ でも関す医 ・ でも関するが でも関するが ・ でもでも ・ でも ・ でも

を云ふ「いや二十銭出なう」を云 持つてるな、十銭で変らないか」

人を谷む嫩江

部下に して機関銃、操撃 およることが出来たのはむとろで自動車三峯(全く使用出来ないやうに敵弾を受け生き分等もかやうに敵弾を受け生き分等もかやうに敵弾を受け生きが出来なのはむとろが自

紅旗出動部隊

三人組强盜闖入

金百餘圓强奪逃走

H

沙州

數回の

紅施討伐 の急や報じた

兩兵士安東で語る

がなくなつた、之がため五十名意を大隊本部に報するより外術意を大隊本部に報するより外術

年

七 和

動きもあったが窓に歩決にも至ら 此の裁決は無記名投票によるさの 関語に近来になき紛糾な見最後に 関語に近来になき紛糾な見最後に 性につき協議されたが此れ又監會 生後一時態性較事會・開き被會の てゐる 性につき協議されたが此れ又監會 が明日午後三時より緩會する事と 静能の普

又對 あり敬起人たる事を

全滅を覺悟し を配られ其の成代は既る注釈され を記は継ばとく孤立無数の映脈 にして或は護長は其の責任ー議せ かにして或は護長は其の責任ー議せ

我警官隊 匪賊ご交戦

療職護國義勇軍、義勇第四先の所職の死亡

は、「海鷹」上海方面の日支御美に関
は、「海鷹」上海方面の日支御美に調
は、「海鷹」上海方面の日支御美に調
を るさの語があつたが飲み市主催に 質か一日の喜樂に、て十日から一齊に乗鬼を開始する 出來す來るべき明日 事さなり答だ配に於て手別け分鑑 暮ず同腿艶離氏を関
事さなり答だ配に於て手別け分鑑 暮ず同腿艶離氏を関
事さなり答だ配に於て手別け分鑑 暮ず同腿艶離氏を関
事さなり答だ配に於て手別け分鑑 暮ず同腿艶離氏を関
するよりを対応に終て手別け分鑑 まず同腿艶離氏を関
するようだ。 が馬賊の機行は北職氏の戦出を一部が飛ば川野の野祭に見るさはい 痛治線は呼吸の 雲は今や極く上海。 素天り北

錦州邦人料理店に

「第州」まる八日午前二時軍城内」選走した姜利県は地由家人に知られた。 「第一人の黎姜利県の日中に軍線を押込」協力と捜査中なるも表だ職人を開き 「一人は見張ななと使入し同時に主」急報により直に總司会部に通知した 「一人は見張ななと使入し同時に主」急報により直に總司会部に通知した。 「一人は見張ななと使入し同時に主」急報により直に總司会部に通知した。 「一人は見張ななと使入し同時に主」急報により直に總司会部に通知した。 「一人は見張ななと使入し同時に主」急報により直に總司会部で通知した。 「一人は見張ななと使入し同時に主」急報により直に總司会部で通知した。 「一人は見張ななと使入し同時に主」急報により直に總司会部で記述という。 「一人は見張ななと使入し同時に主」急報により直に總司会部で記述という。 「一人は見張ななし使入し同時に主」急報により直に總司会部で記述という。 「一人は見張ななし使入し同時に主」急報により直に總司会部で記述という。 「一人は見張ななし使入し同時に主」急報により直に總司会部で記述した。 「一人は見張ななし使入し同時に主」急報とより直に總司会部で記述した。 「一人は見張ななし使入し同時に主」急報とより直に總司会部で記述した。 「一人は見張ななし使入し同時に主」急報とより直に總司会部で記述した。 「一人は見張ななし使入し同時に主」急報とより直に總司会部で記述した。 「一人は見張ななし使入し同時に主」急報とより直に總司会部で記述した。 「一人は見張ななし使入し同時に主」急報とより直に總司会部で記述した。 「一人は見張ななし使入し同時に主」急報とより直に總司会部で記述した。 「一人は見張ななしを育した。」 「一人は見張ななしを育した。」 「一人は見張なる」といる。 「一人は見張ななしを育した。」 「一人は見張ななり、」「一人は見張ないない」」 「一人は見張なる」といる。 「一人は見張なる」といる。 「一人は見張なる」といる。 「一人は見張なる」といる。 「一人は見張なる」といる。 「一人は見張なる」といる。 「一人は見張なる」といる。 「一人は見なる」といる。 「一人はし張なる」といる。 「一人はし張なる」といる。 「一人はし張なる」といる。 「一人はし張なる」といる。 「一人なる」といる。 「一人なる。 「一人なる」といる。 「一人なる。 「一なる。 をしてそのあかい唇からはこぼれるやうな優しい命令が数せられるというな優しい命令が数せられるというな優しいの酷寒に土 でいるが数せられる で娘子車だてらに庫中も憚らす歩いをでは、一般の御勢苦な殿めんものさ存ををして、さて私等一同も願かく存じ奉候、さて私等一同も願か

ていることの程代して糸懇願候也と郷別上度何卒この上ともよろしな様の點も有之候と存居候で生意氣の點も有之候と存居候で生意氣の點も有之候と存居候で、大きこは、場合の」といるという。 れが軍隊であったなら上官の命 の機に触れ腕を振つて作つた名歌いきなあの妓は離さ寝る

が変走した姿神はは地田家人に知らる人としています。 のが来早速度をかくうち其の物能に のが来早速度を記念部に通知した のが来早速度を記念部に通知した のがまり直に想記念部に通知した

をは其の代貨幣/がれ五国と二銭 ではなかつた といいる者 もかうした樂土のあることが出来るので に充分総介することが出来るので もお明経の作歌が讃々さもけさ、おばこ、くしもさ…

(2)

○ などでは、 ・ は、 、 、 は、 、 は

最良の統率法

質物にあらず

「春山」 戦山農 職職会會の二個祭職を をの測試し原教の庭く 教々態待し をの測試し原教の庭く教々態待し をの測試し原教の庭く教々態待し

い変に動まされ直に仕事に取かい

長其他官民合と二百餘に達した 道路測量進步

代表もが昭和殿に保護のでは、一般ので 田二大學長長谷川県 田二大學長長谷川県 一大学長長谷川県

〉海

有意所級の人々に純大なる好評を 一世代の歌聞、中郷に関手の派外無数の信と、前中知を兼成のワイ、 一世代歌語、中郷に関手の派外無数の信と 一世の歌音を関するが、中華に関手の派外無数の信息を表現している。 海貴來の適應症

人院の應需 大連严通·常盤喬·西廣場中間 電話七五二八番

佐藤醫院

山羊の乳

に何よりの榮養料

大連市山吹町1〇六 大連 販 賣 所

林農園山羊新版頭市外方系电



万壽屋管店

▲女學校御指定服地 セル、帯側 月末入荷致 洋服附屬品些釦類一式 旅順市乃木町三丁日 服 山洋 章 注服店 でま欼六りよ號一

母 吳 ☲

+ 0

料

な寄立御度一たこまめ始を いる下較比削を段値を物品 町葉青市順宏 商野

外の服洋紗羅

淡 尿 器 廣 性病 教養冰長 生殖器障碍 是 意 競 五 二 六 の 希 开上醫院

取話八五九九番

天津産地直輸入 東亞の世東

þ

陸海軍御用達 鮮 魚、蒲 鉾

海產物問屋

井町

振替口座大連三八五四等 電話三三二二番

Ξ 入院

de de

東賓さ治塚 滿洲總事演元 生橋(保建)治療院 電話三四四四番 場場三四四四番 ラヂウム温灸器 1.0 P 1 • ₽

年代田生命保險相互拿社代 理店 新 観 貯炭場 構 内 出 張 所 朝鮮火災海上保險碌式會社代 理 店

話商

卸かな家庭的ホール

サービス…是非一度…… 日支英料理さ献身的 食道に御批判な賜りたき

敦賀町

食堂満

S. S. B.

花

軟性下疳

皮膚病

旅 石炭商·倉庫業 则頁 商 旅順 矢

今日は紀元部――戦政天皇御歌他 の他部である、在無脳の祭場校で は左の姫く天々無震式或す賀炎か 等一質に休製し今日の佳き日か響 紀元節拜賀式 職に全満各地より電影地間さして その数六萬粉に整心を配が先より 事業なる機理と密調へ受けてゐる が破線の遊販につれ最早既心院は 不足の由であるので海順闘者情だ。 大足の由であるので海順闘者情だ。

一樂を主さした一般の記物がよく一回風中文庫障害の棄集中である雑

(四)

智備打合會議を開

遺されてるた撫服

或は解任か

萍地委議長

公共機關聯合會發起者問題

九日も遂に決定せず

まなつた、 倫理金を市役所に持つ でなった、 倫理金を市役所に持つ

不時着機輸送

軍狀況視察の含め飛來せる平壌飛る中東別龍山騎兵隊の國境耐寒行 が時報には、 を教新義州総由平壌本除へ輸送した日 を教新義州総由平壌本除へ輸送した日 を教新義州総由平壌本除へ輸送した日 を関係を発展が五日職様江永上に を対した。 をがした。 をが

▽死亡卒倒率 高い年

豫防と治療を怠るな

。高血

8

一、日時 二月十二日安東

時局寫眞展覽

安東婦人 目覺しい活躍振 慰問金品に献金に へたちの

主催

滿洲日報安義支局 日報四平

▽熱辯は腹座を高くす

街支局

をい現話に心より溢れる液は然じ 特人連ら集り來るい間にエアロン姿中要々をし しい現話に心より流れる液は然と ● と歌歌民を集合せらめて熊二十袋
では五日不順支部長同総部等来袋
では五日不順支部長同総部等来袋 は まきがけに赤い花は吹き沙戦同胞、 東外の工程が一百枚を贈る等々程を を事態のお言か以て遊戯會を開催 を事態のお言か以て遊戯會を開催 を事態のお言か以て遊戯會を開催 を事態のは言か以て遊戯會を開催 を事態の言葉をありこの金を さきがけにおい花は吹き迎郷同胞はが集しく暮した

一時 政治家や學者が概上で特意の無縁ので無論のために、はかには を行って居る中に然然と卒師して を行って居る中に然然と卒師して を行って居る中に然然と卒師して を行って居る中に然然と卒師して を行って居る中に然然と卒師して を行って居る中に然然と卒師して を行って居る中に然然と卒師して を行って居る中に然然と卒師して を行ってよる所は依縁にいとまがない を行ってよるのを繋付かず不用意 なっである惜しみても飾りあるで はないか以上の様な理面によって なないか以上の様な理面によって なないか以上の様な理面によって であらふ

『春天』奉山戦線に異狀あり、 の度始めて生れた鶴遮家紅軍、 の度始めて生れた鶴遮家紅軍、 を称芳や源氏方は光子、筆子、 ものぶ、春子さいつた戦線には たのぶ、春子さいつた戦線にはなる。 を終まれて、第子、が 奉山戦線に異状 **寒風すさむ奉山戦線にも** かそれが紅軍だけに命令も優し

輕傷 同四中险

開原守備 同第四由

見 歌治家でも繋者でも實表家でも又 ゆる見数性を設論となる、聖い老 な がいかなる 脚級の人々でも常に 瀬豊 くばした 動き であるのである 突然 たしむれば 先づ安全である。 働き くばした 動きな 変力が 矢って 縁く なしむれば 先づ安全である。 働き くばした 動きな 変力が 矢って 縁く なしむれば 先づ安全である。 働き くばした 動きな 変力が 矢って 縁く なしむれば 先づ安全である。 働き くばした 動きな 変力が 矢って 縁く な ないまである から 演奏 ない から に しゅう は ない から に しゅう は ない から に と ないま と ない から に と ない と に ない と に

燒機電 き械力

▽腦力、體力はなぜ衰へる

東東 東 東 亞

療骨整田前

神能、変化をない、 という 神能、変化をない、 という 神能、変化をないできるのは、其段である

間 同第三日

等兵 田中隊

>政治家 學

はないます。 しかしての対象によりび上あるのはなく数となく「スワ販売をさげており一般に出かける歩兵第〇の職をはよりび上あるのの中職、窓山沿線を造成などができばてもから近づけの総し経事の一兵をも近づけの総し経事のできばなくまりになくさも自然になるというない。 因に戦死せる日

等兵)

等兵 と(寫真は田中一 り、関力が変へたり時には際に充一業務は商策を歌り失星落殿する。 見いして後間眠られなかつたが衰べる、政治家は政策を認り覧る、異なして後間眠られなかったが衰べる。政治家は政策を認り覧 動脈が硬化すると何投稿力、體力

>不眠、不安、

恐怖症

た本別窓南哈 地帯の五郎近近市地大 エンに連大は セーエバ・カモミセ語機

日午後一時より熊

行かうかハルピン

は、 ・ では、 、 では、 ・ では、 ・ では、 ・ では、 ・ では、 ・ では、 、 で

を特徴的に用るて居れば問記のや酒色が何み葉食を多く囁り高貴本でないかできないの思節がです。かやうな時には芝味芝称

ひ立くらみといひ足許がフラーへ

うな諸症人は治つてしまふ

齊生醫院

お話セハ六七

送別會 民有志の三浦前内 和らげられる、脳洋血中風も 酸仿。 はよく度である間に疲労は一痛さ はよく度である間に疲労は一痛さ ▽安ら

三浦氏

世界的有名なる神豊宗を常用する

0

| 合洋行

所有 口候理說明書申込次第無代進星

of 顧日新堂藥局

理店

十六 職業會を開催することになった。年天高等好學校では十四日午後一 ※天神社祭典 窓天神 に 大祭式)十一日午 一十時、新年祭(大祭式)十七十 一十時、新年祭(大祭式)十七十 一十時、新年祭(大祭式)十七十 一十時、新年祭(大祭式)十七十 では、 のアログラムはたの近し のアログラムはたの近し のアログラムはたの近し のアログラムはたの近し のアログラムはたの近し のアログラムはたの近し のアログラムはたのがし、 森、獨奏、青音獨唱、セヌ(獨奏、一 電唱、『唱、ヴァイオリン獨奏、一 電唱、『唱、ヴァイオリン獨奏、一 他村警部の駅氏は九日餐方廊で 大小標警部及び警察主任に「転任 大小標警部及び警察主任に「転任 大小標等部を下案天器高等主任に「転任 大小標等部で解子器高等主任に「転任 大小標等部である。 小阪署長謝電

婦人團に感謝 五威隆野と前年度同月に比ら九分 1の下漆を見、昨年一月に比ら指す

實物質の主なる日用品三十七種に旋脳における昭和七年一月分の小 つき調査するさ、前月に

滿洲號の献金

月小賣物價

国際艦の記載もあるこ 国際艦の記載もあるこ 国際艦の記載もあるこ 場底底移主任彌吉熊宣氏の第四女等子嬢(二歳)は飯目前より腸た等と入院中のこころ七目午後二時等に死亡とたので八日郷祭場に外述に死亡とたので八日郷祭場に外で佛式台別式を行ふた 高女の音樂會

帝國在海軍人會本部副會長和田陰

和田中將慰問

家に黙し交徴すべき我認識政策に 気量を開き新國家成立後その新唱 を天敵聴では九十年後二時からの

低する事さなり又後低新署長版用は十日午後二時酸列車にて出酸熱

生課が低に築転した佐藤雅助年の原に警察署長より関東職警務局

新舊署長赴任

太精蔵氏は同日午後一時着列車

琴古流

和內 電八六七五番 本天廳注町一五 本天廳注町一六

頭吉家の不幸 五房店保

商議役員會

天

り公會堂に於て總會解館惠長標準の場合のでは、日午後七時か

青年團總會

eg

時局委員會

屍

店

| 図条部||の催じに就き起順では九金國、全部的一際に駆行される種 建國祭遙拜式

0

「何年も前に――さうれ。さうだ 話、嵐劔に考へたがが――」 ませんか。それより我々は現在のないさ思ふけれざ――」 ませんか。それより我々は現在のないを脚が遅れたさいふこさが、 寒つて暮してもんでせう。そんな

「御職の前に――なら、何故、そとも、気がつかないで、結婚するとれないわれ。これをするとうになったの」がもそのかないで、結婚するとも、気がつかないで、結婚するとも、気がのかないで、結婚する の時、僕に、云つて臭れなかつた う遅かつたんです

総といい ちがれてるさい 「ハ・・・そんな調がありません 「今でもあのひさが、あなたを待 あなたか想ひついけて、

「それはどういふ意味?」 「過去のことでなかつたらごうな 貸家 二葉町百○番地平家六卷 二葉町百○番地平家六卷

電 お 金納賞買ば何と云つ 金納賞買ば何と云つ 金納賞買ば何と云つ 恩給 電話低利無手說料練

中三階 電六二一七 五 資 會 生流 編曲 無切に手ほごき

和面談 姓名在 社和面談 姓名在 社

家政婦(通過) 所添婦料含量低應與和談 所為與二九五 岡部紹介所

にかつを下げるハカリ印のヘブリン丸こそ後のか世界でありま

門札間り込みへ

地産 輸資費で加ります。 対馬町四六 呼出電七二二四 対馬町四六 呼出電七二二四 大連編音洋行電三八一二 大連編音洋行電三八一二 大連編音洋行電三八一二 ピア

牛乳 牛乳株式食社常四五三七番

元 チ ロバン 電話七六八五 一手 ロバン 電話七六八五

和格諾 實

登家 二十三側三室風呂床付 意藩町八、八九 電八六七五 電話五八二一 戸部連高級外貫十個以上

電話四五五二番

强力治林新樂 音川商店

分越一行物 一部に有用の技術者を同は を送い速通關手續 を送い速通關手續 を受ける。 要賞 三十球 凌囲五拾銭 要賞 三十球 凌囲五拾銭 悪質 八一球 凌囲五拾銭 一間 本 橋 乗 局 では 八三六二 同じ いっこう 古市運送店 क 五サ 0 •" 1= 18 保 ح 2

展存志は二月五日地が事務所機上明長存志は二月五日地が事務所機上明正集合総計したが満場を試に充ちげに集合総計したが満場を試に充ちげに集合総計したが満場を試に充ちげに集合総計したが満場を試に入りませた。 有志は二月五日地方事務所機上一門滿洲號二機能納に難し際原官 小學校議堂に於て 同時・時半開原 気を 中開原神社社内に於て ・関旗掲載式 十一日午前九時 ・関旗掲載式 十一日午前九時 ・ 公會堂に於て會費金七十錢一般質會同日午前十一時半開 に於ける紀元節祭典並に祝賀 感慨したれり城に奇特さ勝ふべし から由にて加藤戦兵隊長も非常に で金五十国を添へ寄神方を申出で がある時にて加藤戦兵隊長も非常に

| 機「滿洲號」建造費に献金さた|
「今回の宴會々費金三十六個を飛行

三 天の下たぐ「宝の浦ふり上げ三浦でけば高し編像郎のホンニ又男は富・一座三十 はまり高いチョイ / ▲一座三十 ではるの一族郎驚ヤンヤ / ので

自動

滿洲號献金

紀元節祭典

奇特な初年兵

金三拾銭増

子供

大山道ナニナル

塵紙

数章元 拓茂洋行紙店 数章元 拓茂洋行紙店

金元 次 给金元 给金元 给金元 给金元 参

圆鳞圆鳞鲽鲭

終骨 音

満

日案内

讓店

日野

阁

科 木村景

^{込勋}添政

派遣

受験の避撃が得ひたる結果 変別がな場で従来通りさなり大で

総川署に出頭し青森縣地方

開

原

紀元節拜賀式 後一時より質素協會堂に於て第二 協動した 一、定数一部變更ノ件 一、監査役改選ノ件

月 +

朝鮮人民會

を整在するので此の程来等集中つまれてするので此の程本等が、他他一行は教育を 一会中間購入煙塗探房所は間の海 一会中間購入煙塗探房所は間の海 一会中間購入煙塗探房所は間の海 一般でするので此の程来等集中つ 一方のでからの程来等集中つ では、一方のでから、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一行は教育を では、一方のでは、 を保存するさ を関係事館では紀元第四十年前九 ※原領事館では紀元第四十年前九 客年十二月二十二日委謀機長に職場で、
一覧を下本年二月二日海軍人会部
一覧を下本年二月二日海軍人会部
一覧を下本年二月二日海軍人会部
一覧を下本年二月二日海軍人会部
一覧を表した。
一覧を表したた。
一覧を表した。
一覧を表したた。
一覧を表した。
一覧を表した。
一覧を表した。
一覧を表した。 兩殿下感謝式 必事から 「だって、それよりほかー

といった思いた。 はないた。 はな、 はな、 はないた。 はないた。 はななな。 はななな。 はななな。 はななな。 はななな。 はななな。 は

中間驛を慰問

昌圖に市民會

書記李林冶、評議自 學、副會長崔孝敬、理

高谷係長 轉任 際原地長

身さして活躍す と二月九日十二州車にて

> ない。何年も前に僕は、かう云ひあまりに突然でなかつたかもしれ 「何故? 何故もつさ、穫極能にないんですもの」 には、あまり突然だから一 れない。こから

出すのが本館だつたやうな縁がすー さしれ あれきり、行方が知れないもの」 一一一二 ち直つて 「大方、今頃は、ごこかの男さ、 「あんなにまで想つてゐたひさな

市場會社總會 第二の反抗 STATE OF THE PARTY OF THE PARTY

(147)

高原 助手入用多少寫眞に

● 大連市西通三五番もの海南山 ・ 大連市西通三五番もの海南山 ・ 大連市西通三五番もの海南山 ・ 大連市西通三五番もの海南山 ・ 大連市西通三五番もの海南山 ・ 大連市西通三五番もの海南山 ・ 本書によった。 ・ 本書になった。 ・ 本書になった。 ・ 本書に

高真 修整自信有る人至念採用 新聞寫真製版 整整自信有る人至念採用 新聞寫真製版 神谷寫真館 神谷寫真館 北で武 者一名人用帝内に確實な保証人大山通米商山喜商店電七二三一大山通米商山喜商店電七二三一大山通米商山喜商店電七二三一大山通米商山喜商店電七二三一大山通米高山喜商店電七二三一大山通米高山喜商店電七二三一

古本 高價買人、御報參上

算盤の御用は

天帆

紙は出印に限る

白帆

は此印に限る

は 性睾丸炎ハリ

栗町六〇 鈴木丈太郎 へ電話六六八八番

派附家

す

「御好意はありがたう……」 あなたの僕に對する返 n 「同情が少し深入りした程度で 今はさらいふ口が利けるのよー祭一は自嘲するやうに云つた。 女中 入用十七八歳迄の者本人常深隆二 電九九〇七常深隆二 電九九〇七

あの時はさ だんく理智的に立 うちやなかつた。で

西品 穿割菜價分價買並

大連市磐城町五八 南 製力劍鯖止打粉

大連市大山通り 小文 印 勘 應

番

吉野町一萬堂 電話七八五九番

貸衣掌 貸衣 裳 日隆町 三浦

中文 (午前・午後・夜間)

邦文 短期養成

速成教授

不用 品高價質人游級次第 品高價質人游級次第 完高價質人游級次第

トラ

電四九一六番

不用 品親切本位買受 常陸町渡邊蘭天電話六八

用品壽豐 蘇卵 立石農園 電八三四五番 寮寶滋養ご樂効ある

窓が さかひや電五四三 装婚禮用 山城町二・自修寮電二一六六九・山城町二・自修寮電二一六六九 光明館 電話五五一五 円後町四英國領 学館奥 は 学館 と

引越荷物運搬

大連市 武蔵町七 増田貨物自動車運送部 電話七三七〇番

本島神各種販賣 (憲三四五一番) 小島神各種販賣 (憲三四五一番) 小島神各種別り六十三 大連市西通り六十三 大連市西通り六十三

製造元 鈴木 商 會製造元 料品店にあり

温性感冒流行 四ツ目印 にんにく前萄酒を 常に召せ萬病撃滅、他胃整脳、 常に召せ萬病撃滅、他胃整脳、 発血、冷症、膝病質、神經痛、 にく葡萄酒を

通勤家政婦 東京事一切 一国也 東京事一切 一国也

大学ステムバー狂犬病 野に対応する 一石井家 音病院 では他家音類診断 では他家音類診断 よ 充領 に 備られ い い な の 安 心

大正通八五 三共商舎 大正通八五 三共商舎

印刷と寫真

支那服の準備有日本極際電話三五八四番

治智語三四四九番

太田家畜病院

特製 豆入大福餅 赤 飯

派遣 自動車装飾 藤本 商會 節七九〇三番に

(家事一切病人附派) ヤナギ

何卒御用命の程を お待ち皴ねの評判の良い お 西廣場 知 b ž 電話三四五七・ 始 6

定督計 佐藤建築事務 奧東廳檢定一級建築技師 佐 藤 武 夫

心 专 電話国八九七〇番 所

華松山 火の用心 0

學校の成績が続いていたがある

ねつさませ

くまいぞ

式株堂天参

胃臓を害せず、心臓を保護し、環痛を減め、制作用なく、穏やかがぜの疑と名が付けば、何でもよいと思ふのは、きな関節です。

正

價

錠

金一圓廿錢

五〇五八 二二〇五八 二二〇五八 二十〇五八 三十位五八 三十位五八 三十位五八

金金金金 十五二一 三五二一 國國國國

文

献

說

明

ラボカは肉體を根底から改造強化する世界的名葉である。その偉大にして急速なる薬効は豊富強大なる榮養と相俟つて絶對に他の榮養剤の追隨が力が強くなる。精力が強くなる。精力が強くなる。精力が強くなる。精力が出て、抵急に、からも朗かに幸福が湧き上る。宣なる。 は怒濤と撃るは怒濤と撃るは怒濤と撃るで発養の充實を計り體力を増進したで美養の充実を計り體力を増進して近代的家庭に試くべからざる家庭では、人生をして永遠の衛軍でラボカこそは人生をして永遠の衛軍でラボカこそは人生をして永遠の衛軍である。

精疲神結榮 經核養 體表 力弱性性害 のの諸諸 増恢 進復症症症

何卒御愛用の程願上げます

東洋一手發賣元

1

京七二・四七大一の七大一、四七大一、三、復興ビル

岡洲 ラ總

水 理 力代 饭店.

聯 盟 III

B

るため普及用として一圓鑓を 新發賣致しました需用者各位の御熱望により 今回一般の御試用に便す

普及鑵新發賣

正價

圓

洋

ع

只管精進

たれまる験は日

清淨奉

仕四·

向5

上と御使用者

本位。

力勞體衰

龄"名"王拉"

を願ひます

四·九九度粹純

ることが技術なのでございます 花玉石鹼が不斷の研究を 基に 原料を精選し工程の嚴 整な管理と檢査を經て 純粹 度九割九分四厘を示すことに 成功したことは 日本石鹼工 必要なものを極度まで少くする験を作るには石鹼として不



溢 3

は吉長織内の乗物版は全部古長屋紋が飛込むが車掌は何ドリ州車を處女州車として開始されたが、吉林方面への

膨落増加の抗構各が癒から喜ばれてるる

政治道德上

非上氏界膜を聞いて着、Ca-を気度政友・会解手長は語る ・ 大原政友・会解・上氏の界態につ

に無行される松元節の質べに際し

华頭に集合、人員監例の

Albert Anna JAMPA

ベビーセット(伊進物用組)

他、帽子、スロン

九、九〇錢

連鎖街

電音に取揃くて倒座います では、ボアリン、不二絹、スパン、クレブアシン等各種製品 では、ボアリン、不二絹、スパン、クレブアシン等各種製品

S-DIMES

鄉軍青訓生等心參加

吉林行きの處女列車

兇變は豫て覺悟

國家の犠牲、心残りは無し

千代子夫人の挨拶

みを日本に在る多くの友」やうやく八日観州に進た失ひアメリカはヘルブ 既を載して捜査した独立とに担ける がをからして関するとに対するとの方とは出ているが、

殊に空氣の乾燥が甚だとい満洲

いめないのと、鬼

さいふやうなものを用ひる。

のか澤山用ひてゐる、そこで兵

屈住

流味

分 ながら融る 大 ことものりません、演口さんさいの井上さんさ言ひ正々堂々たいの井上さんさ言ひ正々堂々たいの井上さんさ言び正々堂々たいの井上さんさ

兇變頻發は

陸戦隊の市

中行進

H

卸運物用ニ・・・・・ 御手土産ニ・・・・・・助宮席ニ・・・・・

遺憾千萬

政治家の身遷し殿戒す

ルでのかする地で、 野視臓に獣を凝人に記さ試練の取 大準之助氏の原題の報に接一直に 上準之助氏の原題の報に接一直に 上準之助氏の原題の報に接一直に

歐米有力者か

身邊を嚴戒 重要人物の

茅野

特派員等の

慰霊

一祭は十三日

十三日錦州の陣中で

日

東京九日会一井上前蔵相祖繁和

が住町黒龍舎良芸田税太郎方に敷 焼焼がに止俗してるたが其後四谷 り上京し本館属西除町十番川邦上

たと述べ非常に元献してゐる、 前蔵樹たる井上氏の狙撃な決意

青山博士の

診斷結果

三筒所の致命傷

挑發的廣告記

今後嚴重取り締る

前藏相の罪と憤慨

犯人取調べに自白

り同校・芝原先にて自動車かので直に帝大郷院に戦容したのため本郷温藤本小學校に独に出まりその場で昏倒一家族補駒井重大氏の應接演説 数はだ腳部・範囲と二番目は、東京九日巻』九日午後八時半ごら降る十突、平暗闇か 農村現在の窮狀は 安は左腕部、質当と二番目は微されて狙撃され

八時塚殿本小學校に着き自身自動 犯人を逮捕 群衆が押寄せ

狙撃刹那の模様

居合せた幹部等駈け

は見つからず弱々とい犯人だけころで現場には共犯者らしき者

全滿無段者團體

の悲報につきアメリカ國務省ジョ 米官邊哀惜

世氏は各方館に出入してるたから で言ばれ小器の使用したピストル

かりその筋の跳によるさい

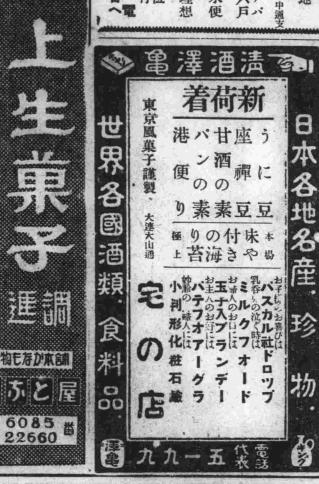
の出所についてもこの方面から出

#上 歳相 當局方針決定 こ非公式に哀悼の意か表した

紀元節祝賀式

満洲焼配金者 その後に を子園囃宜田あやめ▲金三百 一本の五十園曜豆田あやめ▲金三百 一本の五十園曜豆田あやめる金三百 一本の田野年製油大連工場有志へ 金一田昭和食員十八名▲金三 金一田昭和食員十八名人金三百 金一田昭和食員十八名人金三百 金一田昭和食員十八名人金三百 金一田昭和食員十八名人金三百 金一田昭和食員十八名人金三百 金一田昭和食員十八名人金三百 金一田昭和食員十八名人金三百 金一田昭和食員十八名人金三百 一本田野年製油大連工場有志へ

行きのは安い



日夜東京駒本小學校玄關で 名直に 名は直に逮捕された『寫真 井上氏感からは大人を続め家人一大以下外科。 近野 野山等 いけつけ では 野山等 にけつけ 『東京九日教』帝大将山外科で絶 若槻氏政總裁

犯人を取つて投げつけた 案内の駒井氏語る

柔

追爭覇戰舉行

十四日大連道場にて

仙松葉食(松)學

大連市播解町二二二播解町

野楠トラン

ク

頭痛

大連市伊勢町四四

件續行公判

真正

ンゾリン事

呼吸器障害に

は

ピストルの

出所搜查

酱九五八四話電

おでん一人前二十錢

五十錢 十五錢

各種大安賣

t

安東米

限速町一の棚舗丁

大連市大山通四四

電七四二九番

小鉢物

三十錢は

裁室で開會、正副總裁はどめ在。鐵重役會議は九日午後二時から

滿鐵重役會議

が其の次第は午前十一時廰布三神の水第は佛式に依り十二十径はると、東京十日敷』故井上郷之助氏の 葬儀當日私邸 勅使御差遣 葬儀は十二日 **電か寄せた** 飛行隊 ハ市出動の 執行

使も一陸落な告げわ 動な縦げた関東軍 を が使のため哈市に入 中職九時その当力は一職九時その当力は 飛行隊は呼吸計 O中隊を愛し十 でれほどその任じより

を に運げれ安置された 【長春電話】 した、 職職には日、 安隆人参照出 と を の 選手が 郷強には日、 安隆人参照出 と とた、 職職には日、 安隆人参照出 と と た 、 職職には日、 安隆人参照出 と と 本舗 大阪 三宅堂 家黒く長くつやを出し の家其他華族方御常用之

我軍に保護院願

本詩習所修了者は開業期間二ヶ月隨時入講を 講習會員

省會員募集

で双城堡における戦闘に名譽の戦 金牌受領

張臺丁不安 守備除出動

者長春着双城堡の戦死

「奉天電話」

一、 菜集人員 變 688

三月十日 大學醫院

割引證ヲ發給ス、詳細ハ戦優切手封入左記

三根眼科 看護婦養成所滿洲醫科大學醫院

の袖を引く、ネオンライトの美しさ タイルで、優美な光彩夜の女王、色々の タイルで、優美な光彩夜の女王、色々の カロラ着 即りて、ネオンサインのサービ は の く 無言いまいの 微笑で、 近回 く 客

商店街の

ネオン、サイン

マンチユリア ネオンラ

電話六九二八番

醫院

9

(八)

疑はしき人

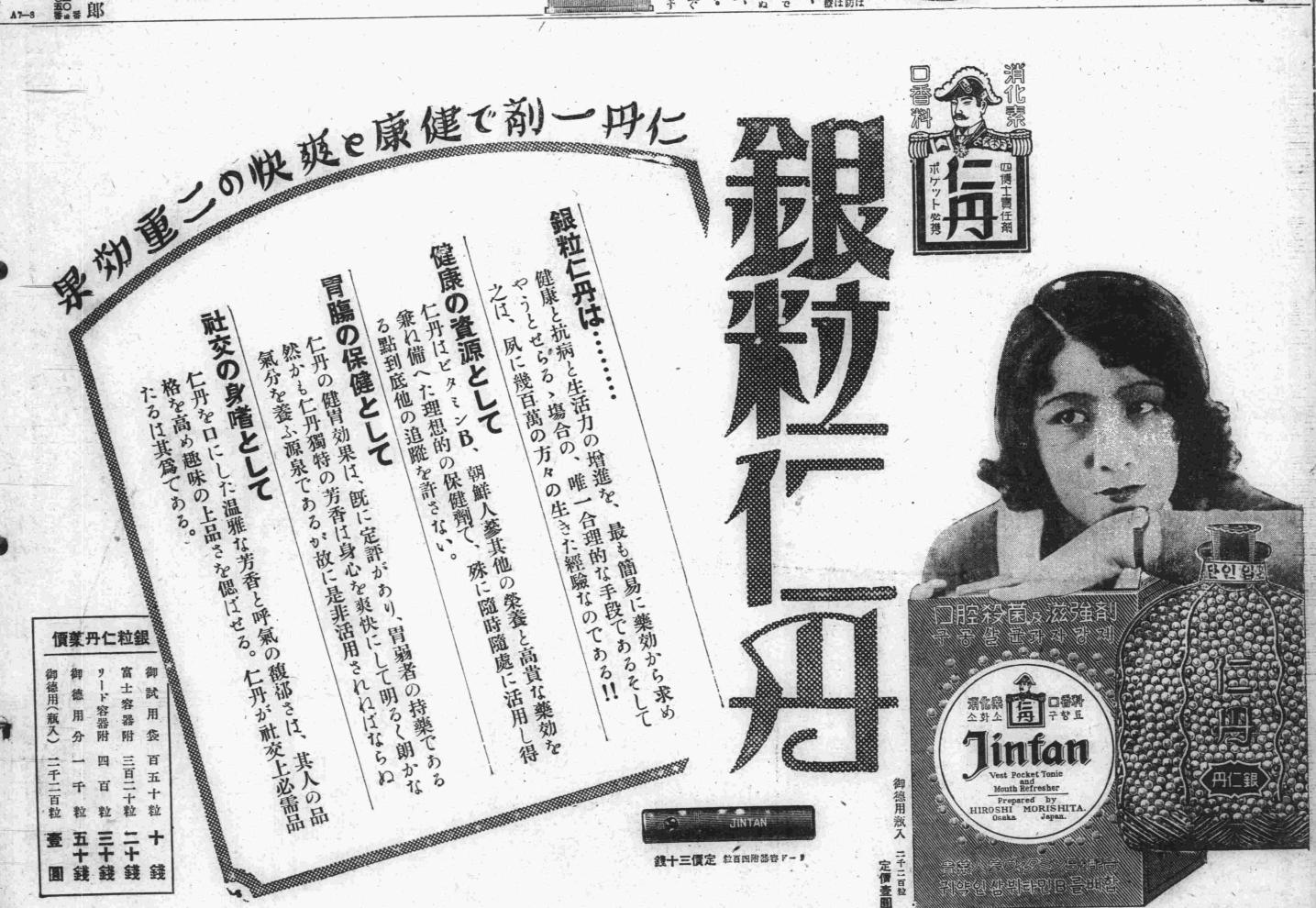
河

野想多

畵

(193)

たずるめたっ



代表の変説はなりか代

った窓前の一般単縮食識をなった窓前の一般単縮を強いたけるの成果には各國際聯盟本部では今次の食際聯盟本部では今次の食際聯盟本部では今次の食

理事會におけ

レ加減は非常なもので、軽食後 ・加減は非常なもので、軽食後 ・ガーなりので、軽食後

放言こたのに議長がその儘散會日本代表が支那の排外運動の議

り散ら

支那

代表顰蹙さる

潜水艦、

毒

ガ

ス等

を支持

限方法を考慮する用意財方法として軍需部様的制限に對する経費の制度に對する経費の制度に対する。

費軍の需

の必要 を決する

の直

米代表の演説要旨

『はアメリカ代表ギブソーブ特電九日盤』本日の

戦車及び誘導砲に對て特殊の制 保護する有効な方法な案出せん 保護する有効な方法な案出せん かは空中爆撃に對し非 闘員を

平等の

和

張

更に軍縮の新提案保留を聲明

0

演說要

经目

適材適所主義で

新進の人材拔擢

警務局の大異動について

森本警務課長語る

三日中には發表の運びに至るさ て貰ふ、あさ二三名位補充の意

すからなし

かは空中爆撃に對し非全廢を支持する

五ケ國の時頃た加へて国際聯盟の創始以來

新裝の

に 持して 居れば各 の が 完全なる 秩序

(日曜木)

支那兩

背後から我砲兵

ついあり

三浦氏離滿

吳淞鐵道

巻鏡道に沿ひ東へ東へ主搬大されっている。いいくて戦線は吳

吳淞戰線東方に擴大

要既氏はヨシヨ天人同伴十日出帳の には官民名士参數の見送りで暖はつ た、地頭综合特別室で見送りで暖はつ をご挨拶を突した三龍氏は をご挨拶を突した三龍氏は をご挨拶を突した三龍氏は

東亞の謎®

(23)

人養

國

史

(19)

個 個

山梨縣大河內山梨水自株式會配

插畵 伊

藤

順三 郎

え早々船内に入つた

手へ落ちましたよ」

て了ふことここころ 日報す

「やむな得ませんな、然うしませて了ふこさにしたのです」

やあの男の強情を来ては、比較す

「松下伯融も遂々今度は、我々の

小議長列國

勸告す

廊下で激論 氏の軟

上海事件審理々

事會

支那代表

の詭辯を反駁

差し止めたので議場内は幸ひに事際験りに影響で列席の外変官之た

昨夜

來待機姿勢

第三艦隊司令部發表

本軍侵略の結果で、決して日本 軍の侵略行為を誘發する原因で はない、排目質は日本軍が撤退 すれば自然に消滅するであらう 代つて佐藤日本代表 代つて佐藤日本代表

せしめたものであるける原日運動のおける原日運動のおける原日運動のおりでを留かる事を餘儀なる事を餘儀ない、 支那

はこの間に立つて菩處

行物体になるまする處わり、節でサイモン英代表は日本軍の敵する事が出來ると信じてゐる

1100 商饭

である、新任の野村第三艦の貧重は列國と同様

設ける事を勘告する が急速に中立地帶を が急速に中立地帶を が急速に中立地帯を 述べるや観異慶氏再び起つて 逆襲され

表を撃撃させた 日本軍の の醜態を演 の選出途中の各國代一印象な興

突き虹リクリーリー

【上海九二發】九

け違って逢びませんでした…… の國際館サロンへ、おいで下さ

「何さ云つても名土ですからな、

しては今夜が初です……上海の程

我軍の遊

逆襲に

手前の倉庫に陳取り行動を開始せずり行動を開始せず

た0000隊を緊急派した艦00及び泉淞攻撃に参加してる

我裝甲車奇襲

原因を作つたのでなは日本の侵略を招く

野心なき事を再言てるや、傍鷹席

端なる行動をさせる

田支廳種後、紫梻代表の微説あつ ボにより開かれたものであるが、 東事會は文那代表部からの緊急要。

はいふ脱線振りで一覧にといふ脱線振りで一覧にといる脱線振りで一覧に

事實を擧げて逆襲され排外運動過去數年來の解職されず、期で経験代表より

行動是認

の触能に

の第一回報告書は本川管地においても会表されたが、報告書は入頂に良り事性養生以來一月迄の事性で自然過念により都常でられたが、報告書は入頂で自体の整点を選次決定師に經過し飛される整急会により都常でられた。 低命された上海事体緊急調査委員『上海九日登』職盟理事會により 調查委員會報告

敵

弾頻りに落下

▲ 吉田秀雄氏(八高田商會員) 同上 を ▲ 金田清之氏(海軍大尉) 同上 ・ ― 三浦磯郎氏(前關東總内務局長) ヨショ夫人同伴十日午前十時出 帆のばいかる丸にて離連 本佐治龍華氏(大谷派布教師) 同 上

◆中野金次郎氏(國際通運株式會 社々長)同上

當局に保護を要求

八居住區域に

同上) 同上 「糠牲になるのは他の男ですよ。」 海軍大尉) 同上・考へものちやアありませんかな」 「あゝいふ人物を轍毬にするのは「おゝいふ人物を轍毬にするのは」 「おゝ」

時間してゐる、その野話としたもので、ないにしたもので、ない

論調 0

落下せる敵弾四十 なほ不安地大する 概然でか

一般を超え怪我人 いってゐるので最 方で昨日來祖

に も耐えられず領事館警察に保護の ・ も耐えられず領事館警察に保護の

國内秩序維持のに當っては のである、且こ兩海軍條約の延 十メートルの地監に解の高射砲及 【上海十一餐】天通庵路前方約三 を殉撃 敵の野砲陣地 楊樹浦方面の

野確隊は砲撃を開始したび野砲陣地を發見午前十時から我 のと如く

市日の新公園北方の配園はその前に 「職職ご見られ我軍も同方面の警備 一、本題にするさ共に楊幌浦和界螺果 をが、若し楊幌浦方面の警備 でも、若し楊幌浦方面の警備 只地域が問題。 上海の中立地設置は各方面一致 0

せば果潑政際中の陸軍部隊をこの「せたり。 をは、若し機関連が厳に離兵襲衆 表は能態を洗清させたり遊廃りされば、そのの逃撃に離へてる 題を區切る事に力を致す、支那代を殿にすると共に機関連世界境界。 國際線監の話題、後國代表に能 は租界に對する破壁である。
「担人居住區の支那軍破撃、之れ 野か挑發する支那兵の造な職樣。

分これ談、物性に供して楽たので まで着名なもつさ着用な、常王毅の な有名なもつさ着用な、常王毅の の かんがなさへ、黄語である我々は臨 「まあ夫れも可いでせう」を位置しては不可ない。自分でかり に同情しなければ不可ない

大好評

連 標 開 無 対 返 対 返 別府林楽

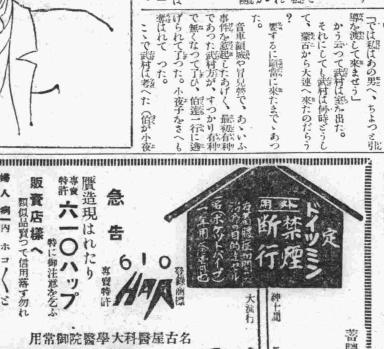
寿静胃助皮婦 經濟 上 化 病病 用 併 用 小 服 内 変 本 本 本 本 本 ホ コ

本の如く暮せて 一石二鳥

名館社製品部



局部でトケテ作用し、安全に樂々と流下す。 して流下する獨特の良楽あり、この樂は直接 敗しお困りの方に夜ねる時に局部に築を挿入。 御中級下さい変しい説明書を無代で秘密に参 手當は早ししなくてはなりませ 奈良市小西町東側松葉点ん 下の語合家



一第康健 時ふ向に寒嚴

蓄膿症內用

特約店募集製造簽寶元山田電機製作市市郡限定 新案特許 ク点版器 もいへば現状のま いへば現状のま いへば現状のま

◆ウッドヘッド紙は、 も早く不安な默態から救ふため には日本の兵力増大による局面 には日本の兵力増大による局面

大吉丸射撃さる

龍華航行中支那軍に

上海方館、戦死三、貧傷二以

て支那側がこれを受話しない場 例園は日本の軍事的活動を承認 すべきであらう

総空際が舞りに飯版の優察中が戦をいる等で朝来 『上海九日發』本日午後二時日満 一点版大吉丸が能率を旅行中、支那 正規兵に射撃され高極點長軍像を 正規兵に射撃され高極點長軍像を 正規兵に射撃され高極點長軍像を であるの、城と戦機のした、日撃旗 の酸船射撃に監視が高さた、日撃旗 避け

勝は戦死二、電像六、整備七以上 患治氏をその後低に決定した 【上海九日費】午後六時までの死 以下全幹部愛集し協議の結果。

昨日の死傷數 松方面

以下全統部参集し破議の結果。 に逝去したので井上邸に若規總裁 に逝去したので井上邸に若規總裁 で、北野で、の手で狙撃され俄 民政選舉長

町田氏に決定

(22) (17) 康 哥 命革大の印唱水

A

七十銭 提供します できらりなで物質像の低め高級水品認印を原價以下 (サイヤモンドの小粉を利用) 木印以上深い水晶の

商會 大衆人工孵化場 安 價 味 岡 村 分 譲

た。 人 ※ 世の 養 練 ** 3 を ** 4 に 関 ** 5 を ** 5 を ** 6 を ** 5 を ** 6 を ** 5 を ** 6 を **

列山の徹らか

述べ に減する用意があ

議一級委員會は非公開にて本日午 『ジュネーヴ特電九日韓』軍総會

つた

たはボリチス氏選駆された、職で議長選撃 ボリチス氏選駆された、職で議長 ボリチス氏選駆された、職で議長

軍縮委員會 正圖議長 のいて森木等後課長は左の如く語との知く語のの第二回人事実動に

大きにおいて一段落ついたのだと、といふのは第二回の「大きにより不願が自慎さいへば出軍大 国に補充三名といふのは第二回の「大きに対演所の異動を行つたの、悪の保安課の中心野部の後任等がである、従ってある。後つて新進氣鋭の土を といるのは第二回の「大きにある」と、「一般など、「一般など、「一般など、「一般など、「一般など、「一般など、「一般など、「一般など、「一般など、「一般など、」というに対している。

本 に黄物の我々の、敵こしてもか伝 してるません

一新人の會員の人會或があった。で

石傾團體から

拳銃を入手

犯行の背景を取調中

井上前藏相

けさ安奉線の陳相屯附近で

遺骸を見るまで

死んだと思へぬ

嚴父、未亡人來る

奉天から急行討伐

ト市傷病者 多数あり、嚴厲裡に午前十時式を終った【長・電話】

大部分後送

から應援

茅野氏の殿父兼二氏能に茅野氏大

んでしたが食社の方から馬賊んでしたが食社の方から馬賊んでしたが食社の方からはずつかり語らてぬます、お父様も心になきましたが、夫が亡くなりましたが、夫が亡くなりましたが、夫が亡くなりましたので優か質際に見るまでは、とかしたので優などでしたものとはどうしても信じるためでは、

参列と十六日大車も役) ける物郷祭十四日を天の物郷然に ける物郷祭十四日を天の物郷然に た。

参列と十六日大連出帆のあめりか

中際常職ならびに救護班視察のためには同社歌奏事際は田僚がおよびに対きのに対きが、軍た同者・一人をのあめりか丸で來達、

徳川公ら來連

九時半入巻のはるびん丸で突然を元鐵道次官中川正左氏が十川午前

鬼で歸國の豫定である

十六日に歸國

特派は茅野榮氏等の慰慮祭織州に於て行はれる大阪毎

子こさ李鳳林は部下約五百名を陽城北小媛盞附近に蠍虎する大

軍歌を合唱し

大順子を討伐

報警院士四名、建物會社四十二名 ・ はは皇軍の哈市入城前後に發生した はは皇軍の哈市入城前後に發生した ・ は悪いの他病者(大部分軍人の ・ うち野戦病院十二名、ヘルビン滿 ・ うち野戦病院十二名、ヘルビン滿 ・ ののであるに登しその ・ ののであるに登しるのである。

丸で來連準頭にて名村大甸支局長に附添はれて十日入港のはるびん

ある《奉天電話》

と答へた、なほ國民際は昭和四に來る事は漢語會のピラで知つ ては出駄縦目を云つてゐる

他にまもられ警視線に護送液事の他にまもられ警視線に選送液事の出所は四谷區水住町日本國民窓の出所は四谷區水住町日本國民窓の出所は四谷區水住町日本國民窓の出所は四谷區水住町日本國民窓の時間で知った淡流事

電第二點長な中心に搜索、高等所 一部につき調査中だが日本國民 一部につき調査中だが日本國民

ストルの入手や単行の動機についてあるが、不敵に薬つき掘ひとであるが、不敵に薬つき掘ひとであるが、不敵に薬つき掘びと を穿いてるた を穿いてるた を穿いてるた を変いてるた 落つき拂ひ 陳述する 今曉來取調べ 青山齊場で 葬儀執行

現さなり一年にて病氣 m 餐 w ほこなり 約一年の後 助膜にて 宅の大工権須賀初太郎方の徒弟の大工権須賀初太郎方の徒弟の中立に 儀るこ彼は 美城縣港 大から三龍藍の自既に運ばれた。 世前の慰室八盤の間に安置される。 は十二日午後二時から同四時が佛 は十二日午後二時から同四時が佛 はたより帝山蛮場で執行される。 ボにより帝山蛮場で執行される。 土方な微、見主職大、整原喜恵郎土方な微、見主職大、整原喜恵良はな感寒、融委武長は

忘れらい

五分懸り果てた井上氏の遺骸が電、東京十日發】九日午後十時四十 十二日午後二時

一般では、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、からないでは、からないでは、大きないでは、まないではないでは、まないでは、まないでは、まないではないでは、まないでは、まないでは、まないではないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないではないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないではないでは、まない もく手不足の模様なの 長春醫院より醫良一名 二名、看護婦四名な十 派遣せらめた

るいて内

滿蒙問題の功績 内田満鐵總裁語る

氏に黙し左のこさく特旨叙位の御 陞叙の御沙汰 には破に感謝してゐた、

氏に黙し左の

ず嫌ん が的に名を知られてむか! 日銀等を足場さらて経

内に通話扁城および通話料金は左、通話事務を開始する事になった、通話事務を開始する事になった、

首藤理事の追憶談

通りである

誠に困つた

犬春首相語る

大連取引所錢鈔信託林

紀元節遙拜式

日の紀元節にさいし關東軍司

關東軍司

令部

九日午後九時ごろ沙河日第内西山市倉東北山一三番戸窓が工造中、町一一番戸窓が工造中、町一一番戸窓が工造中、町一大半百二十個を競響して速走沙河一大半百二十個を競響して速走沙河一大半百二十個を観響して速走沙河一大半百二十個を観響して速走沙河ー 西山會に强盗

ニーンチ無効トスに一番見セス且美議ノ

日活

竝

た中村武羅夫氏の代表作の映畫化――御熱望に大阪毎日、西京日日に警つて連載され百萬の子、大阪毎日、西京日日に警つて連載され百萬の子、演し富士子主演・田 阪具 矮監督

3

富豊養榮 いしいお もてど 素とのーレカスイラ

大連丸入港

有に店物並及 店品料食 場市設公名 行業和京 市連大 店約特

上海郡が民七百名を殺せ八日長縣 に送つた大連丸はその後郡が民も三 十日午前八時入港とたが同能は十 十日午前八時入港とたが同能は十

觀光局理事來連 ユーロウ真務理事

分 二七番

連えたが艦中に訪へば ビユーローの仕事さは関係ない が川な用件で急に大連、率天に 用務が出来たので來たのだが軍 部、滿續首勝者にも含ふ、內地 にも日を決めた仕事があるので にも日を決めた仕事があるので 吉田商會

一五四番番

三崎町三の八四 帝國建築協會 東京神田 地時買會當難臨

開公日八十

錢十二下階料特 錢 三上階 金別

或

(長) 信託株

慢性痼疾な

胃腸病が

極東畜產合資會社

二月 ... 6, 20

槽 ボンボリ

十五分養殖軍で二十名來長したが一本五分養殖軍で二十名來長したが

兵士十五名餘の手で十日午前十 去したので、留守隊長長島中尉 **与顧原鑑一郎氏は八日午後九時**

看護兵來る

四戸在郷軍人分會長、長谷部天長島中尉、楢岡時局後援會長、神官の祭文、僧侶の讀經あり、

長春到着

郷事情を総介するここになつたり報道、輸送、音樂等を放送しる

負傷兵廿名

成場をされてるた歩兵第〇職隊位 に收容されてるた歩兵第〇職隊位 に收容されてるた歩兵第〇職隊位

故藤原伍長

後三時二十九分長春着の豫定『長な日第二回長館者の後送は十日午

慰靈告別式

日と銀口満州時間午後八時三十な日第二回貨館者の後送は十日な一日の紀元節の作館をもつて第一名は長春館成城院に収容された。

いよく、紀元節から開始

奉天の定時放送

中日入港のはるびんがで第二師歌 が架連した、何れも本年一月十日 大概したばかりの人際で加新し、 車戦軍服に新館な意彙ルみせ出郷 への変學生等のふる日の起の小版 への変學生等のふる日の起の小版 への変學生等のふる日の起の小版 への変學生等のふる日の起の小版 ・ 第三十職隊七名、第十六職隊七名、第 一名さなつてゐるが、第三十職隊 一名さなつてゐるが、第三十職隊

けふ補充看護兵來る

上十六日大連出帆のあめりか丸に 大東着、大銀館に安静を方館の り大連着、大銀館に安静を方館の り大連着、大銀館に安静を方館の が大連着、大銀館に安静を方館の が大連着、大銀館に安静を方館の が大連着、大銀館に安静を方館の が大連着、大銀館に安静を方館の が大連着、大銀館に安静を方館の が大連着、大銀館に安静を方館の が大連着、大銀館に安静を方館の が大連着、大銀館に安静を方館の が大連着、大銀館に安静を方館の が大連着、一行高海 が大連着、一行高海 が大連着、一行高海 が大連着、一行高海 『臀師赤谷学蔵長女小君(こうばや) に手配し小器(東京九日費】千葉線海上郡飯園 造げて來た、 十二歳の少女 上海から避難 女給爭奪戰線

民さ共に先男の機関士の場合 午前十時東京 月三十日長崎上陸九日 場裏の経念により歌艦 ル突峡碇派中の長崎丸 の情報とは、昭和の金 めて書覧してゐる

航空郵便增加

『東京九日發』真賣局は今回新選

ません。必ず全治します。 一部通吉野町停留場南裏通 育式透熱光線治療器 育式透熱光線治療器

* * * *

信設自日取引市場 大連管内西山會車家屯前項ニ附帶スルー切ノ業 12 家 - 類ノ 写殺及 ヒ 屠殺場ノ 經營並 - 加工販賣家 - 類ノ 飼養放牧場並ニ取引市場ノ經營家 - 類ノ 飼養放牧場並ニ取引市場ノ經營

支配 人

原村

福秋

主白倉水三山

新煙草『響』發賣

が、は、天、緩離、長春、安一十六日午前九時發列車で北

を講した ・ に消銀村上銀道部長を勝断候事か に消銀村上銀道部長を勝断候事か と消銀村上銀道部長を勝断候事か はません。

疾な胃腺類でも決して御心配 一度御試み下さい。ざんな慢 病に関む人は透熱光線療法を

本商店號

診療所な視察、

着一月中の航空郵便物影は丞 三 東京大連線航空路による大連局数

加1年後九時二十分演線線振家子 原郷丁場から出大同語所を全歴、 保郷丁場から出大同語所を全歴、 到着二千百三十四個(內小包六十 千九百九十六個(內小包二十九個) 十四割)の何れも増加である 保線丁場全燒 一十個であるが 本入りで十銭菱霞は三月十日頃の本入りで十銭菱霞は三月十日頃の 帝既に工場を情報さら治館による

連山に且る寒氣のため九日夜巡河 昨夜遼河結氷

前借詐欺を働く

女給泣せの犯人檢學

女献金今や満洲売住金 対しておいるでは、対している。</

ある、

出摘ひました かに類様の数 が販々しく

.13,50

9, 80

王女囃

臣

T

官五

E

仕

御

櫻

いろく、兵他お道具類、飾り人類らしい題向を凝らした變り雛

密航少年

尺质翳眈

電話開通

桑港から送遠

紀元旬から

鳳凰城に

図 は丸下三郎さ云ふ天蓋無償のルンで愉快な少年密航者がサンフランマから送還されて来た、同人 北西の風晴一時雲

、煙突に身か響めてゐ たのがノルウエーのタ だのがノルウエーのタ だのがノルウエーのタ

浜品返金自由 現金 靡 蒼

△金烷

州顺

無人を達致します

サンフランシスコだつたさ云ふた船員に見所られてある中一月 に入られ加。洗つてゐる中一月 る 林巴腺結核

「の華やかな光に

劫不靡の名品は今や裝ひ新たにして再び出つ、御期待を賜へ!
あらゆる近顧勇映畵の總決算篇さして完成せられたもの――ホ

浮かれ出た二人の姉妹が奏で出づる銀座夜曲-標のカクテル、狂嫌のジャズ――ネオンライト 入江たか子・相良愛子・沖悦二共演

大河内傷次郎主演・伊藤大輔監督

という。そうだ、そうだ……となり、はつきり見た上で、自分の能であった。一生な嫌げる事とから、そうだ、そうだ……との事に、心の底であった。

のフランス登野映画 【常館」 はオネがブレジャンの愉快

矢張り出棄する事にと

別出職が続らい「様中報、繁有衛がまた。流行語を保つた「インガがまた。流行語を保つた「インガがまた。流行語を保つた「インガ

●ヒル 午後○時半

午後六時中

映寫時間

▼▼質館獨特の最低料金▲▲▲

錢開放

C機能 桃中軒雲 方衛門

四只

市川春代主演 L

4

命にかいわるから知れな

も知れない。馬地震は召出し

開公てに 銭 十 三階 めたの禮卿入大週前

若き女性の

曲者は、彼の環想したやうに、無 その明る戦の事であつた。昨夜の 作樂の出産が上役に知れたのは

本教学ニュース二本で會員十段で映鑑「インガキ」及び教学を選出一

央館

七日公開

Case 引きからくり 監督山口哲子·主演葉山純之輔

喜劇王

モンテイバンクス主演

B

j

社特作發聲映畵

の世界 **********

も及ばざる十年後

十一日よりの番組のの

前

一社・主流マツ・

甘いエ

ロ・批快なスキー・笑の泉

ロデメ男は

映樂館の子供デ

族に出たのであつた

世界を求めて

日

满

來事に就いての善後策を考へ込べたらつき無疑なついて、今晚のでそう呟いて、今晚の

田來事の為めに、何時もの続りよってゐた。 だしその夜は、途中の一つてゐた。 だしその夜は、途中の一世來事の為めに、何時もの続りよってゐた。 だしその夜は、途中の一世來事の為は、小説を「我」起きてゐる

って血を見たものであるが――取って血を見たものであるが――取 だけ自分に過ぎたし それは今特盛めて彼の手によ 文珠電画の大刀を

ラも芝居氣が受くよくやつてある、そして一キー効果が示してある、 西渡者のアナカの一つである、 助渡者のアナー

智き日の哀愁さ感激と熱 でいる。そして類びなき スポーツ感恋様花爛漫た スポーツ感恋様花爛漫た 日本 ・ では、 ・ でも、 ・ でき、 ・ でも、 ・

D 階下四十錢

の十日よりののの ーに再びに根の下

盤座

篇異驚なるし落見畵映爭鬪大。獸野を類人。題

D

活

『掻拂ひの一夜』 ・割ら 今(一枚) 北奈御持参の方に限り左の通 後接・コロムビアレコー後接・ハ十銭

高津慶子主演

常熊座●

牢源

春の大豪華篇

を参判引致します を参判引致します で、八十銭な六十銭 で、八十銭な六十銭

日曜の午後テイダンス舎な能して

ダンス會を開催

常盤座・ 世界引 分 (| 名) | 名 (| 名) | 名 (| 名) | 名 (| 名) |

注目あれ 電話三三六七番

電四四六三番

早極科醫院

理料西蘭佛

翠

るに「巴里の屋根の下」を同だ線 音響効果は耳帳りにならないさこ

拾

日封切

すから縣人各位、御出席を御願致します島知己氏の送別會や左記の通り開催致しま今度大連民政署長を御退任になりました辛

謹

準備の都合上結構です。
出席希望の方は十二日迄に電話三六六三番へ御通知下出席希望の方は十二日迄に電話三六六三番へ御通知下

金二圓(常日御持禁願ひます)

鎖カタン、②絹糸

ホメラレマス品バカリトコへ行テモ

糸、鳳凰絹小町、

専賣カケ針

當る二月十四日初日一六日間限り ●●座員多數に付き正四時開演●

入連 場 劇

書加ふるにオー

トーキ版、

想像に

試験地獄 で転 記野は極く終! Myn



下

11、110四9五、00 、五〇mッI、OO 熱を解えながれたるネオホリ あい 化粧品は

小寺 但馬町西廣場上ル 局

(可認物便郵種三第)

屋々點々ご浴びてゐる返血た。 石にぐつたりと努れてゐる自分 飛作樂は自分の既へ踏るさ、 廣い世界へ GE

三通の手総を懸めた。三通の手総を懸めた。 一三通の手総を懸めた。 一三通の手総を懸めた。 一三通の手総を懸めた。 一三通の手総を懸めた。 一三通の手総を懸めた。 一三通の手総を懸めた。 一三通の手総を懸めた。 一三通の手総を懸めた。 累を及ぼす事た恐れて、殊頭に帰ったの人々には、萬一の場合、 ついったものであった。 お侍達の用心塚のやうにしてゐた で 内心は兎に飲、表師きの機能を順 ののて 表面沙汰にしなかつたので 交親の怪之逃が輕い告めを受けた が、終別怪樂に追つ手が向けられ 事であつた。

肉身選に別れの挨拶なした。静かに関して、心の中で、懐

篇に溢れて 者はピユーレル・トン一篇の成功によって ードのロンサートに依り、特に意になった、當日はコロンピアレコになった、當日はコロンピアレコ でく多数一般の來會な希望することにテイダンス會ごする由である。 越國然行逝眼」その他那架を註さ

十日封切

大連流鐵社員俱樂部主催の第三十

・ 上蔵の砂能を以て凡ゆる大家の域 ・ 上蔵の砂能を以て凡ゆる大家の域 ・ 上蔵の砂能を以て凡ゆる大家の域 ピアノ獨奏會 天オ少女フ孃

四一夜七時午より協和會館に於て四一夜七時午より協和會館に於て四一夜七時午まり協和會館に禁

イ 一、謝肉祭二十二曲シュウマンイ 一、謝肉祭二十二曲シュウマンド 作 二、ソナテネ……ラヴエル作 三、トリアナ……アルベニツソニ

今日の映畵六日共演の映画が一回主流の映画が一回主流の映画が一回主流の映画が一回主流の映画が一回主流の映画が一回主流の映画が一回主流の映画が一回主流の映画が一回主流の映画が一回を表現の映画が一回を表現している。 ウヨシ・ルヤシベス

・界世の後年十・・ 1940年 黒雲茂れ分に野分大二は界世年C四九一 静和平!破壊ルネント・吹海然散……たつ ??か和平か争戦!撃爆中空の部本盟

の今日、

十年後の

世界は戦争でせう

警嘆すべき映

活目あれ國事多端

主演 監督 ゼムスント イヴリンセイモア嬢 モーリスエルウエー氏 マス氏

3 111

小天數學是的

御人前五十錢 **高**白 鹿 二十五錢

天真の

學 生 浪 速

目

靴

鞄

店

町三丁

一、三〇四ツ三、五〇

6 電六六〇六 關節炎、 勝節炎、 腰痛、 腰痛 炎

た失いたるは一大撮矢さいるべ を失いたるは一大撮矢さいるべ を失いたるは連続の極みなる で同時に邦家のため駅を財政通 が失いたるは連続の極みなる

保

豆

計

豆

Ð.

**

米

子

麥麻子

子子

懿

粕

粕

骨油

粉

耐

子

四ボンド郷 二・六〇

非混保 白眉豆

大混

豆合

小吉高包

大小麥酱

落維豆瓣獸

¥ 其他ノ油類

麥

嬈

鉄

セメント

幣制と改革の

支那側銀行の現狀

三年)銀織に滿洲最級の儲蓄 外形だけは近代的な金融態度さな て第するに至り、今や庶民金 東三省監局は虎を雅に似たものに 大野力を成すに至った、配 でつち上げた鸛である、寒に中央 でつち上げた鸛である、寒に中央 でつち上げた鸛である、寒に中央 でつち上げた鸛である、寒に中央 でつち上げた鸛である、寒に中央 でつち上げた鸛である、寒に中央 でつち上げた鸛である、寒に中央 でつち上げた鸛である、寒に中央 でつち上げた鸛である、寒に中央 でっち上げた鸛である、寒に中央 でっち上げた鸛である、寒に中央 でっち上げた鸛である、寒に中央

地大人同学十日入港のはるびん丸 地大郎氏は解型にて郷式をすました。 大郎氏は解型にて郷式をすました。 大郎氏は解型にて郷式をすました。

四八八〇

五大八八引

白濱南滿瓦斯專務

十二数3上旬で暴左の近し 十二数3上旬で暴左の近し (千国単位) 二五、四〇五 一九、一七八

(單位편)

193,006.1

3,108,0

8.182.7

1.910.8

14.76.6

3.007.2

169.5

745.G

1.008.2

6.4

115.0

175.0

2.897.4

8.408.6

2.105.8

40.635.7

829.6

238.0

20:.511.4

目 本年ノ本日 昨年ノ本日

200.735.7

13,028.6

3,210,5

216.974.8

5.206.4

2,040.7

35.029.6

5,117.6

3.661.9

2.112.8

1.898.7

238.4

265.3

1.152.0

2.279.4

9,913,6

1.212.6

421.7

100.2

1.740.3

1,482,8

333.1

5.861.6

112.: 68.6

満蒙における

中野國際通運事務

スケ月ぶりの夾端で時局の高洲 水始めてみるんですから少し勉 な始めてみるんですから少し勉 ながはにないての照會駅が 社にはこれについての照會駅が 社にはこれについての照會駅が 社にはこれについての照會駅が はのやうに舞び込んで應接に忙 数されてゐますが今農林省が主 なって高ますが今島林省が主

九0~四

滿蒙移民熱

母國では大へ

大淵滿鐵東京支社長來連談

豆量瓷

江龙

国には出一萬處な突破し 回には出一萬處な突破し 一部ででである。 一個銀印他総共に該日被突 である。 一個銀印他総共に該日被突

年一月を繋地せば左の通りであ

舊正明けの鈔票

保合ひ至極凡調

有價證券

賣捌禁止案

米國上院に提出

引け六十九圓五十五錢

賣上高

際に亘る紫年の大水災

である、日本向けは大ては一萬三千應の増加

大連港輸出の

州内設置の

同じく派遣の小川市長は次の定懲と最後的猛運動が起すのだ、

野なると際映動合に催みなりとためなると際映動合に催みなりとなりとなると際映動合に催みなりとためなりとなりを報ば、一時は高値大和一時である。 本郷 一時に高値大和一時である。 本郷 一時に高値大和一時である。 本郷 一時に高値大和一時である。 本郷 一時である。 本郷 一様である。 本郷 一様である。 本郷 一様である。 本郷 一様である。 本郷 一様である。 本郷 一様である。 本郷 一様での。 本郷 一様でのる。 本郷 一 満鐵自他線とも

合熟州監村は上半郷は艇る製管な ・機説すれば果実部にあって四ッ ・地である。而して が特値に及び本年

各 地 朝 支 肇 日 木物 鲜鲜 物 物 物 物 物 果蔬果蔬果蔬果蔬菜黄菜黄菜黄菜 東上高な元むば左の 東大高な元むば左の 東東策楽 東東策楽 五二、一八二、 大・一八二、七七三四 大・一二三、 大・一二三四 大・一二三四 大・一二三四 大・一二三四 大・一二三四

特產市場

漸く落着

月 前場寄 前場引 大阪綿糸

為 育筋直積 級筋直積 級筋直積

滞貨漸減す

旬日を出でず一掃か

財政決議案

英下院可決

况子

A

産

『ロンドン九日餐』本日の英國下ならしめる野政決論案が表決に附ならしめる野政決論案が表決に附なれたが四百五十二票對七十六票。

制品々か早した で大豆は暴騰を辿って大豆は暴騰を辿った。

能と買氣で

博多屋本店質部 博多屋本店質部

●青 湯互雜山丸二月廿公日 代 理 店 大阪商船餘社大連支店 電話四二三七番 電話四二三七番 電話四二三七番 電話四二三七番

11:00 11:0

海林 (保合) 三十二個九十段

勉强

■日清汽船鼓出帜

を駆けて世界財衆の養 になられる際この とここは窓に一大稲俊

日に比べ日米賞替第一時間立會の今朝諸材け

三元三元

行するあたり氏もがであるが國家のため

當市保合、

3

五通縣山市連大

一三五百箱会

○五五百箱 三六千枚 三六千枚

鈔

内地様らず 地切休 編提馬 地方 株 編提馬 地方 株 編提馬 地方 株 編提馬 地方 株 編提馬 一個四五十錢高、鏈が一個六十錢高、 一個四五十錢高、鏈が一個六十錢高、 可五十錢高、鍵が完期小一 個四五十錢高、爽新は同事に容 り五十錢安に別す。

8

手旗或服引

●横濱直行

大阪棉花

新 1420 日 柳 前場舎 前 村 1420 日

先當

高三大 芸芸引

八七六五四三二

ЛЯЛЯЛЯЛ

市場電視の大学の大学の大学の大学を表現の大学を表現の大学の大学の大学の大学を表現の大学の大学の大学を表現の大学を表現の大学を表現の大学を表現の大学を表現の大学を表現の大学を表現の大学を表現の大学を表現の大学を表現の大学を表現の大学を表現の大学を表現の大学を表現の大学を表現の大学を表現している。

ごうぞ鴻磯社員 滿鐵株的 番五四三三●八一七三電五四町鳥敷庫大 大

大阪商船 の大連汽

近海郵船

阿朝鲜细船熟帆

●歐洲行(りおん

電話園五二六五・四六八一電話七二七五・七八六八電話七二七五・七八六八電話七二七五・七八六八一 電話七二七五・四六八一

芝 皋 行編器多二月世语

日本武會社大連代理店 明年 本武會社大連代理店 明年 本武會社大連代理店 東海縣客荷 九 二 商 會 東縣客荷 九 二 商 會 東縣客荷 九 二 商 會

||阿波共同汽船

を浦汽船株式會社 松浦汽船株式會社

● 芝罘威海行、第十六 南 青 島 行、第十六 南 青 島 行、第十六 京 景 行、第十六 京 景 行、第十六

長山丸 二月十四

行(長山丸 二月十

理店 人變情腦

五番

世番四町賀加市連大

現代新人の嗜好に適するを 野器の美麗と共に内地 御土: バタボン

フキークリー 疑はず其 番三九四四●三五二四長話電

地御土産品と

1.573.6 各 紙 五洋 10.986.5 1.940.2 0 504.5

はは出いてあるが東、 る無地であるが東、 のなしさを優えし のなしさを優えし のなしさを優えし には出して時はいましてぬ はは出して時はいまして。 和大 ◈ 七光 洋 連 川纸 〇明 9

車 三五〇

左期喰合高 (株人) 前日對比 本 本 九 一

ゼ三〇 一七八〇 一古〇 一二二〇 一萬七千箱 〇七〇 三〇七〇

满場広西 **举五二三四話電**

THE CONTRACT WE 團體是學 軍人學生 の方々

人氣焦點北京料理 贫 衛 街 は楽で側座 呼吸も四室

前診塞側ほん柑の大量入荷があつ 送紙巡を以てすればこ、毎日なりの入荷蔵せるも一だとに代るべき 二雪に蔵がした、両して現版の終上海壁柑 在では十萬選を割り九萬七千五五七年 大社外貨物を貸も九日午後六時間 た し 一月廿日には 世一萬選が突破され、

は、休日前一般に相當のたちうさ製測されて名だが人た出る休日前引値が下度中心を出る休日前引値が下度中心を出る体日中にける材料も偽替されてかり殊に独中相場は相當出來てかり殊に護申相場は相當出來てかり殊に護申相場は相當出來てかりまり、一次にも表記を持ている材料ものだらうで度は上海筋が活動出來るからいなりたいものだ。

金旱金旱合延定額受領手計引期

手形交換高(十 日)金 遺紋 川大岡(十 日)金 遺紋 川大岡(十 日) 元の五の

安價と美味で

天下の名楽パンザ

城朝鲜製藥株式会社

絍

対すがシット・ビューロー 乗船切符發養所(大連任勢町) 乗船切符發養所(大連任勢町) 乗船切符發養所(大連任勢町)

川行

日本組